

# 「三次市子ども・子育て支援に関するニーズ調査」

## 報 告 書

2019 年（平成 31 年） 3 月



## 目 次

I	調査の概要	1
II	調査結果	
	〔就学前児童〕	
1	子どもと家族の状況等	3
2	保護者の就労状況	5
3	平日の定期的な幼稚園・保育所等のサービスの利用状況	13
4	子どもが病気の際の対応（平日のサービスを利用している人のみ）	19
5	平日の定期的な幼稚園・保育所等のサービスの利用希望	21
6	土曜日・休日や長期休暇中の定期的な幼稚園・保育所等のサービスの利用希望	23
7	不定期の幼稚園・保育所等のサービスや宿泊を伴う一時預かり等の利用	25
8	小学校就学後の放課後の過ごし方	28
9	育児休業の取得状況	34
10	子育てサポート事業の利用状況	38
11	子育て支援施設の利用状況	40
12	結婚・出産・子育てについて	44
13	子育て中の起業支援・就労応援事業について	52

[小学生]

1	子どもと家族の状況等	55
2	保護者の就労状況	58
3	放課後児童クラブ等の利用意向	65
4	子どもが病気の際の対応	73
5	子育てサポート事業の利用状況	75
6	子育て支援施設の利用状況	77
7	結婚・出産・子育てについて	79
8	子育て中の起業支援・就労応援事業について	87

# I 調査の概要

## 1 調査の目的

2015年度（平成27年度）を初年度とする「第1期三次市子ども・子育て支援事業計画」が2019年度（平成31年度）をもって終了することから、新しい第2期の計画策定に向けて、市民の子育て支援等に関する生活実態や要望・意見等を把握することを目的として、本調査を実施するもの。

## 2 調査対象

- ① 就学前児童の保護者 1,500人
- ② 小学生の保護者 1,500人

※対象者は、住民基本台帳より無作為抽出。

## 3 調査方法

郵送調査

## 4 調査時期

2019年（平成31年）1月

## 5 回収結果

	配布数	回収数	回収率
就学前児童の保護者	1500	745	49.7%
小学生の保護者	1500	701	46.7%

## 6 調査主体

三次市 子育て・女性支援部 子育て支援課

## 7 集計上の注意事項

- ・ 図表においては、回答者の数を「N」で表記した。
- ・ 比率は小数点第2位を四捨五入しているため、合計が100%にならない場合がある。  
また、複数回答の設問については、合計は原則として100%を超える。
- ・ 回答者数が1桁の設問はグラフ等による表示はしていない。



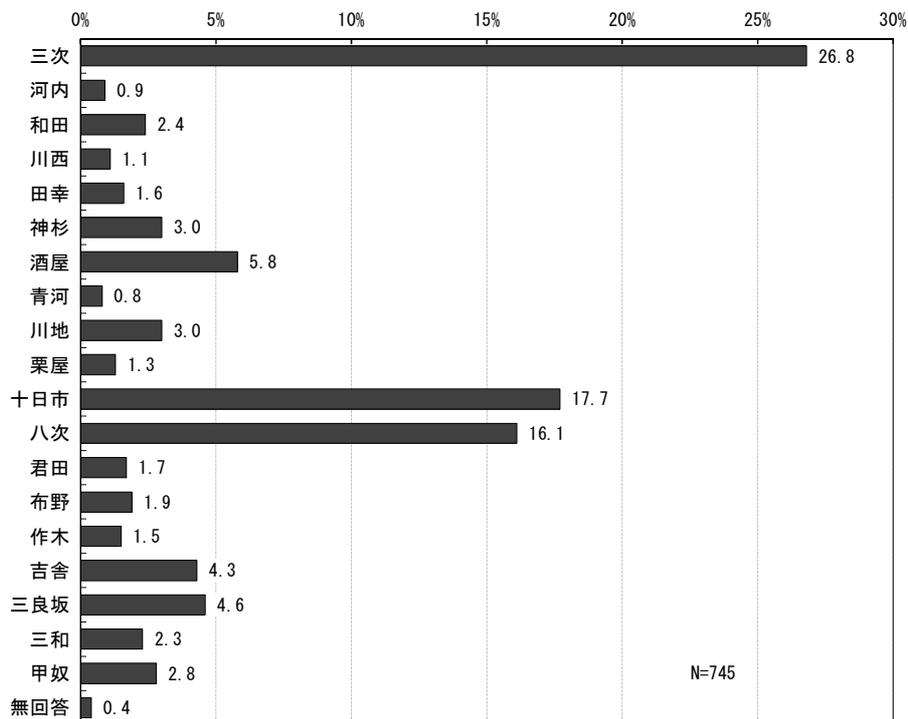
## Ⅱ 調査結果

〔就学前児童〕

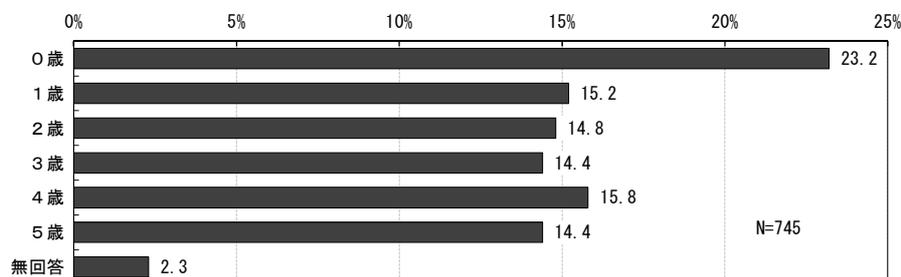


## 1 子どもと家族の状況等

(1) 問1 お住まいの地区を教えてください。(1つに〇)

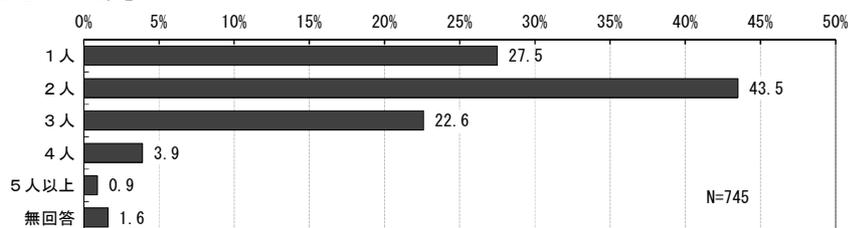


(2) 問2 あて名のお子さんの生年月（年齢）をお聞きます。

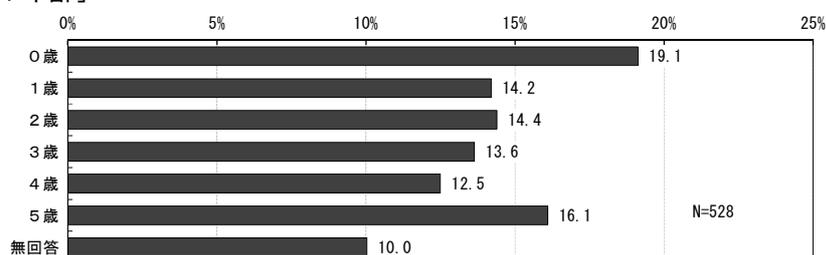


(3) 問3 あて名のお子さんに兄弟姉妹は何人おられますか。あて名のお子さんを含めた人数をお答えください。また、2人以上おられる場合、末子の生年月をお答えください

[子どもの人数]

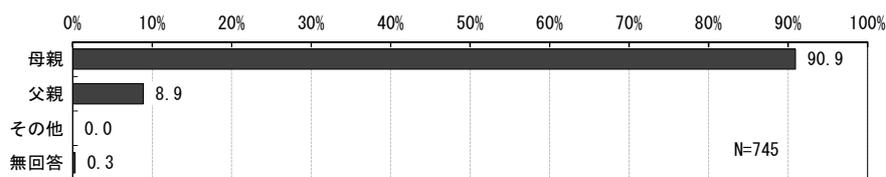


[末子の年齢]

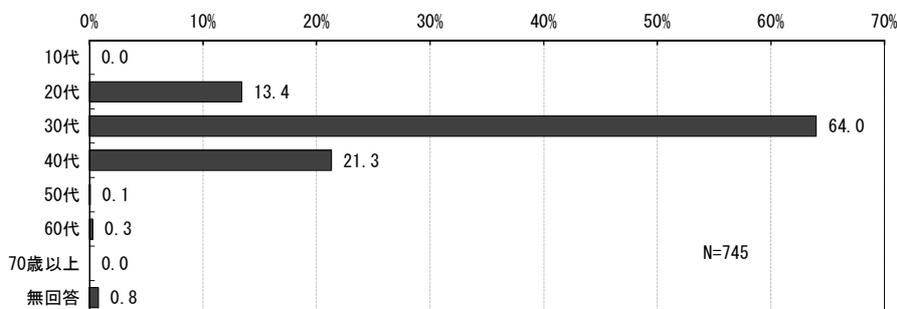


【就学前児童】

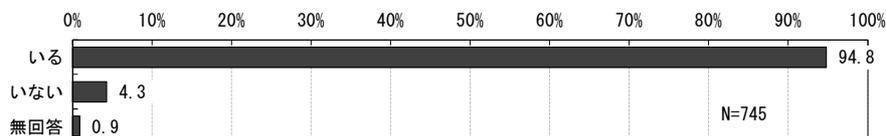
(4) 問4 あなたは、あて名のお子さんからみて、続柄は何ですか。(1つに○)



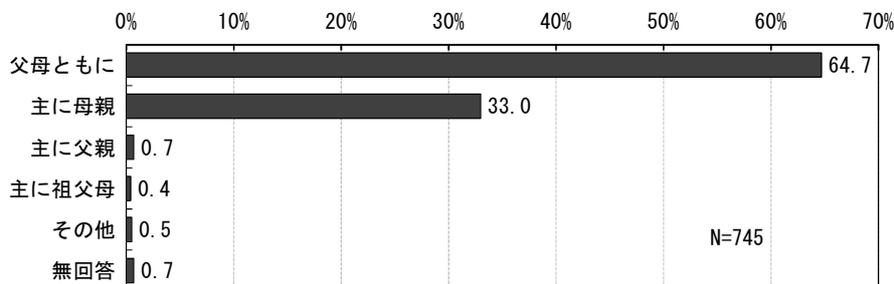
(5) 問5 あなたの年齢を教えてください。(1つに○)



(6) 問6 あなたに配偶者はおられますか。(1つに○)

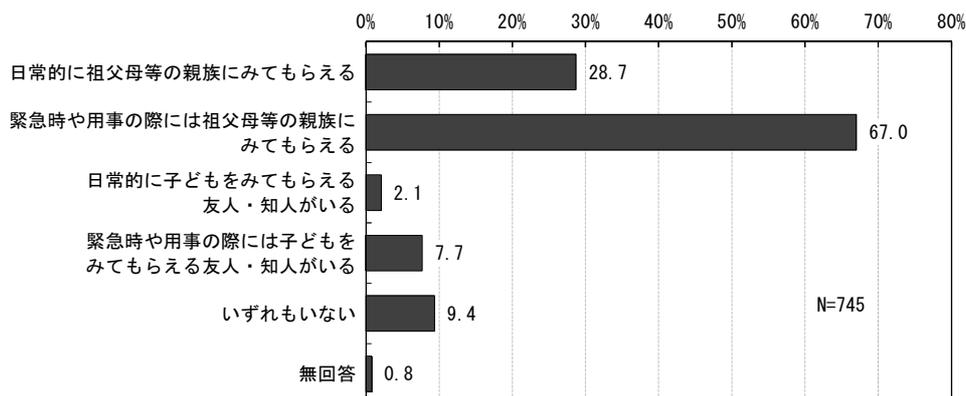


(7) 問7 あて名のお子さんの子育て(教育を含む)を主にしている方はどなたですか。(1つに○) ※続柄はあて名のお子さんからみた関係でお答えください。



(8) 問8 あて名のお子さんをみてもらえる人はいますか。(あてはまるものすべてに○)

お子さんをみてもらえる人の有無についてみると、「緊急時や用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる」が67.0%で最も多い。一方「いずれもない」が9.4%であり、このような家庭は緊急時の対応が困難となっている。



## 2 保護者の就労状況

## すべての方にお伺いします。

(1) 問9 現在の就労状況（自営業、家族従事者を含む）についてお答えください。

(①母親、②父親それぞれあてはまる欄に○、選択肢によっては日数や時間等も回答)

※母親、父親両方とも、問9の枝問までお答えください。

※ひとり親家庭の場合は①または②のあてはまる方のみお答えください。

※あて名のお子さんが祖父母等に養育されている場合は、記入は不要です。

※フルタイムとは、常勤・非常勤に関わらず週5日程度かつ1日8時間程度の就労のことです。

※パート・アルバイト等とは、フルタイム以外の就労のことです。

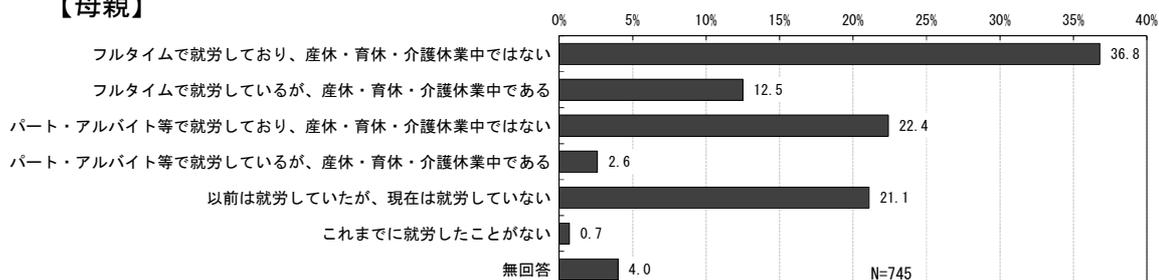
※時刻については、30分未満は切り捨て、30分以上は切り上げてお答えください。

母親の就労状況は、「フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」が36.8%で最も多く、次いで「パート・アルバイト等で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」22.4%、「以前は就労していたが、現在は就労していない」21.1%となっている。

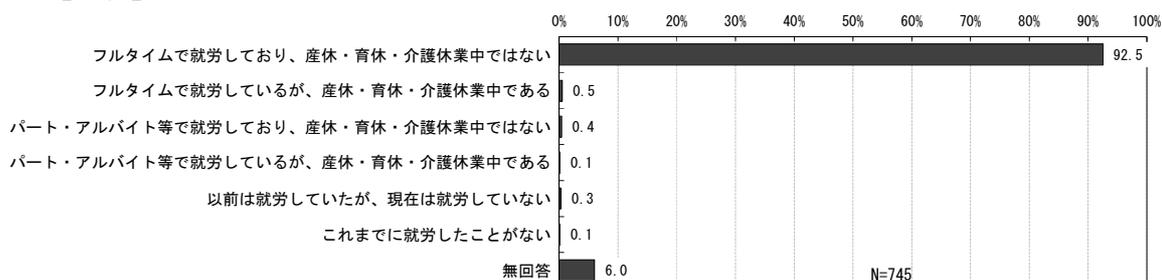
母親の1週当たり就労日数は、フルタイム、パート・アルバイト勤務ともに「5日」が最も多くなっている。1日当たり就労時間をみると、フルタイムの母親は「8～9時間未満」が52.6%で最も多く、パート・アルバイト勤務の母親は「5～6時間未満」が26.9%で最も多くなっている。フルタイムの場合、前は7～8時間未満がもっとも多い時間帯であったが、多様な働き方の影響からか1時間ほど平均就労時間は長くなっている。

母親の出勤時間をみると、フルタイム、パート・アルバイト勤務ともに「8時台」が最も多く、それぞれ半数程度を占めている。母親の帰宅時間をみると、フルタイムの母親は「18時台」が49.6%を占めるが、パート・アルバイト勤務の母親は「17時台」が26.3%で最も多く、フルタイム勤務の母親と比べると時間帯が分散している。

## 【母親】



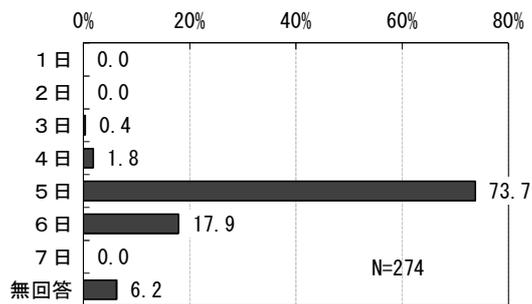
## 【父親】



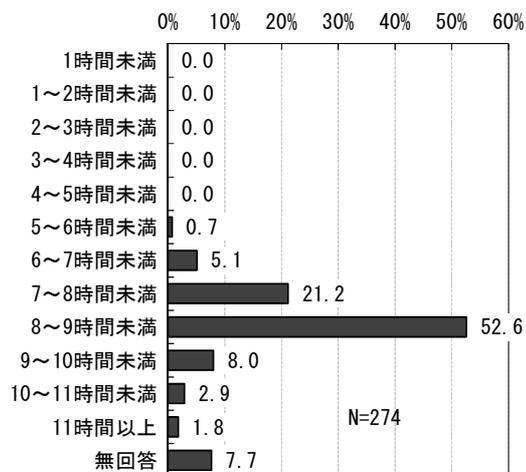
【就学前児童】

【母親・フルタイム就業中】

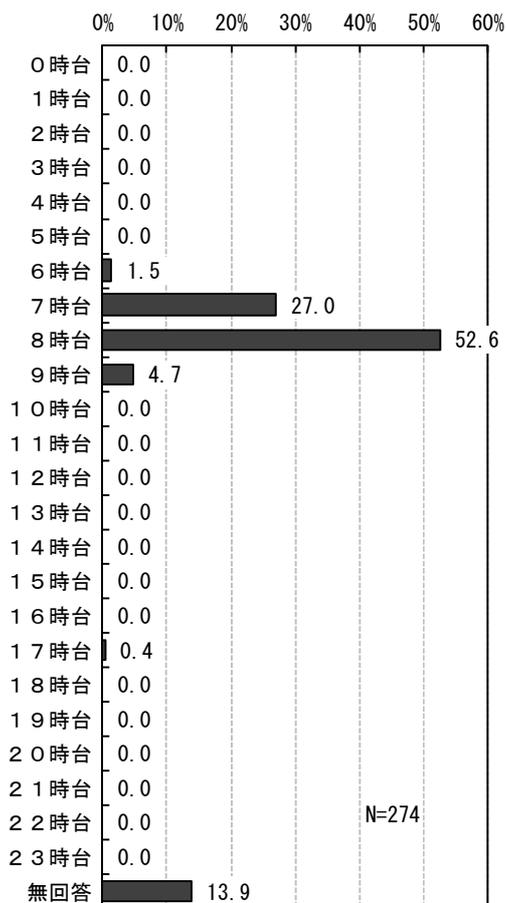
【1週当たり就労日数】



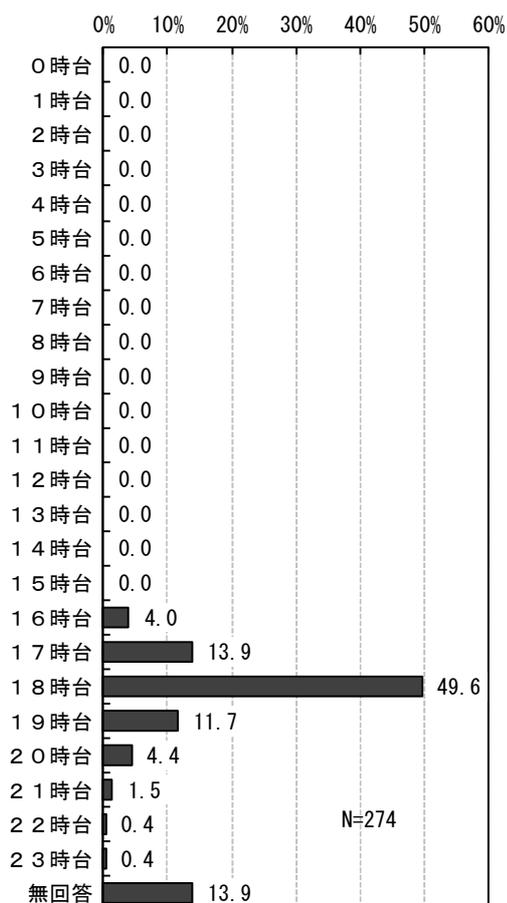
【1日当たり就労時間】



【出勤時間】

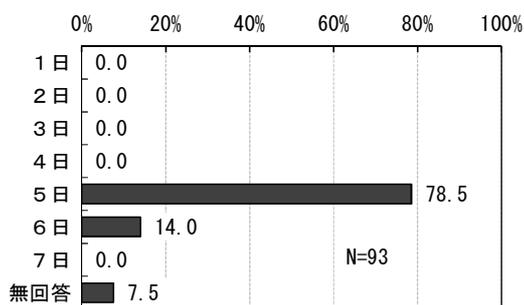


【帰宅時間】

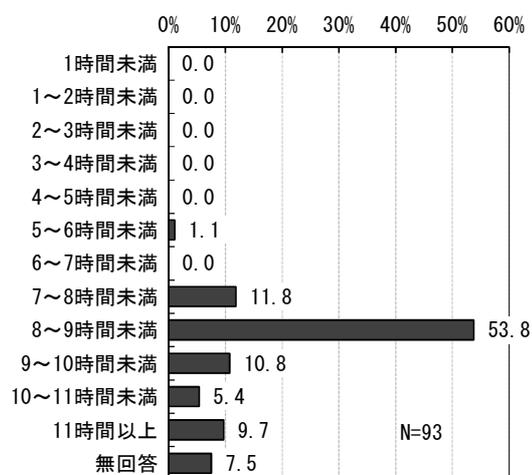


【母親・フルタイム休業中】

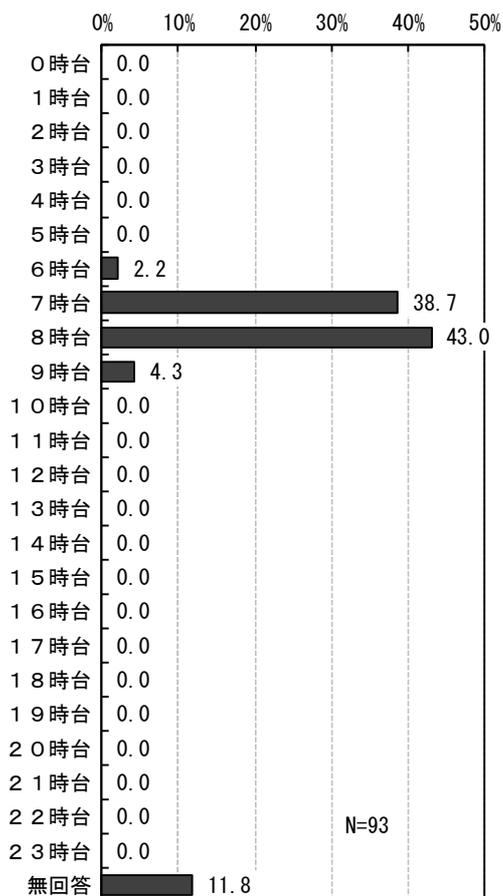
【1週当たり就労日数】



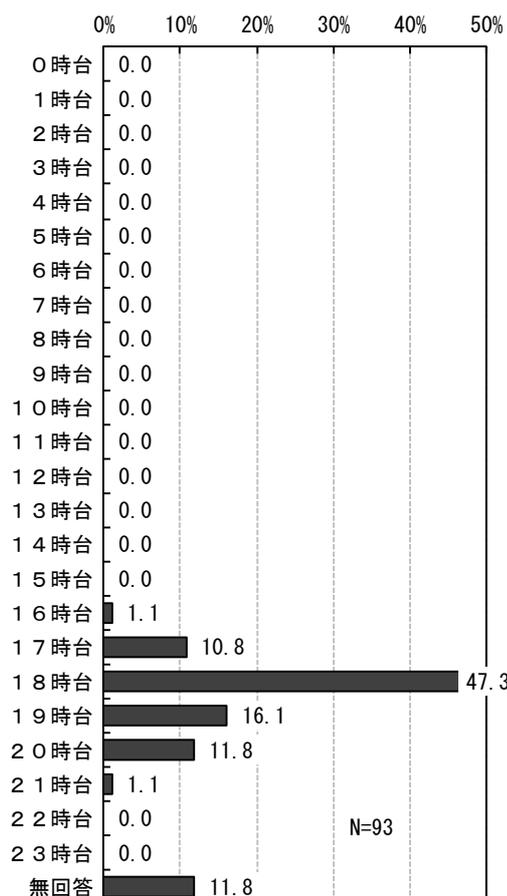
【1日当たり就労時間】



【出勤時間】



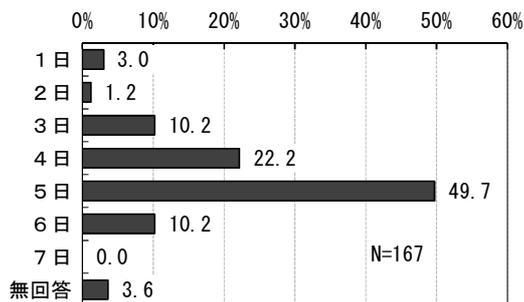
【帰宅時間】



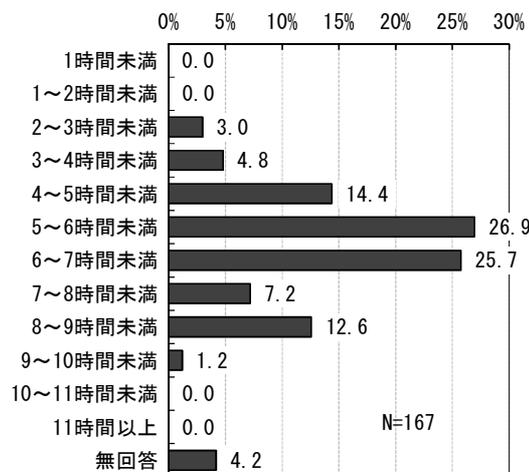
【就学前児童】

【母親・パート・アルバイト就業中】

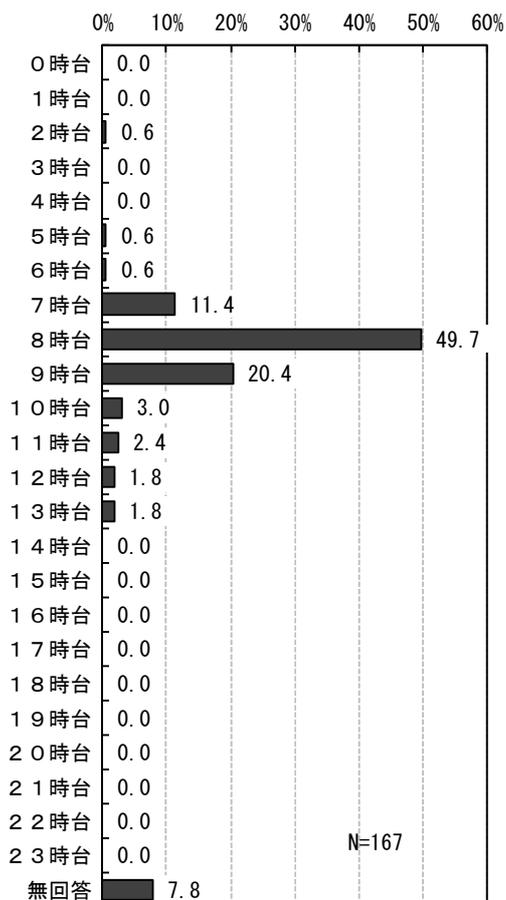
【1週当たり就労日数】



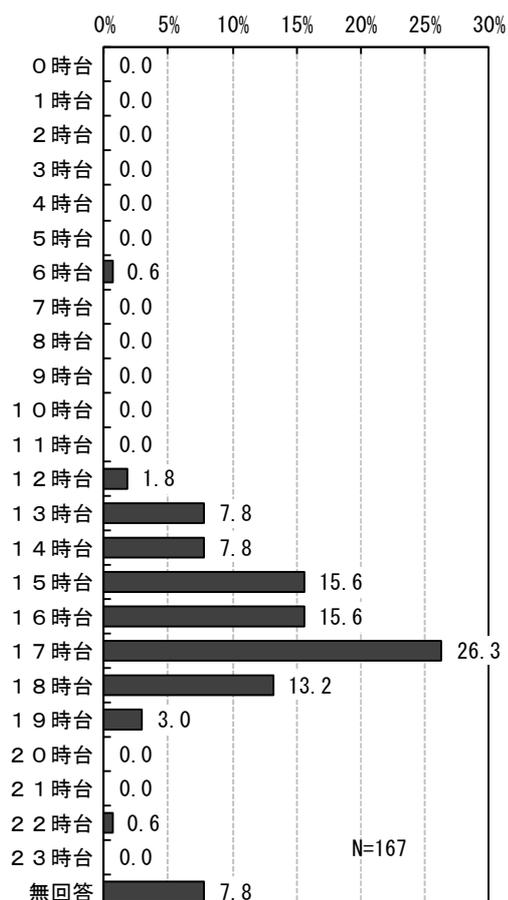
【1日当たり就労時間】



【出勤時間】

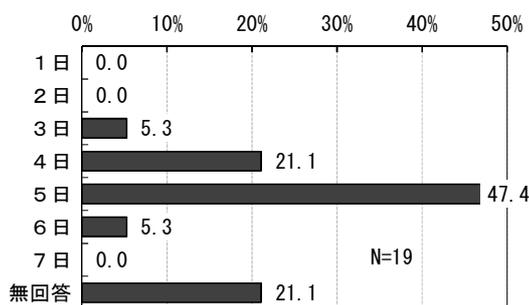


【帰宅時間】

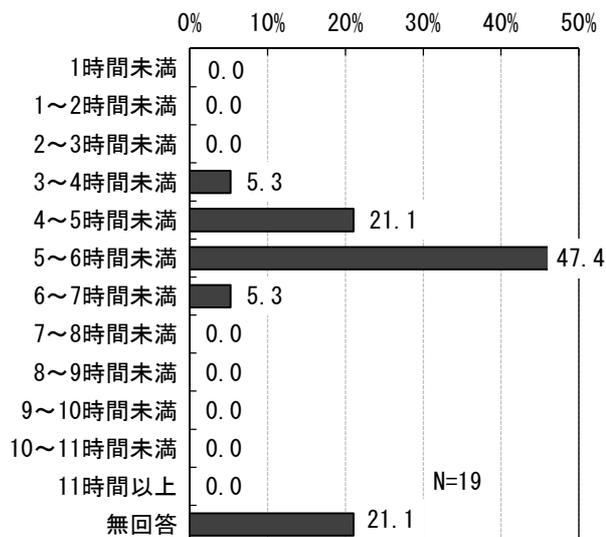


【母親・パート・アルバイト休業中】

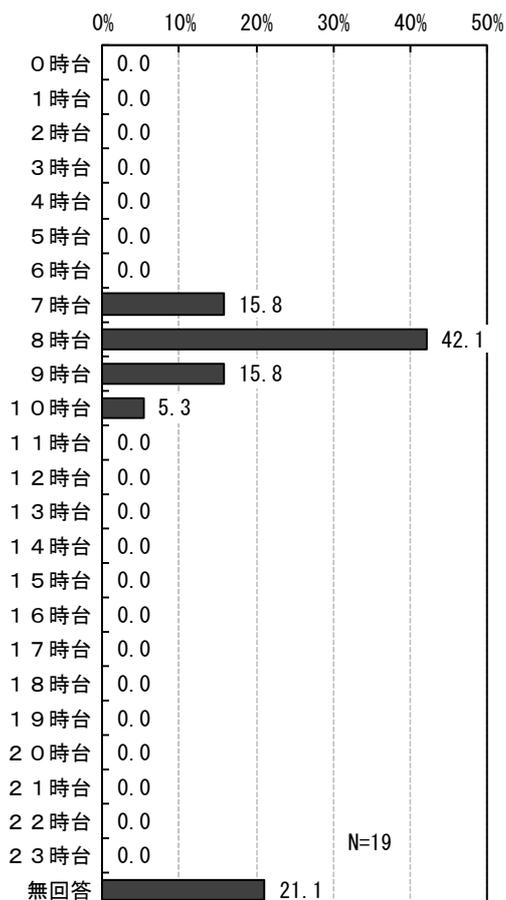
【1週当たり就労日数】



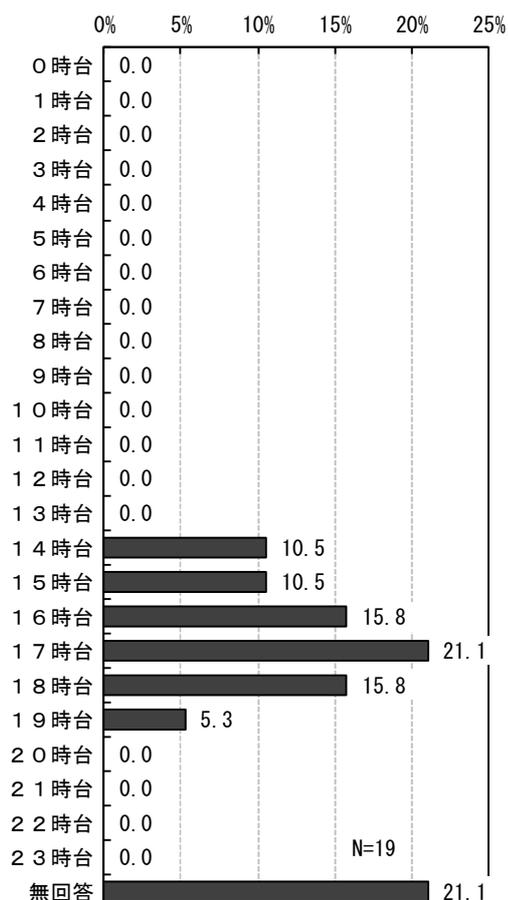
【1日当たり就労時間】



【出勤時間】



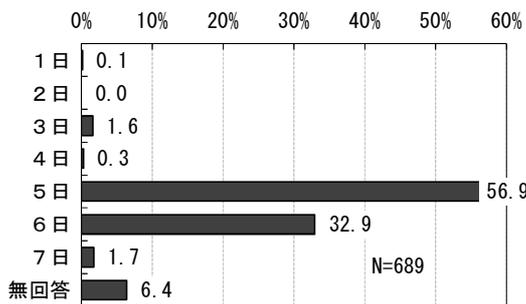
【帰宅時間】



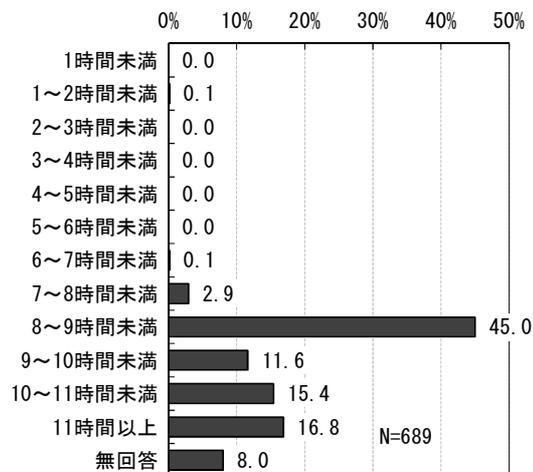
【就学前児童】

【父親・フルタイム就業中】

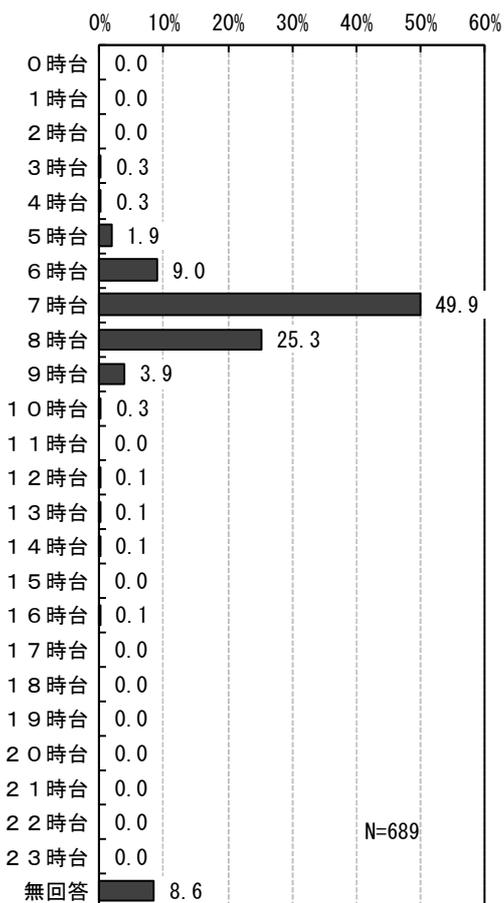
【1週当たり就労日数】



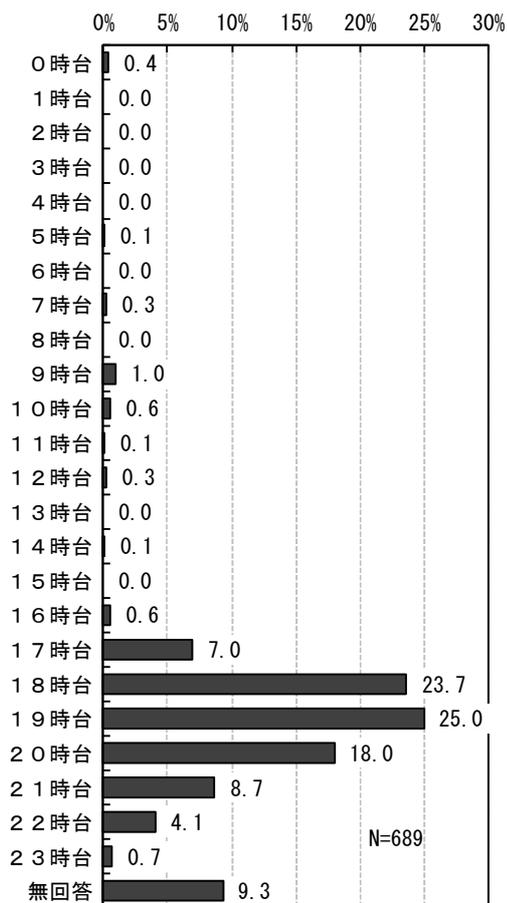
【1日当たり就労時間】



【出勤時間】



【帰宅時間】



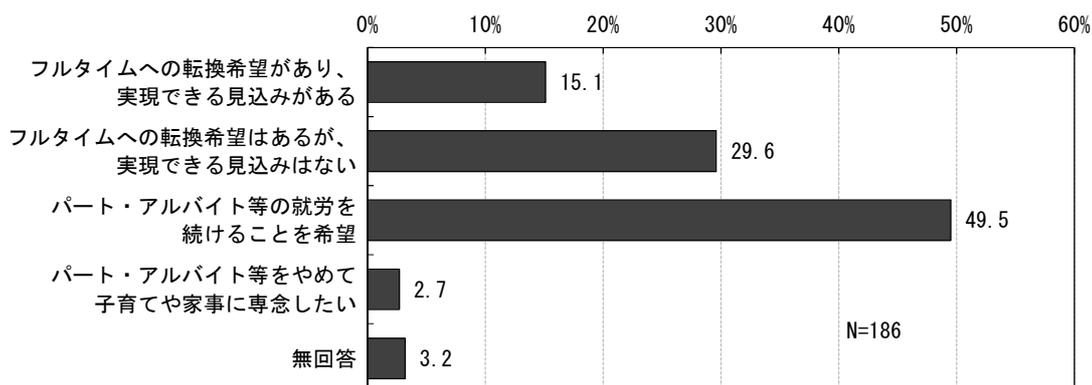
問9で「3」または「4」に○をした方にお伺いします。

(2) 問9-1 フルタイムへの転換希望はありますか。(①母親、②父親ごと1つに○)

※ひとり親家庭の場合は①または②のあてはまる方のみお答えください。

母親のフルタイムへの転換希望についてみると、「パート・アルバイト等の就労を続けることを希望」が49.5%で最も多くなっている。フルタイムへ転換するよりも、パート・アルバイト等で就労の継続を希望していることがうかがえる。

「フルタイムへの転換希望があり、実現できる見込みがある」は15.1%にとどまり、「フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない」が29.6%となっており、パート・アルバイト等からフルタイムへの転換が容易ではないことがうかがえる。



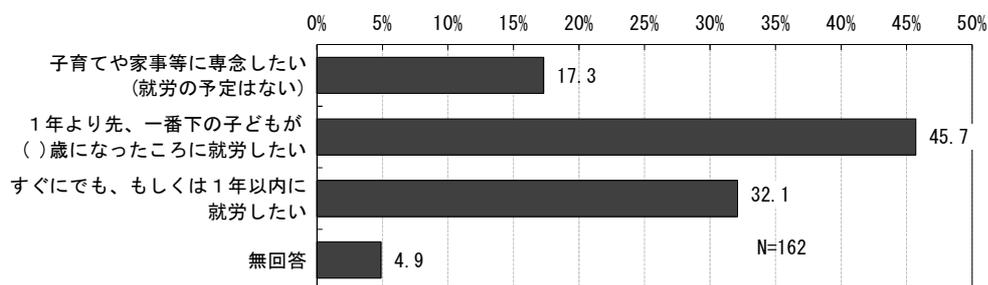
問9で「5」または「6」に○をした方にお伺いします。

(3) 問9-2 今後の就労希望はありますか。(①母親、②父親ごと1つに○)

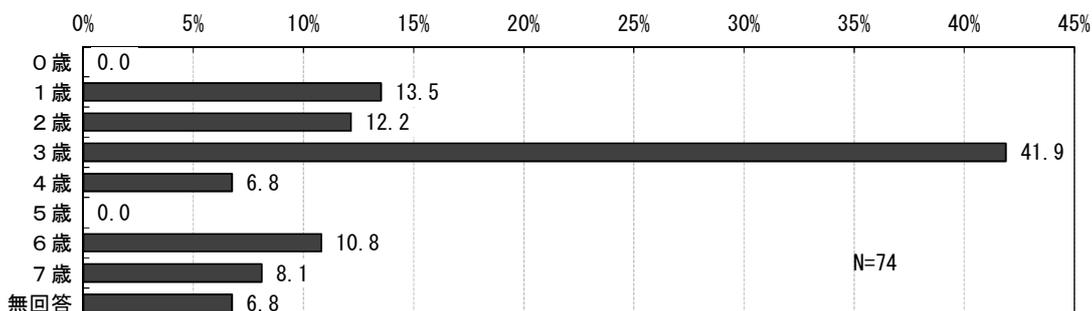
※「2.1年より先、一番下の子どもが～」を選択した場合、対象のお子さんの具体的な年齢を( )内にお答えください。

※ひとり親家庭の場合は①または②のあてはまる方のみお答えください。

現在就労していない母親の就労意向をみると、「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」が32.1%、「1年より先、一番下の子どもが( )歳になったところに就労したい」が45.7%と、全体の就労意向は7割を超えている。また就労希望時期の末子の年齢は、「3歳」が41.9%で最も多くなっている。



【1年より先、就労したいころの末子の年齢】



**問9-2で「2」または「3」に○をした方にお伺いします。**

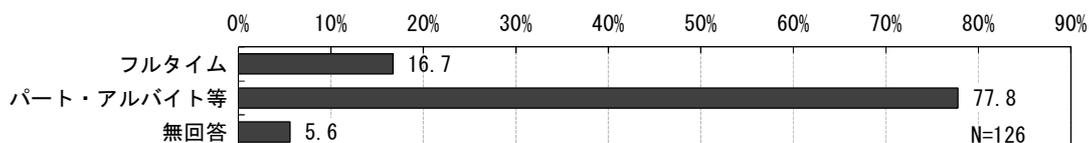
(4) 問9-3 就労希望の形態はどのようなものですか。

(①母親、②父親ごと1つに○、選択肢によっては日数等も回答)

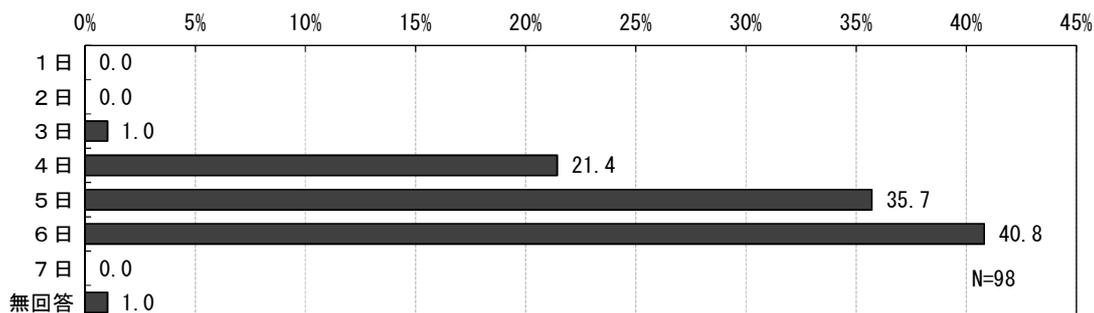
※ひとり親家庭の場合は①または②のあてはまる方のみお答えください。

※時刻については、30分未満は切り捨て、30分以上は切り上げてお答えください。

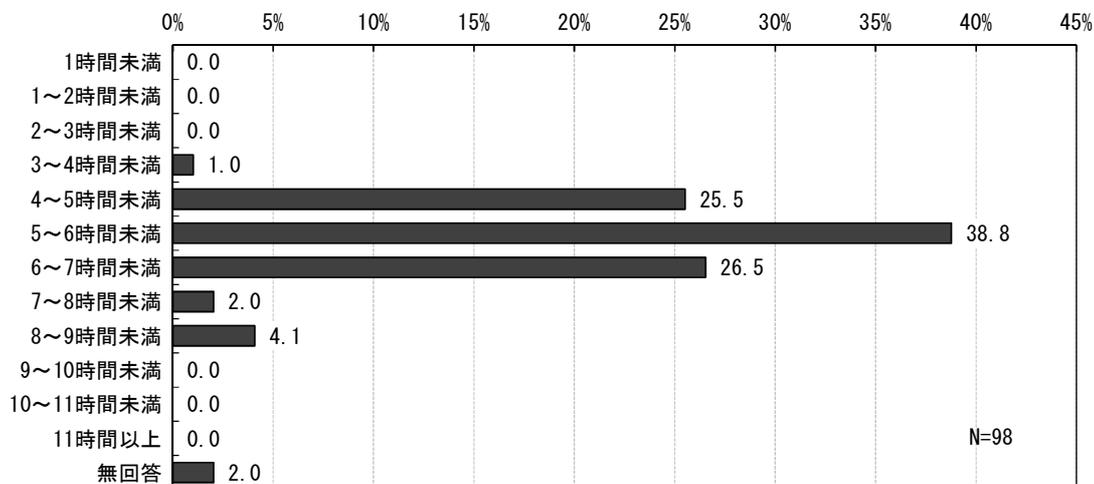
母親が希望する就労形態としては、「フルタイムによる就労」は16.7%にとどまり、「パートタイム、アルバイト等による就労」が77.8%と圧倒的に多くなっている。  
 パート・アルバイト等の1週当たり希望就労日数は、就労日数は週当たり6日が40.8%と最も多く、希望就労時間は1日当たり5～6時間未満が38.8%と最も多くなっている。



**【パート・アルバイト等希望就労日数】**



**【パート・アルバイト等希望就労時間】**

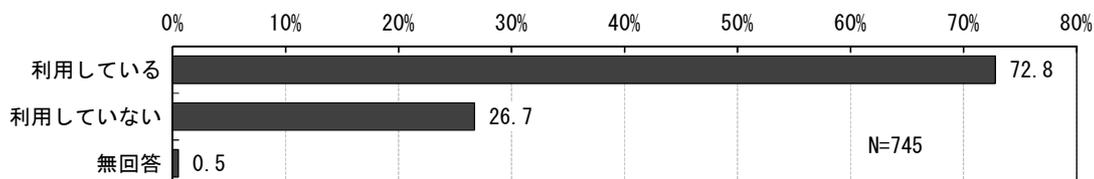


## 3 平日の定期的な幼稚園・保育所等のサービスの利用状況

**すべての方にお伺いします。**

(1) 問 10 あて名のお子さんは現在、幼稚園や保育所等の「定期的なサービス」を利用していますか。(1つに○)

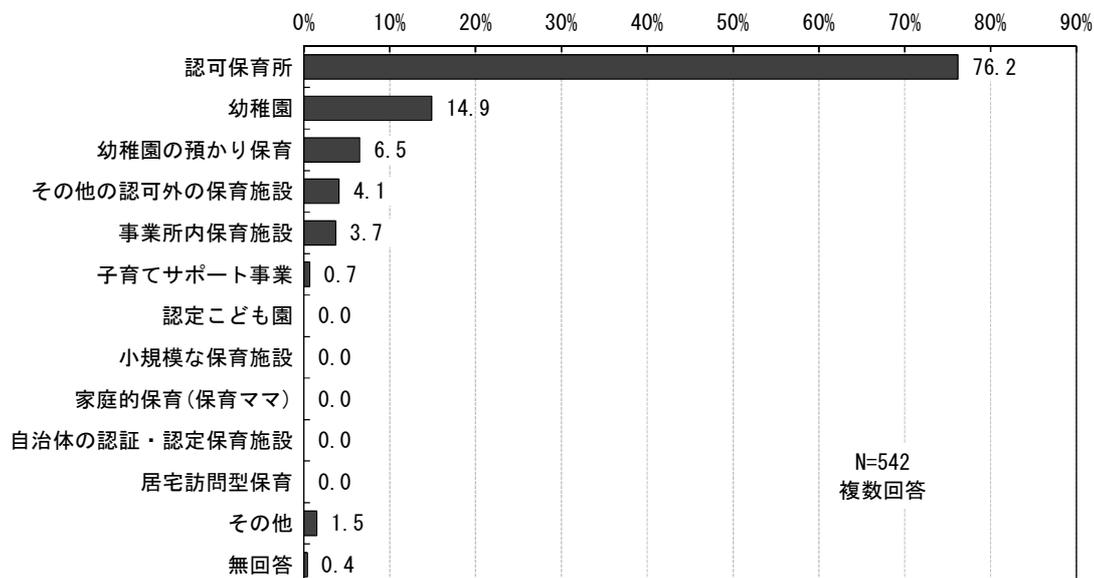
定期的なサービスを利用している人の割合は72.8%となっている。

**問 10 で「1」に○をした方にお伺いします。**

(2) 問 10-1 あて名のお子さんは、平日どのようなサービスを利用していますか。年間を通じて定期的に利用しているサービスをお答えください。

(あてはまるものすべてに○)

利用しているサービスとしては、「認可保育所」が76.2%と圧倒的に多く、次いで「幼稚園」の14.9%が続き、それ以外はいずれも7%未満の利用率となっている。



【就学前児童】

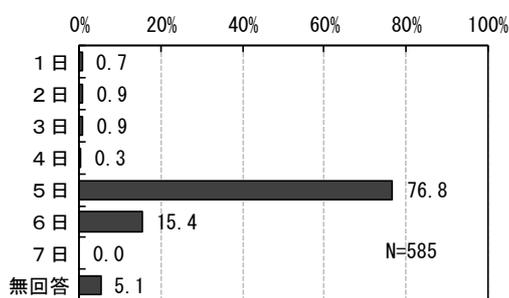
(3) 問 10-2 問 10-1 で選択したサービスごとに、現在の利用状況と、希望する利用日数等を具体的にお答えください。※利用時間帯は 24 時間制でお答えください。

現在利用している保育サービスの利用状況をみると、1 週あたり利用日数は「5 日」が 76.8% で最も多くなっている。1 日あたり利用時間は、「10～11 時間未満」が 28.7% で最も多く、以下「9～10 時間未満」(18.3%)、「8～9 時間未満」(16.9%) と続いている。

利用開始時間は、91.3% が「13 時以前」の時間帯を答えており、終了時間は「17 時台」が 32.1%、「18 時台」が 31.3% となっている。

【1 週あたり利用日数】

【現在】

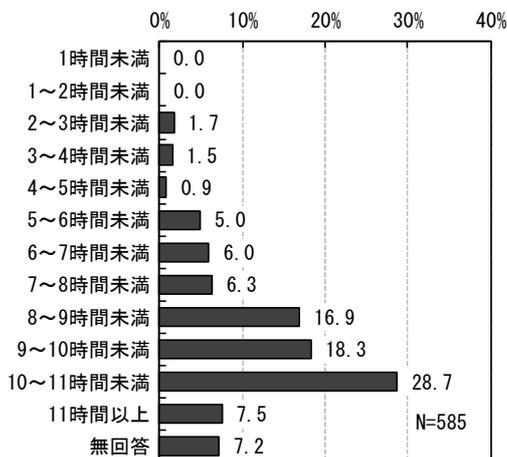


【希望】

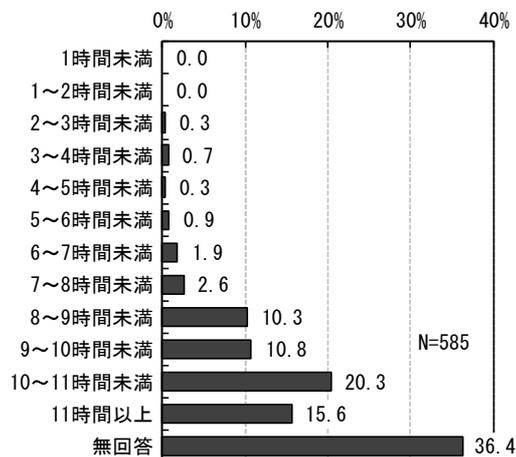


【1 日あたり利用時間】

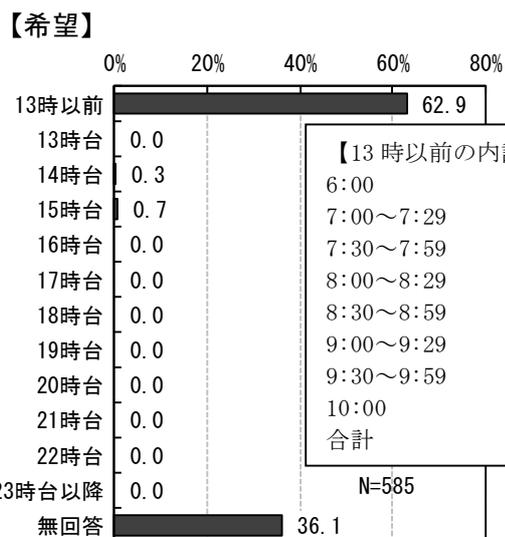
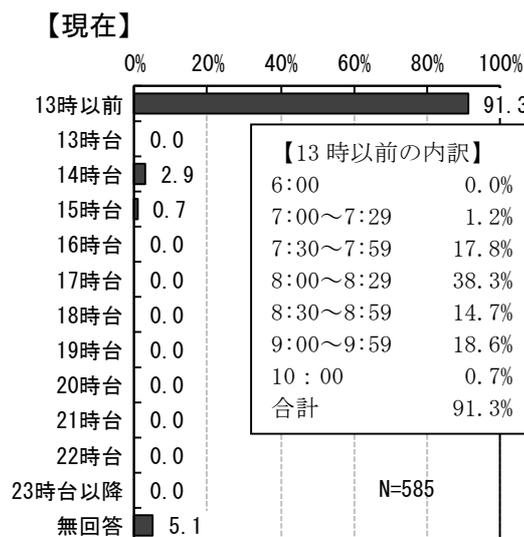
【現在】



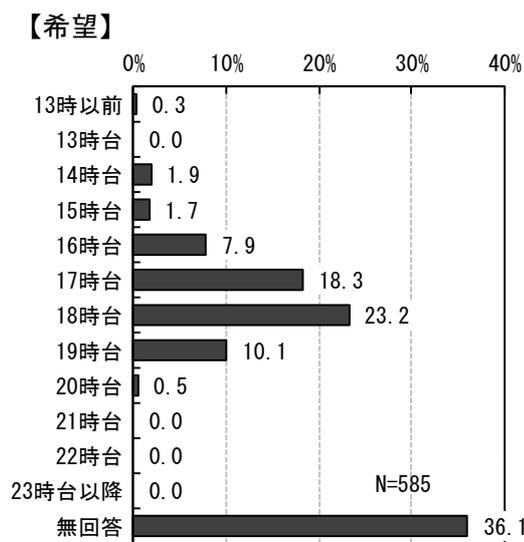
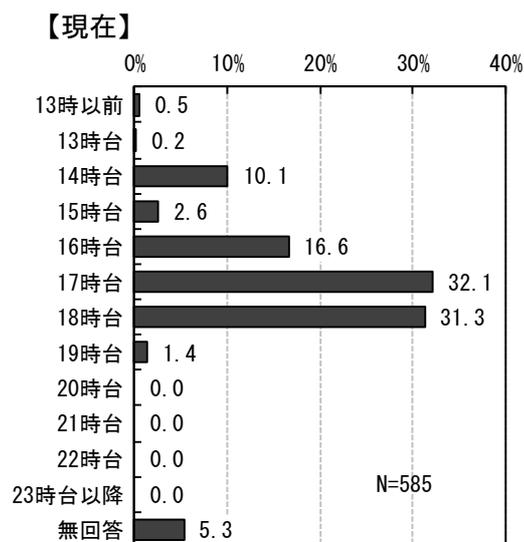
【希望】



【利用時間帯（開始）】



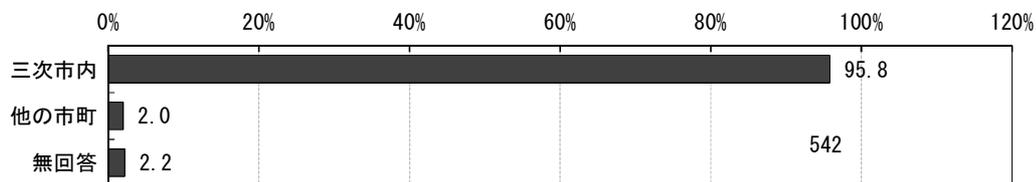
【利用時間帯（終了）】



【就学前児童】

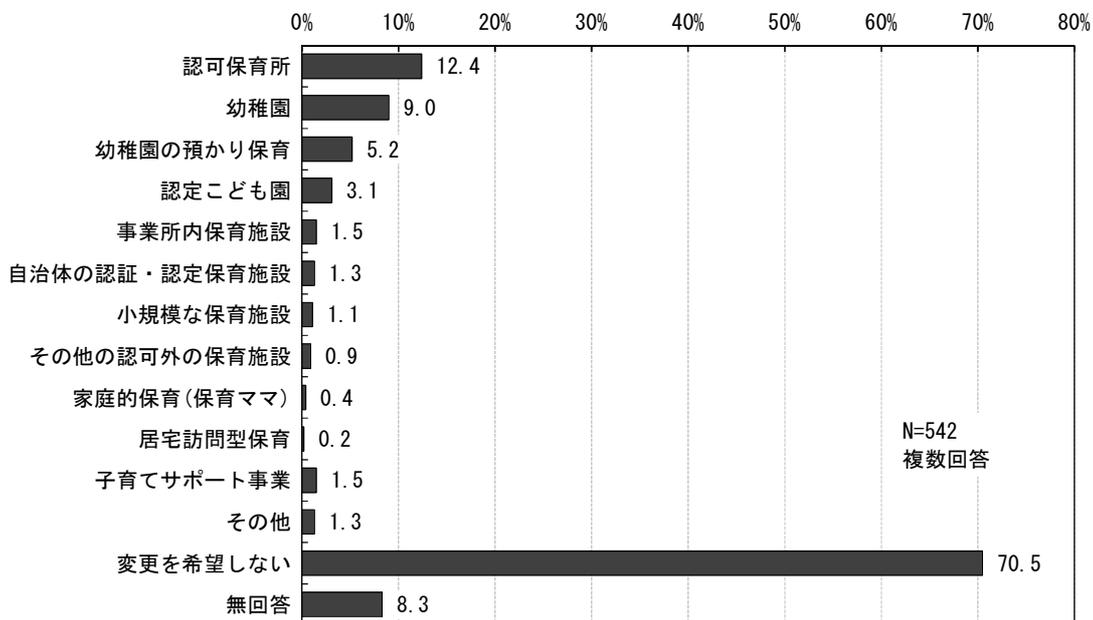
(4) 問 10-3 問 10-1 で選択したサービスのうち、主に利用しているサービスの実施場所はどこですか。(1つに○)

現在利用しているサービスの実施場所については、「三次市内」が 95.8% で最も多くなっている。



(5) 問 10-4 教育・保育にかかる負担が無償または上限付きの補助となった場合、現在利用しているサービスから変更を希望するサービスがありますか。(あてはまるものすべてに○)

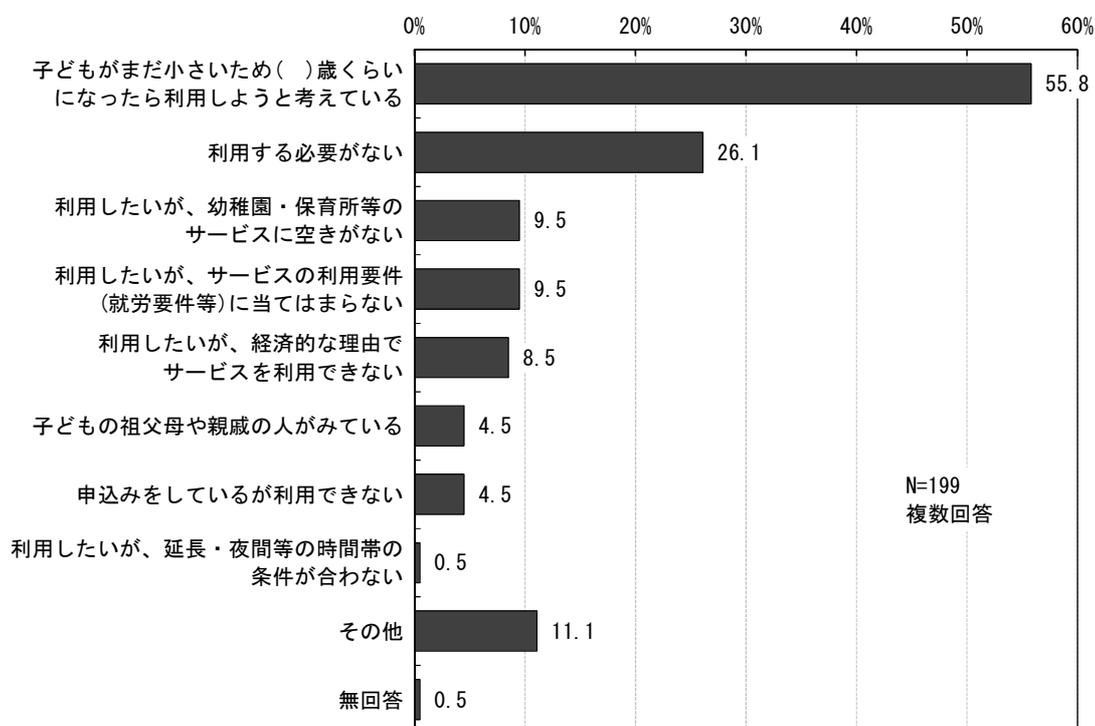
負担が無償または上限付きの補助となった場合、「変更を希望しない」が 70.5% と圧倒的に多く、無償化に関係なく、現在の利用施設での教育・保育を続けたいという保護者が大半であり、利用料だけで教育・保育施設を選択していないという考え方が背景にあることが考えられる。



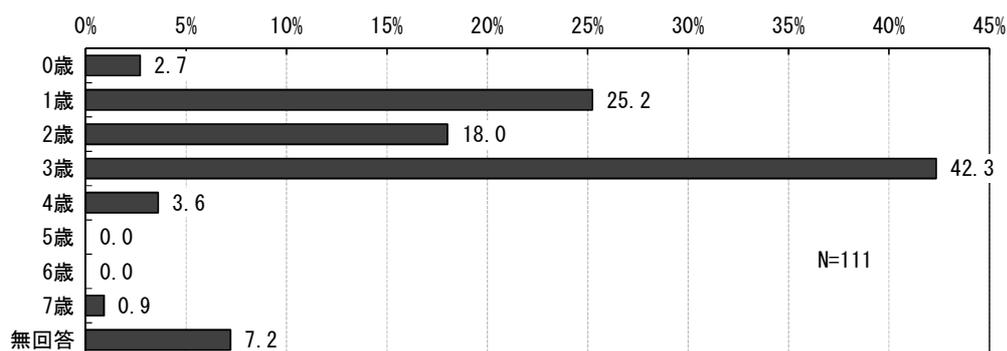
## 問 10 で「2」に○をした方にお伺いします。

(6) 問 10-5 利用していない理由は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

平日に定期的にサービスを利用していない理由としては、「子どもがまだ小さいため」(55.8%)が最も多く、次いで「利用する必要がない」が26.1%となっている。  
 利用しようと考えている子どもの年齢としては、「3歳」が42.3%と最も多い。



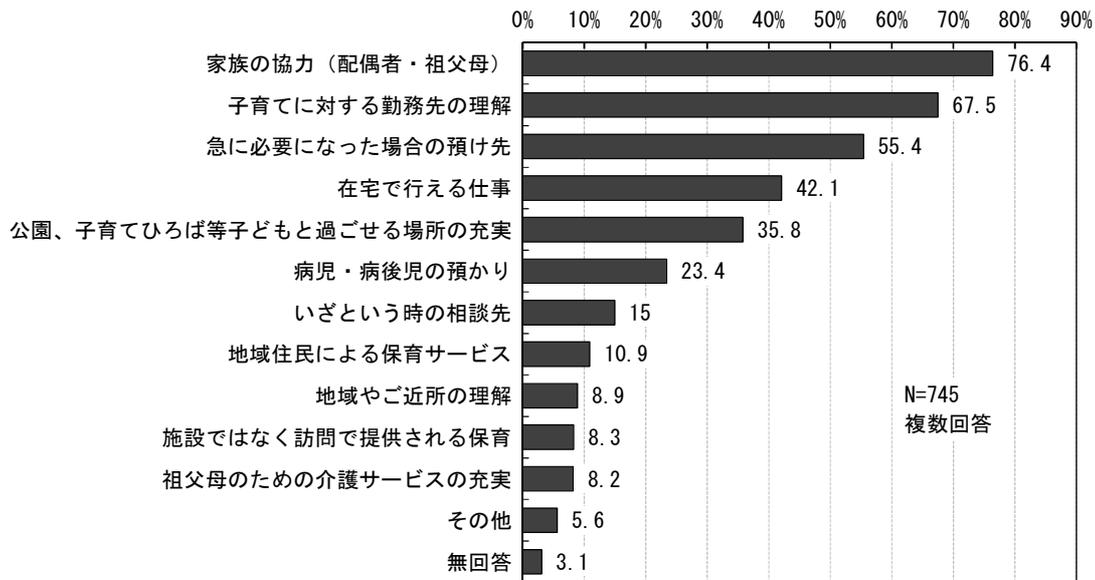
## 【利用しようと考えている子どもの年齢】



**すべての方にお伺いします。**

(7) 問 11 平日での、家庭での保育を継続する、あるいは現在利用されているサービスから家庭での保育に移る条件として必要と思われることは何ですか。(あてはまるものすべてに○)

家庭での保育を行うために必要な条件については、「家族の協力（配偶者・祖父母）」が 76.4%で最も多く、次いで「子育てに対する勤務先の理解」67.5%、「急に必要になった場合の預け先」55.4%となっている。

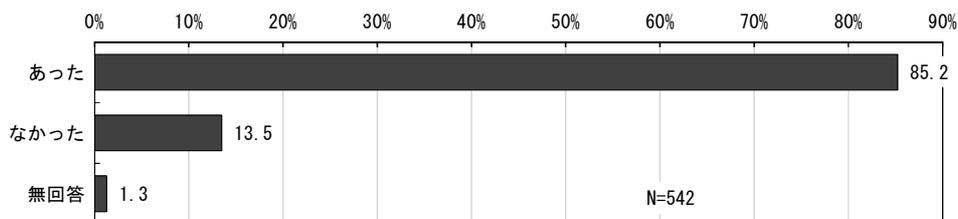


#### 4 子どもが病気の際の対応（平日のサービスを利用している人のみ）

平日の定期的な幼稚園・保育所等のサービスを利用している方（問10で「1」に○をした方）にお伺いします。利用していない方は、問13へお進みください。

（1）問12 この1月までの1年間に、あて名のお子さんが病気やケガで幼稚園や保育所等が利用できなかったことはありますか。（1つに○）

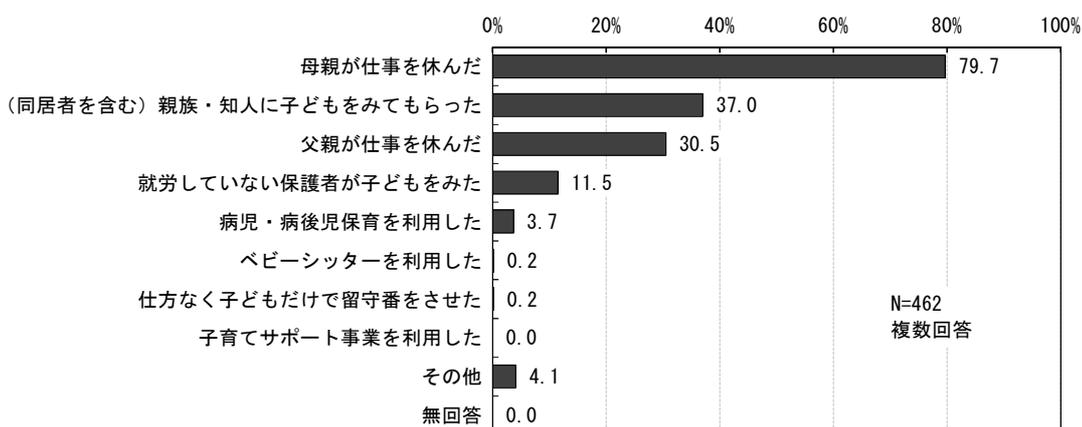
この1年間に、子どもが病気やケガで通常の保育サービスが利用できなかった経験についてみると、「あった」が85.2%と8割以上を占めている。



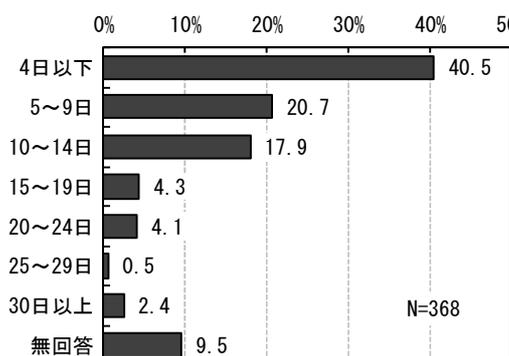
問12で「1」に○をした方にお伺いします。

（2）問12-1 この1月までの1年間の対処方法とそれぞれの日数は何日でしたか。あてはまる番号すべてに○をつけ、それぞれの日数をお答えください。（あてはまるものすべてに○）※半日程度についても1日としてカウントしてください。

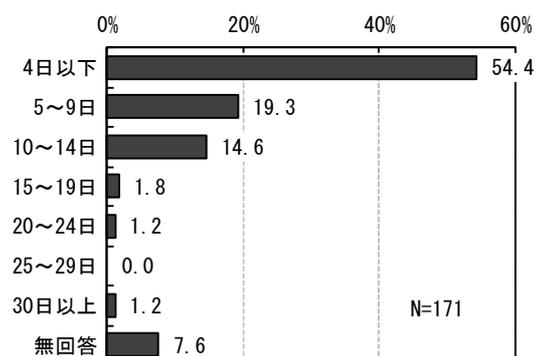
その対処方法としては、「母親が仕事を休んだ」が79.7%と約8割を占め、日数は「4日以下」が40.5%となっている。次いで「(同居者を含む)親族・知人に子どもをみてもらった」が37.0%で、日数は「4日以下」が54.4%となっている。以下、「父親が仕事を休んだ」(30.5%)、「就労していない保護者が子どもをみた」(11.5%)と続いており、「病児・病後児保育を利用した」は3.7%にとどまっている。



【母親が仕事を休んだ】

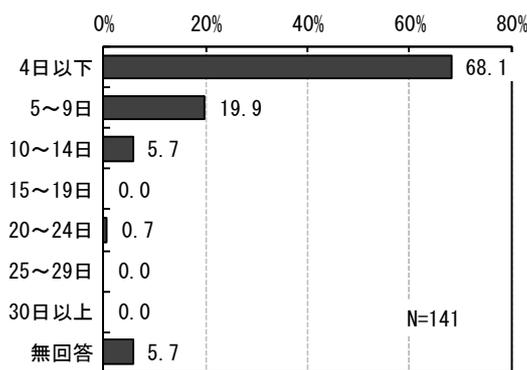


【親族・知人に子どもをみてもらった】

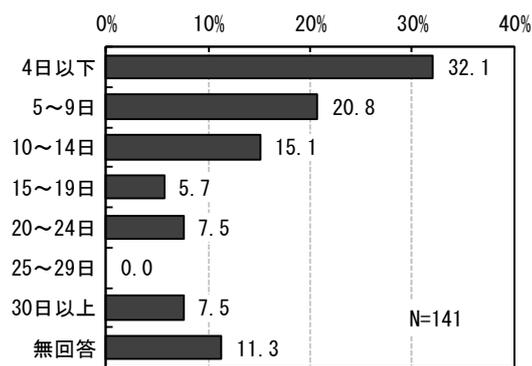


【就学前児童】

【父親が仕事を休んだ】



【就労していない保護者が子どもをみた】

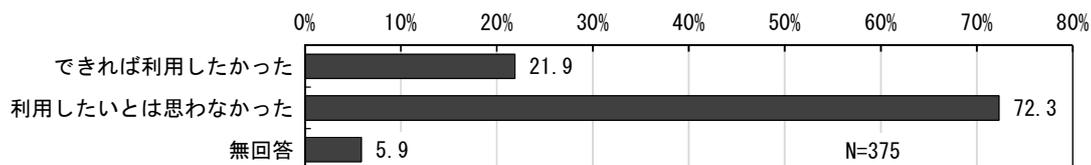


問 12-1で「1」または「2」に○をした方にお伺いします。

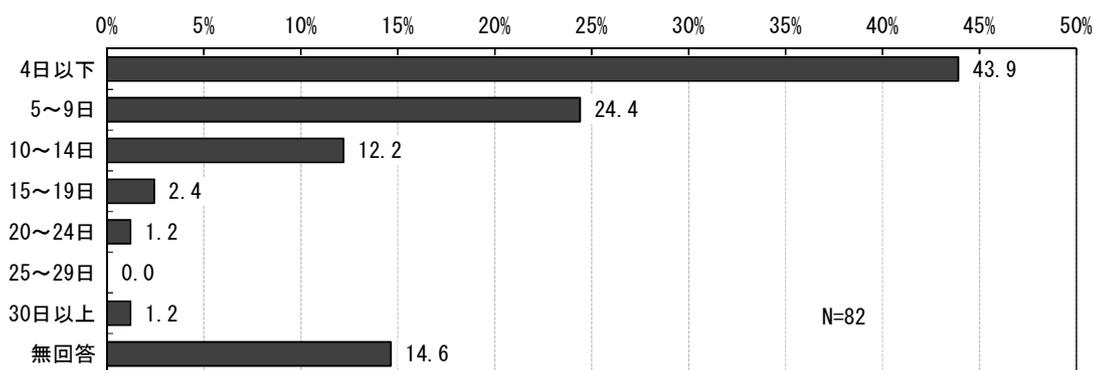
(3) 問 12-2 その際、できれば病児・病後児保育を利用したいと思いましたが。

(1つに○) また、施設を利用したいと思った日数をお答えください。

子どもが病気やケガで通常の保育サービスが利用できなかった日に、病児・病後児保育等を「できれば利用したかった」は 21.9%で約2割を占めており、利用したいと思った日数は「4日以下」が 43.9%で最も多くなっている。



【利用したいと思った日数】

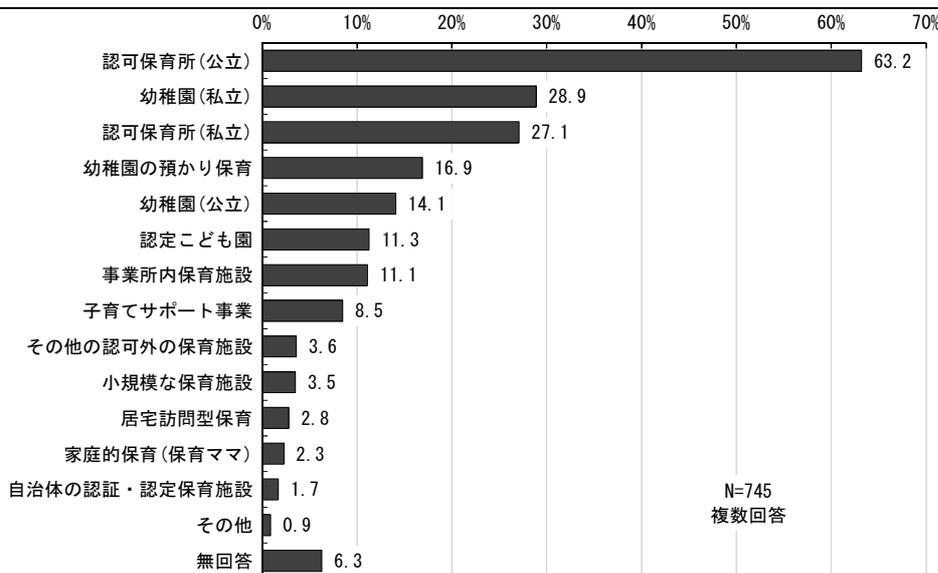


## 5 平日の定期的な幼稚園・保育所等のサービスの利用希望

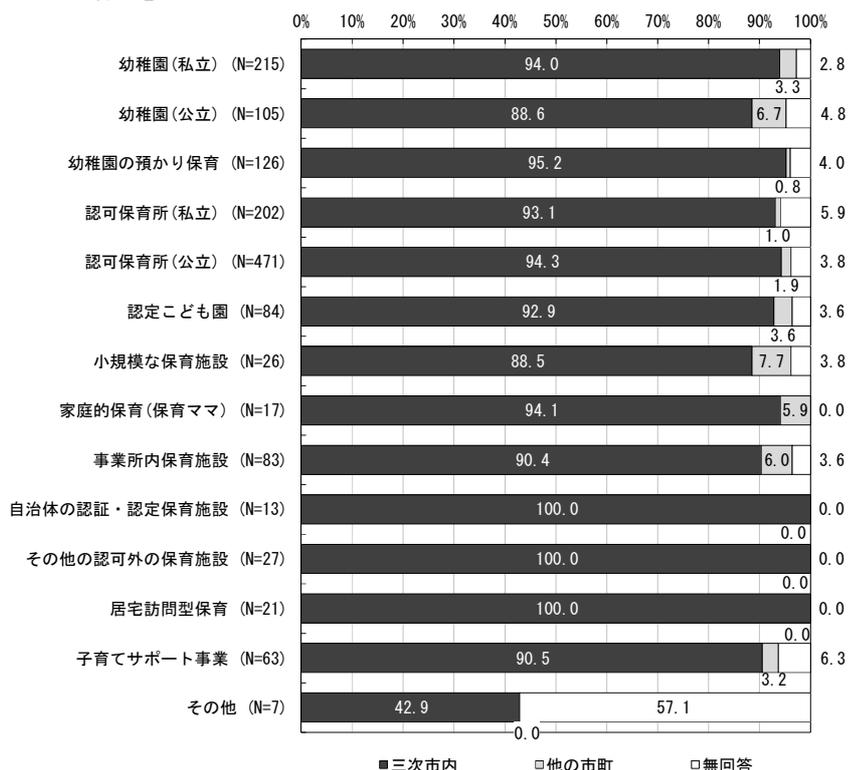
### すべての方にお伺いします。

- (1) 問13 現在、利用している、利用していないにかかわらず、あて名のお子さんの平日の幼稚園・保育所等のサービスとして、今後「定期的に」利用したいと考えるサービスをお答えください。(あてはまるものすべてに○) また、選択したサービスについて、利用したい場所もそれぞれお答えください。※これらのサービスの利用には、一定の利用者負担が発生します。

今後定期的に利用したいサービスをみると、「認可保育所（公立）」が63.2%で最も多く、次いで「幼稚園（私立）」が28.9%となっており、以下、「認可保育所（私立）」27.1%と続いている。また利用したい場所については、ほとんどが三次市内を希望している。



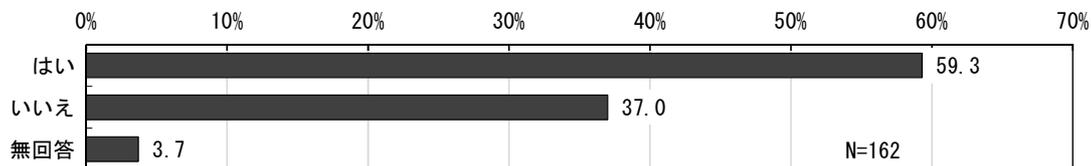
### 【利用したい場所】



問 13 で「1」～「3」のいずれかに○をし、かつ「4」～「13」にも○をした方にお伺いします。

(2) 問 13-1 特に幼稚園（幼稚園の預かり保育をあわせて利用する場合を含む）の利用を強く希望しますか。（1つに○）

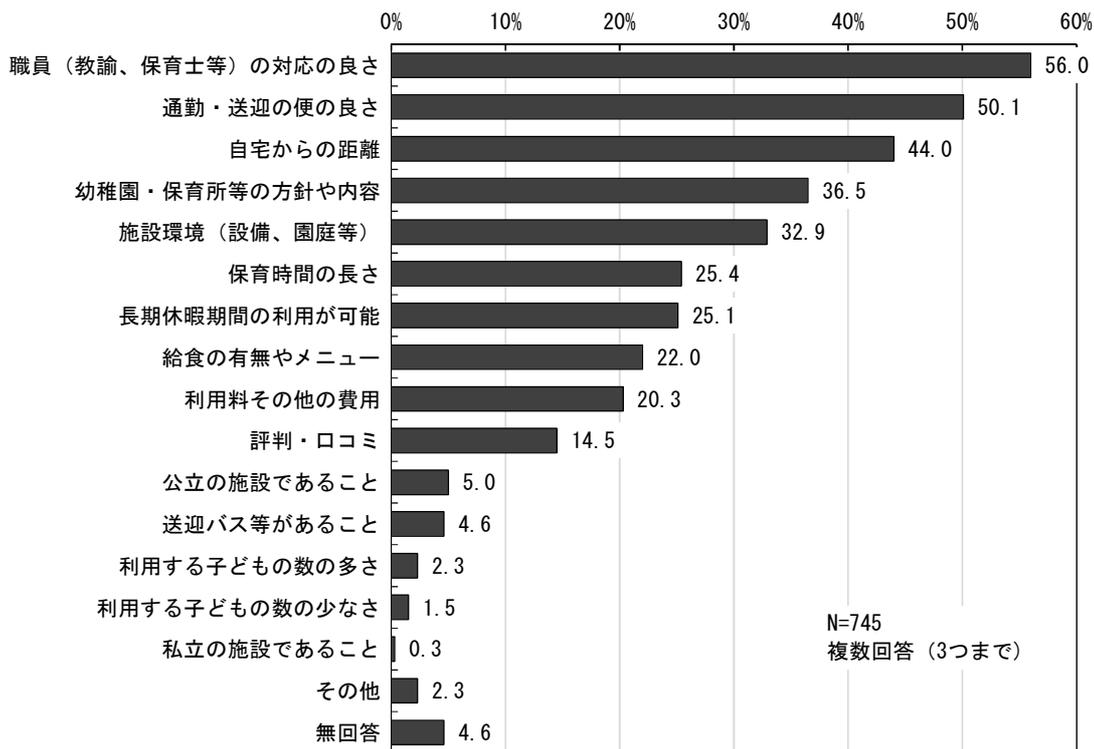
特に幼稚園の利用を強く希望する人の割合は、59.3%となっている。



すべての方にお伺いします。

(3) 問 13-2 あて名のお子さんが利用する施設を選ぶ際に、重視したいことは何ですか。（3つまで○）

利用する施設を選ぶ際に重視したいことについては、「職員（教諭、保育士等）の対応の良さ」が56.0%で最も多く、次いで「通勤・送迎の便の良さ」50.1%、「自宅からの距離」44.0%となっている。



## 6 土曜日・休日や長期休暇中の定期的な幼稚園・保育所等のサービスの利用希望

土曜日、日曜日・祝日のサービス利用意向についてみると、土曜日は「ほぼ毎週利用したい」「月に1～2回利用したい」を含めて52.1%と5割以上が希望しているが、日曜日・祝日では21.7%と半数以下になっている。

利用時間帯としては、開始時刻は土日とも「8時台」が最も多く、終了時刻は「17時台」、「18時台」が多くなっている。

現在幼稚園を利用している方の、長期休暇期間中の預かり保育の利用希望についてみると、「休みの期間中、ほぼ毎日利用したい」（14.3%）と「休みの期間中、週に数日利用したい」（14.7%）を合わせた利用希望の割合は29.0%となっている。希望する利用時間帯は、開始時間は「8時台」、終了時間は「17時台」「18時台」が最も多くなっている。

## すべての方にお伺いします

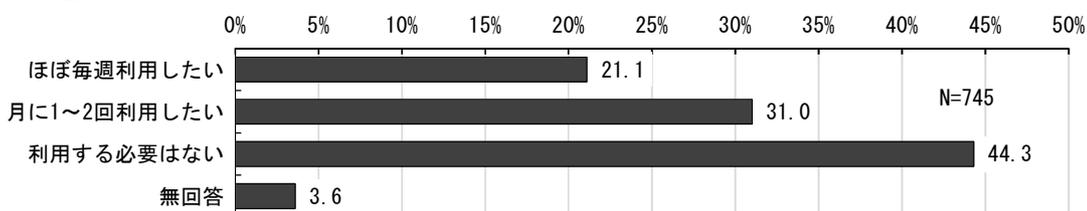
- (1) 問 14 あて名のお子さんについて、土曜日と日曜日・祝日に、定期的なサービスの利用希望はありますか（一時的な利用は除きます）。それぞれの中から該当する番号に○をつけてください。（1つに○）

※幼稚園・保育所等のサービスとは、幼稚園、保育所、認可外保育施設等のサービスを指します。（親族・知人による預かりは含みません。）

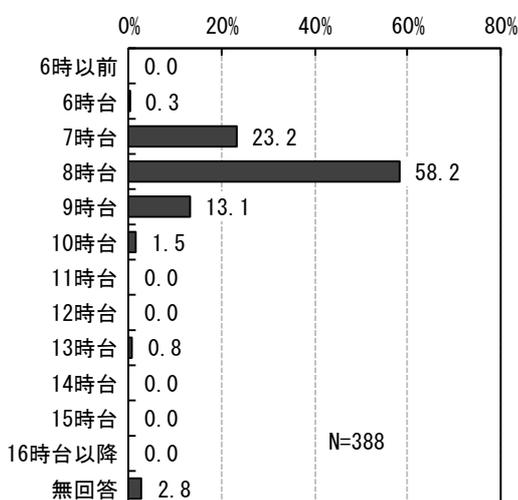
※希望する利用時間帯は24時間制でお答えください。

※これらのサービスの利用には、一定の利用者負担が発生します。

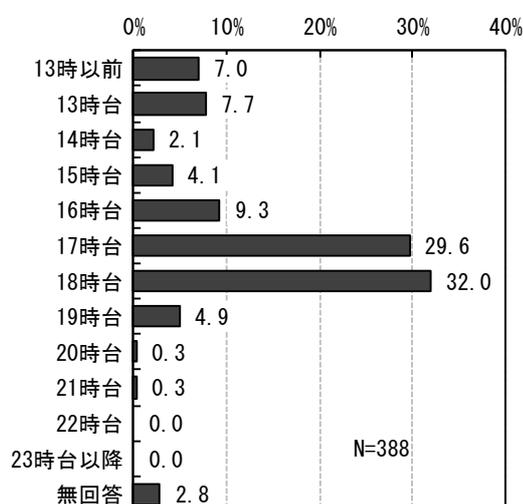
## ① 土曜日



## 【利用開始時間帯（開始）】

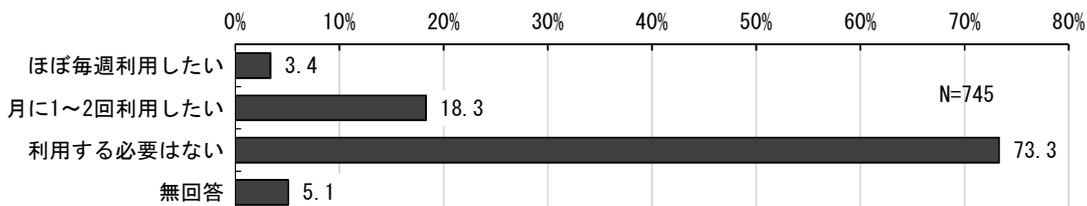


## 【利用時間帯（終了）】

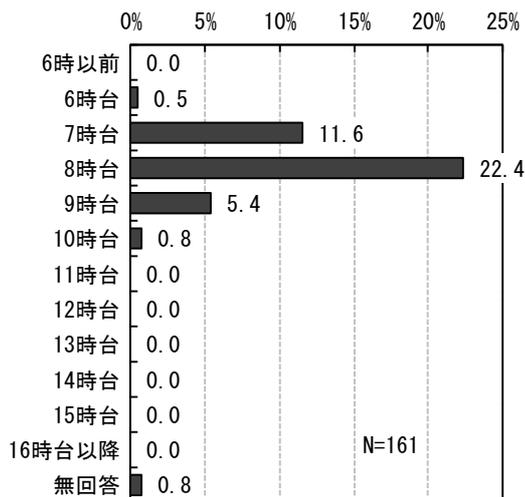


【就学前児童】

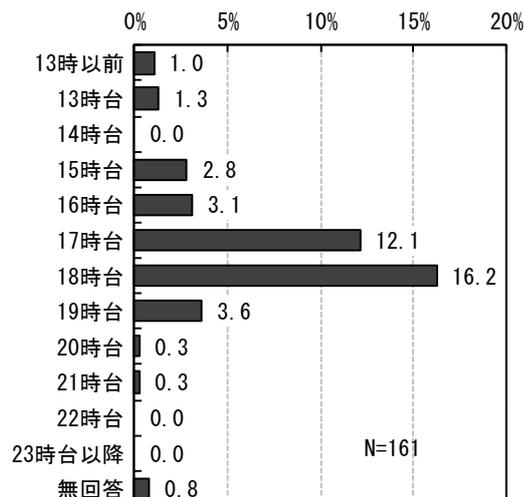
② 日曜日・祝日



【利用開始時間帯（開始）】

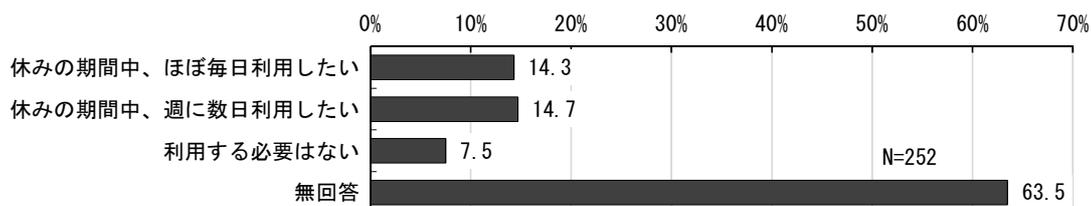


【利用時間帯（終了）】

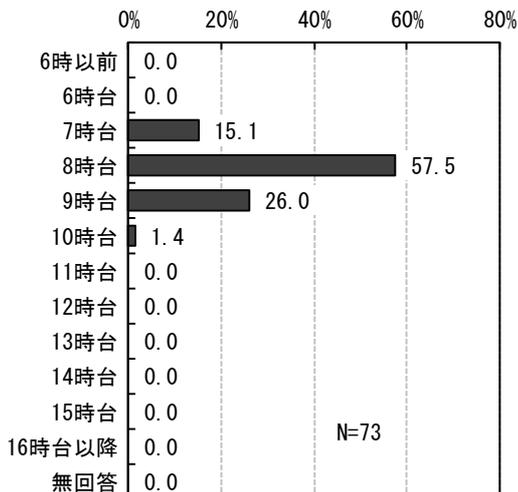


現在、幼稚園を利用している方にお伺いします。利用していない方は、問 16 にお進みください。

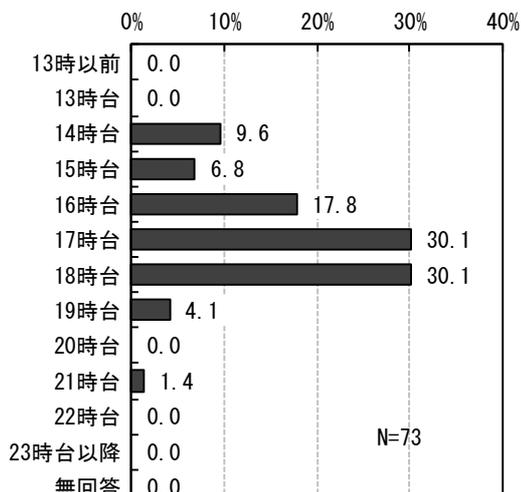
(2) 問 15 あて名のお子さんについて、夏休み・冬休み等長期休暇期間中の預かり保育の利用希望はありますか。該当する番号に○をつけてください。(1つに○)  
 ※希望する利用時間帯は24時間制でお答えください。  
 ※預かり保育には、一定の利用者負担が発生します。



【利用開始時間帯（開始）】



【利用時間帯（終了）】

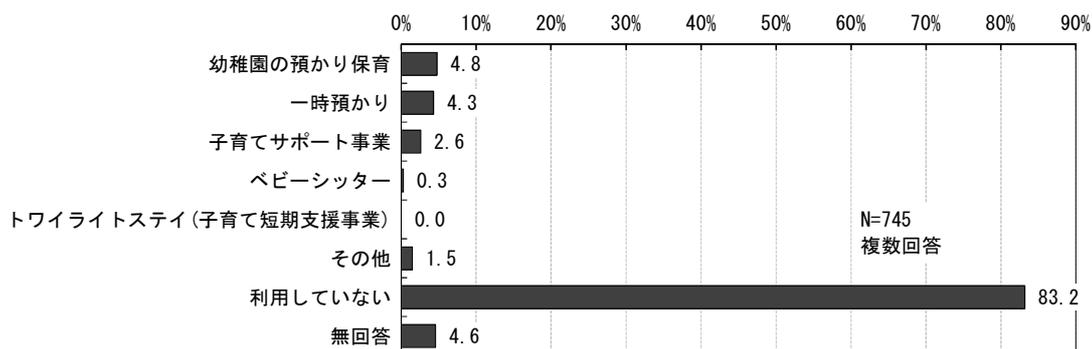


## 7 不規則の幼稚園・保育所等のサービスや宿泊を伴う一時預かり等の利用

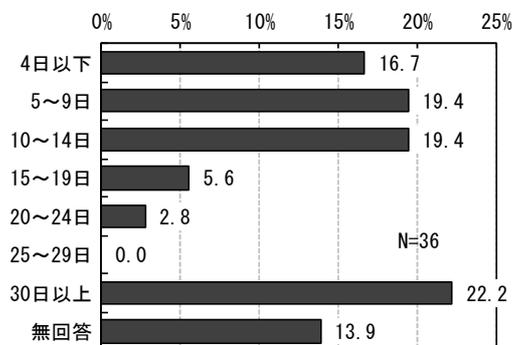
すべての方にお伺いします。

- (1) 問 16 あて名のお子さんについて、私用、親の通院、不規則の就労等の目的で不規則に利用しているサービスはありますか。あてはまる番号すべてに○をつけ、1年間の利用日数（おおよそ）もお答えください。

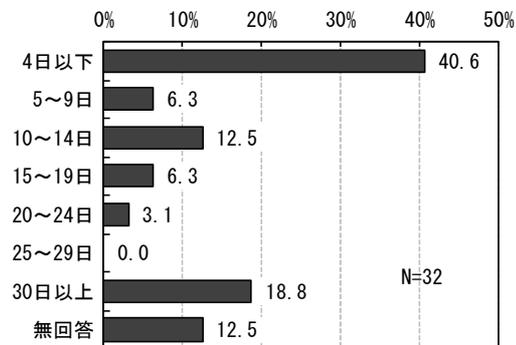
私用、親の通院、不規則の就労等の目的で不規則に利用しているサービスについてみると、「利用していない」が83.2%を占めている。利用している割合は、「幼稚園の預かり保育」が4.8%、「一時預かり」が4.3%、「子育てサポート事業」が2.6%となっている。



【利用日数（幼稚園の預かり保育）】



【利用日数（一時預かり）】



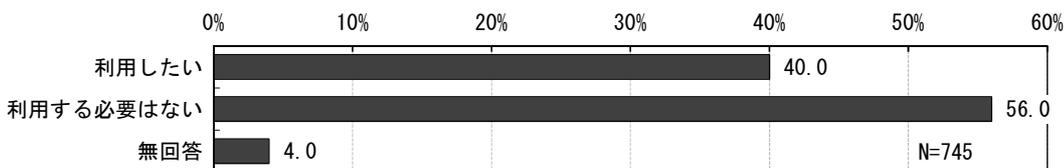
【就学前児童】

すべての方にお伺いします。

(2) 問 17 あて名のお子さんについて、私用、親の通院、不定期の就労等の目的で、年間何日くらい問 16 のようなサービスを利用する必要があると思いますか。該当する番号に○をつけ、必要な日数もお答えください。

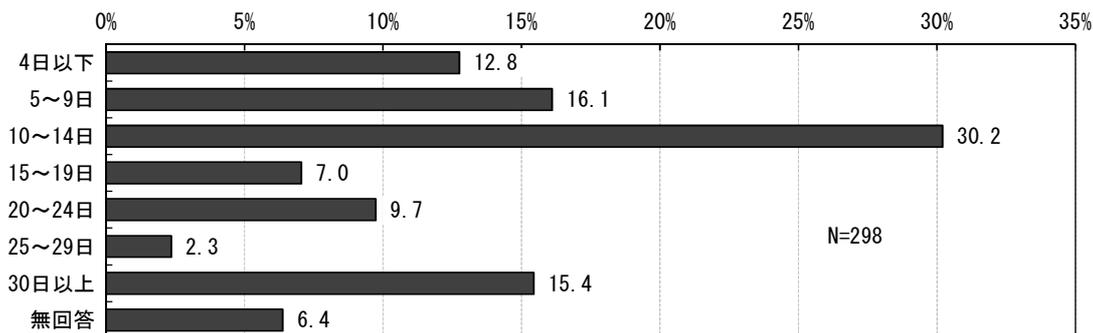
※これらのサービスの利用には、一定の利用者負担が発生します。

私用、親の通院、不定期の就労等の目的で事業を利用する必要の有無についてみると、「利用したい」は40.0%で、利用希望日数の合計は「10～14日」が30.2%で最も多くなっている。利用目的別にみると、「私用（買物、子ども（兄弟姉妹を含む）や親の習い事等）、リフレッシュ目的」は「10～14日」、「冠婚葬祭、学校行事、子どもや親の通院等」は「4日以下」がそれぞれ最も多くなっている。



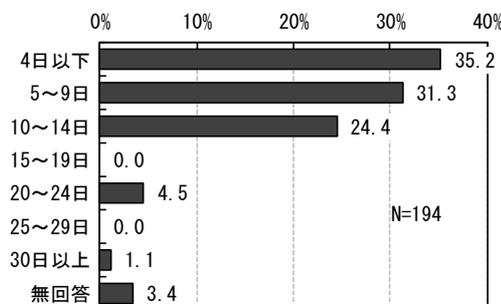
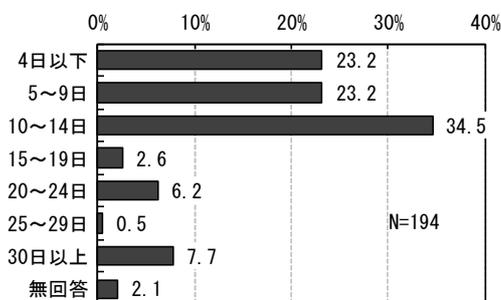
【利用希望日数】

【合計日数】



【リフレッシュ目的】

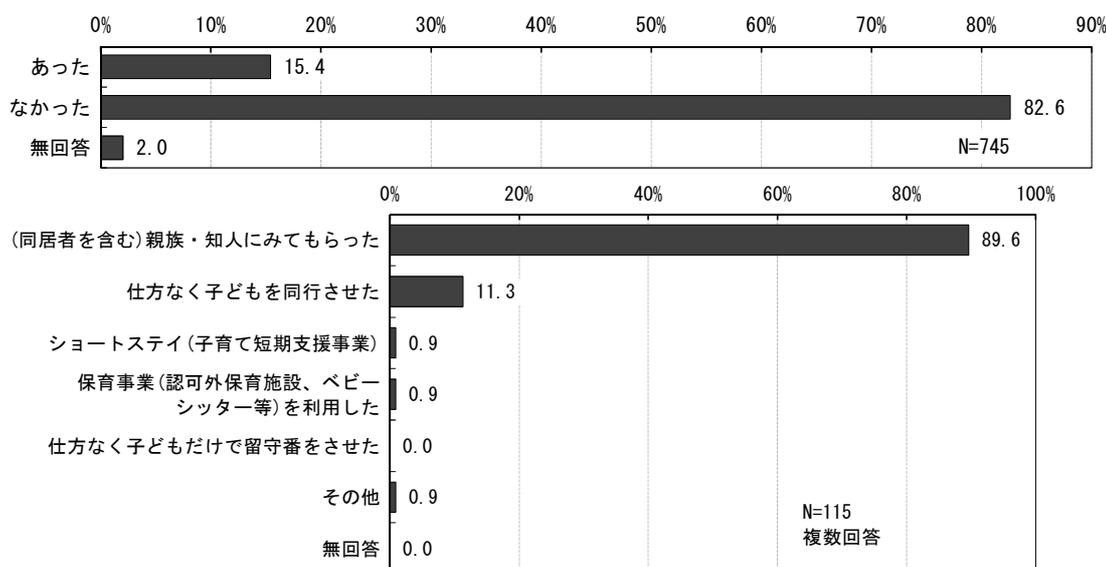
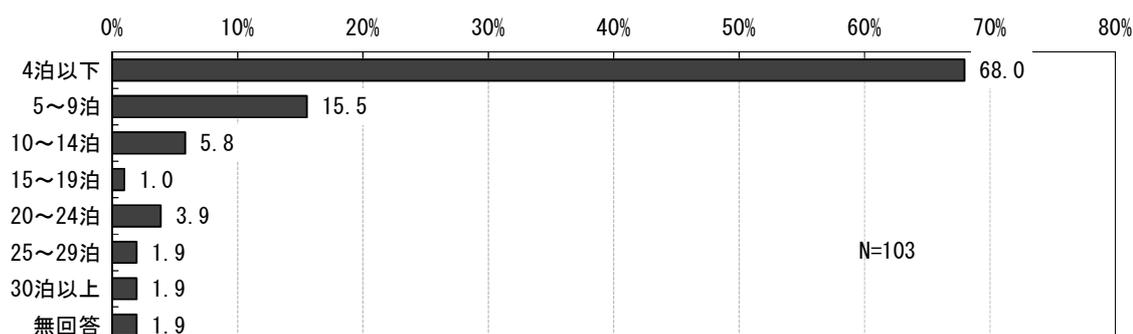
【冠婚葬祭、学校行事、子どもや親の通院等】



**すべての方にお伺いします。**

- (3) 問 18 この1年間に、保護者の用事（冠婚葬祭、保護者・家族の病気等）により、あて名のお子さんを泊まりがけで家族以外にみてもらわなければならないことはありましたか（預け先が見つからなかった場合も含みます）。該当する番号に○をつけ、この1年間の対処方法の日数もお答えください。

この1年間で、保護者の用事などにより、お子さんを泊まりがけで家族以外にみてもらわなければならない経験についてみると、「あった」が15.4%となっている。その際の対処方法としては、「(同居者を含む)親族・知人にみてもらった」が89.6%で約9割を占め、泊数は「4泊以下」が68.0%となっている。次いで「仕方なく子どもを同行させた」が11.3%となっている。

**【(同居者を含む)親族・知人にみてもらった泊数】****問 18 で「1. あった ①(同居者を含む)親族・知人にみてもらった」に○をした方にお伺いします。**

- (4) 問 18-1 その場合の困難度はどの程度でしたか。(1つに○)

親族・知人にみてもらった場合の困難度としては、「非常に」「どちらかという」と合わせて困難が53.4%と半数を超えており、「特に困難ではない」は46.6%となっている。



## 8 小学校就学後の放課後の過ごし方

あて名のお子さんの年齢が**5歳以上**の方にお伺いします。該当しない方は、問 22 へお進みください。

- (1) 問 19 あて名のお子さんについて、小学校低学年（1～3年生）のうちは、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。（あてはまるものすべてに○）併せて、週あたりの日数を数字でご記入ください。  
 ※放課後児童クラブを希望する場合は、利用時間を24時間制でお答えください。  
 ※時刻については、30分未満は切り捨て、30分以上は切り上げてお答えください。

**【放課後児童クラブとは】**

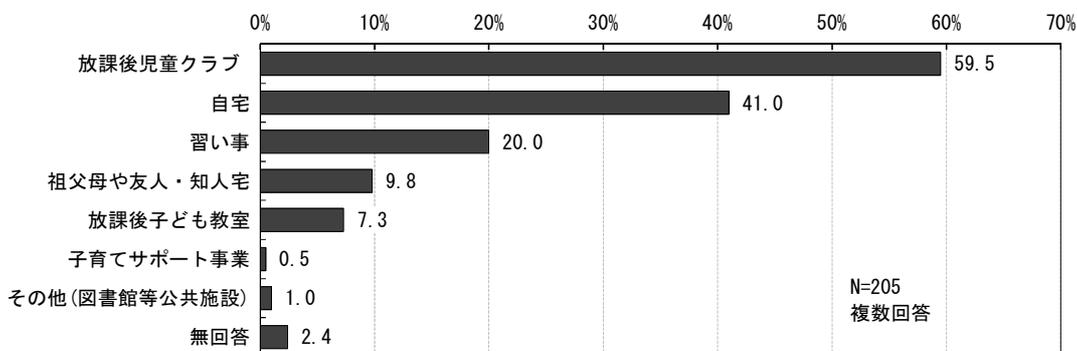
保護者が就労等により昼間家庭にいない留守家庭児童を対象に、放課後の生活の場を提供するサービスです。サービスの利用には、一定の利用者負担が発生します。

**【放課後子ども教室とは】**

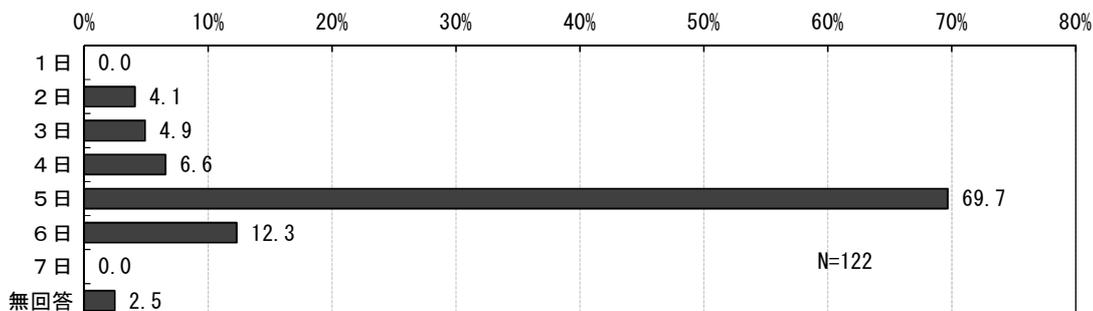
放課後や週末等に、子どもたちの居場所を設けたり、地域の方々の協力を得て、学習や文化活動、地域住民との交流活動等を行うサービスです。サービスの利用には、一定の利用者負担が発生します。

小学校低学年時に放課後の時間を過ごさせたい場所についてみると、「放課後児童クラブ」が59.5%で最も多く、次いで「自宅」が41.0%、「習い事」が20.0%と続いている。

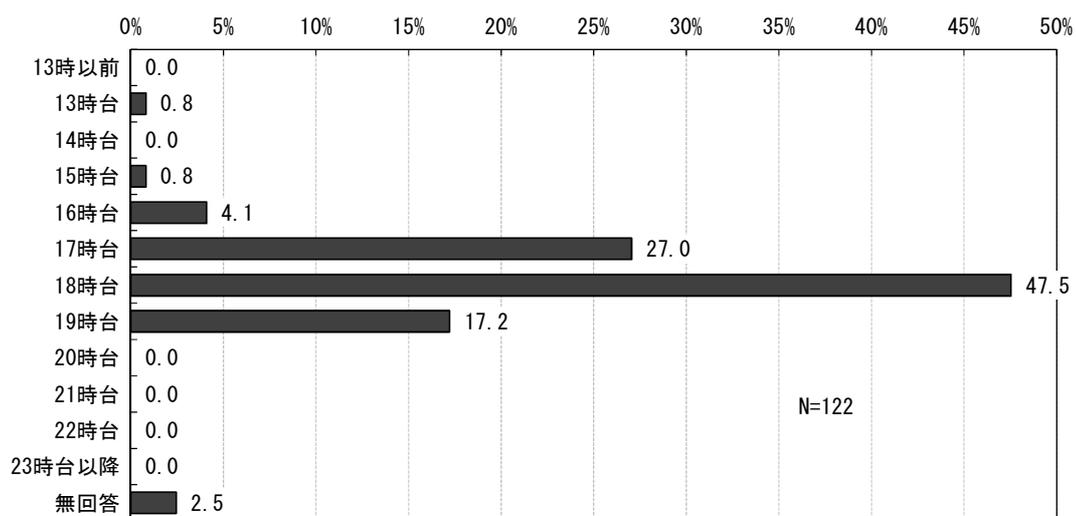
放課後児童クラブの利用希望日数をみると、「5日」が69.7%と約7割を占め、終了希望時間は「18時台」が47.5%で最も多くなっている。



**【利用希望日数】**



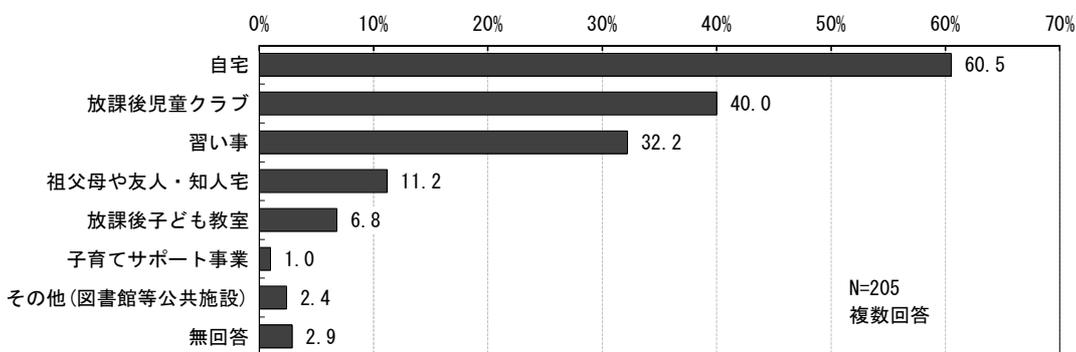
【利用希望時間帯（終了）】



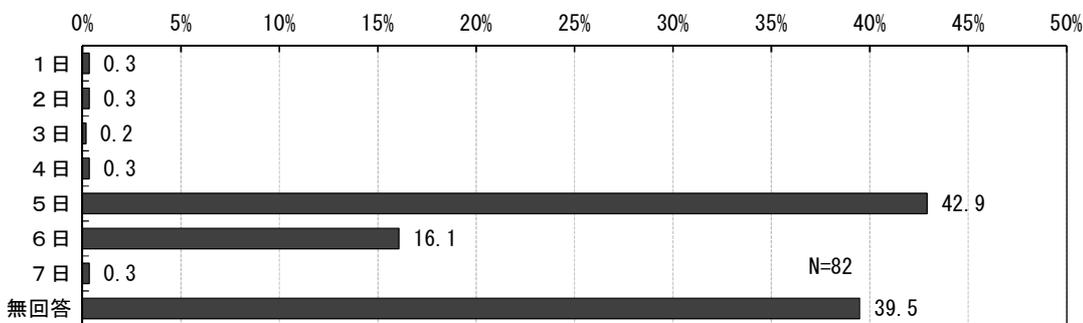
【就学前児童】

- (2) 問20 あて名のお子さんについて、小学校高学年（4～6年生）になったら、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。（あてはまるものすべてに○）併せて、週あたりの日数を数字でご記入ください。  
 ※放課後児童クラブを希望する場合は、利用時間を24時間制でお答えください。  
 ※時刻については、30分未満は切り捨て、30分以上は切り上げてお答えください。  
 ※かなり先のことになりますが、現在お持ちのイメージでお答えください。

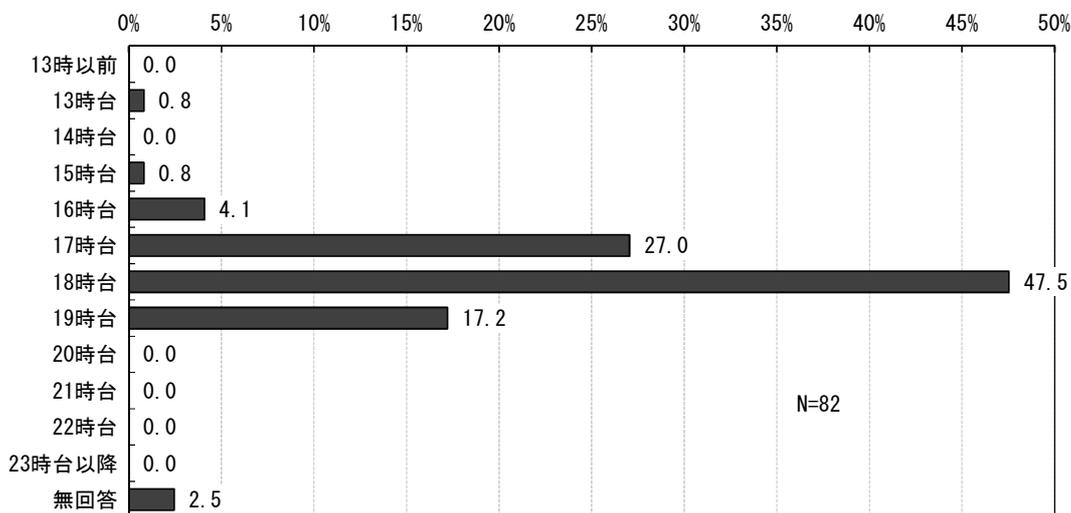
小学校高学年時に放課後の時間を過ごさせたい場所についてみると、「自宅」が60.5%で最も多く、次いで「放課後児童クラブ」が40.0%、「習い事」が32.2%と続いており、小学校低学年時よりも、「自宅」と「習い事」の割合が多くなっている。  
 放課後児童クラブの利用希望日数をみると、「5日」が42.9%で最も多く、終了希望時間は「18時台」が47.5%で最も多くなっている。



【利用希望日数】



【利用希望時間帯（終了）】



問 19 または問 20 で「4」に○をした方にお伺いします。該当しない方は、問 22 へお進みください

(3) 問 21 あて名のお子さんについて、土曜日、日曜日・祝日に、放課後児童クラブの利用希望はありますか。(1つに○)

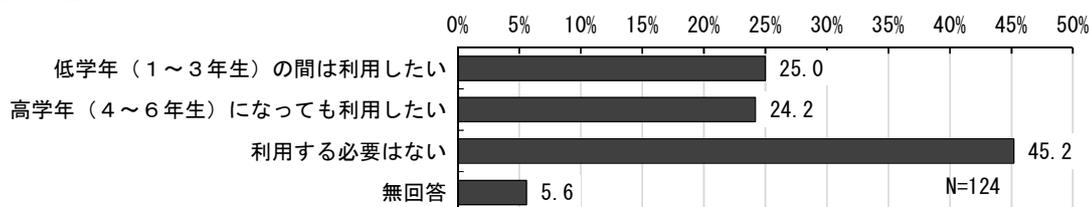
※希望する利用時間帯は 24 時間制でお答えください。

放課後児童クラブの利用意向をみると、土曜日の利用希望は「低学年（1～3年生）の間は利用したい」「高学年（4～6年生）になっても利用したい」を含め 49.2%と約半数となっている。

日曜日・祝日の利用希望は「低学年（1～3年生）の間は利用したい」「高学年（4～6年生）になっても利用したい」を含めて 14.6%と、土曜日に比べると3割程度となっている。

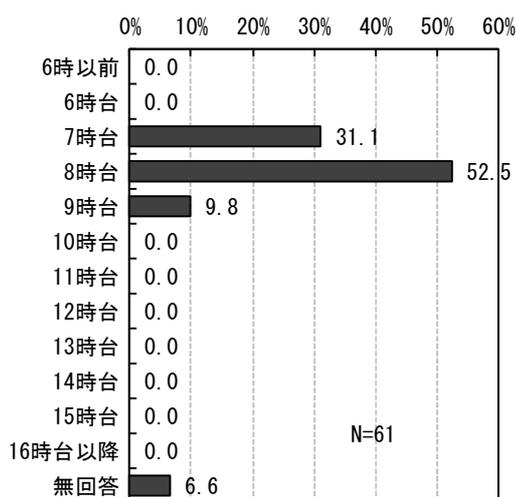
利用希望時間帯をみると、土曜日は開始が「8時台」、終了が「18時台」の希望が多く、日曜・祝日は開始が「7時台」と「8時台」、終了が「18時台」の希望が多くなっている。

### ① 土曜日

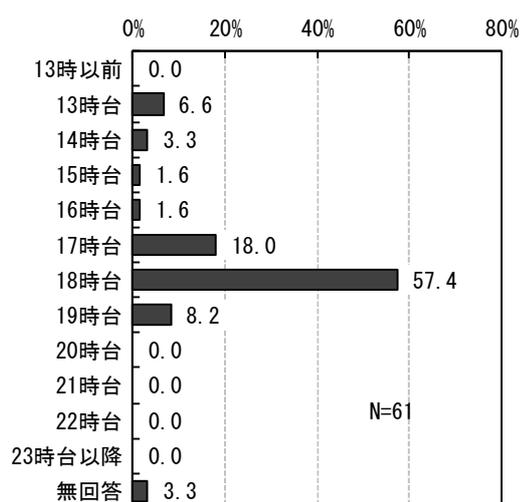


### 【希望する利用時間帯】

#### 【利用時間帯（開始）】



#### 【利用時間帯（終了）】



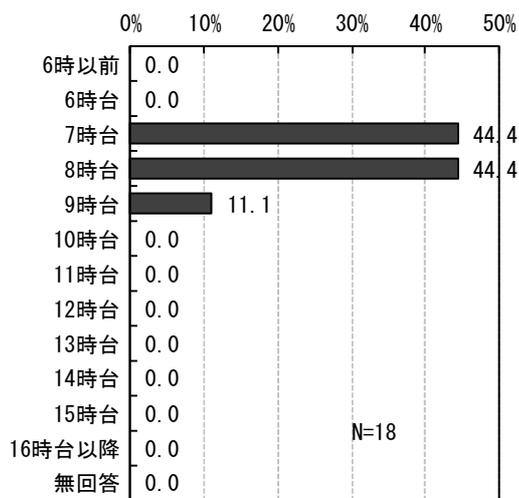
【就学前児童】

② 日曜日・祝日

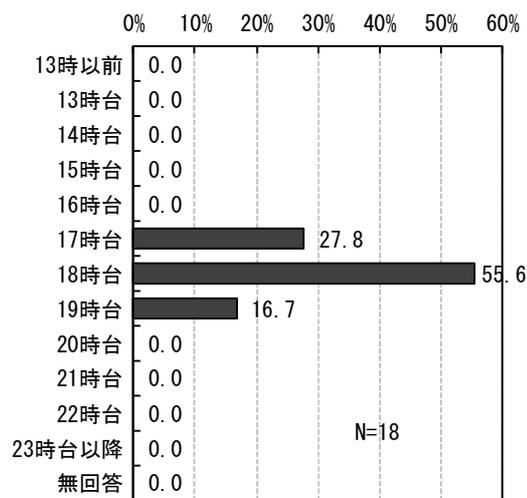


【希望する利用時間帯】

【利用時間帯（開始）】



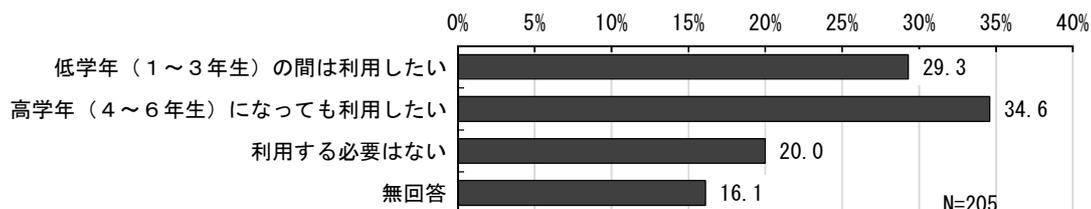
【利用時間帯（終了）】



あて名のお子さんの年齢が5歳以上の方にお伺いします。該当しない方は、問 22 へお進みください。

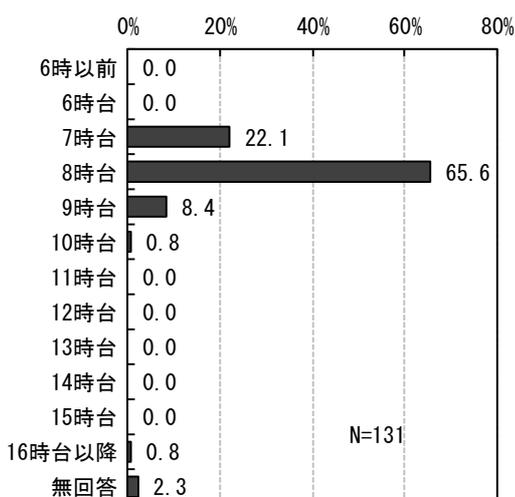
(4) 問 21-1 あて名のお子さんについて、夏休み・冬休み等長期休暇期間に、放課後児童クラブの利用希望はありますか。(1つに○)

夏休み・冬休みなど長期の休暇期間中の放課後児童クラブの利用希望については、「低学年（1～3年生）の間は利用したい」「高学年（4～6年生）になっても利用したい」を合わせると 63.9%と6割を超えており、長期休暇期間中は放課後児童クラブの利用希望のニーズが高いことがうかがえる。

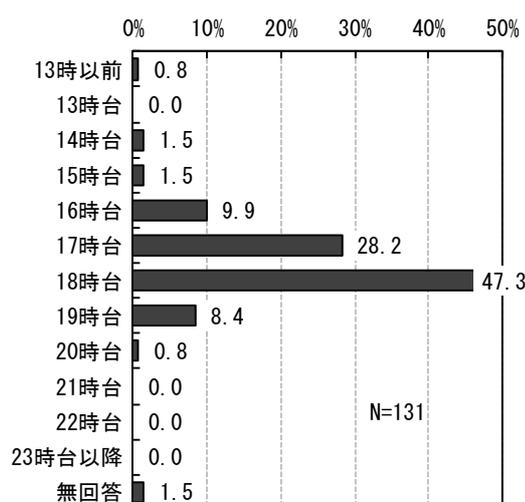


【希望する利用時間帯】

【利用時間帯（開始）】



【利用時間帯（終了）】



## 9 育児休業の取得状況

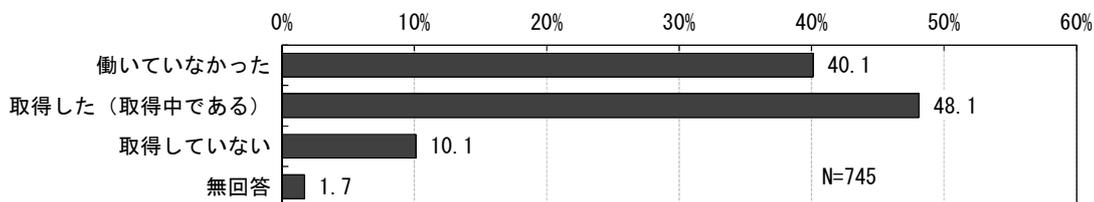
### すべての方にお伺いします。

- (1) 問 22 あて名のお子さんが生まれた時、父母のいずれかもしくは双方が育児休業を取得しましたか。(①母親、②父親ごと1つに〇)  
 ※母親、父親両方ともお答えください。  
 ※ひとり親家庭の場合は①または②のあてはまる方のみお答えください。  
 ※取得した(取得中である)の場合は、取得期間をお答えください。  
 ※取得していない場合は、下の表から該当する理由を3つまで選び、番号でお答えください。

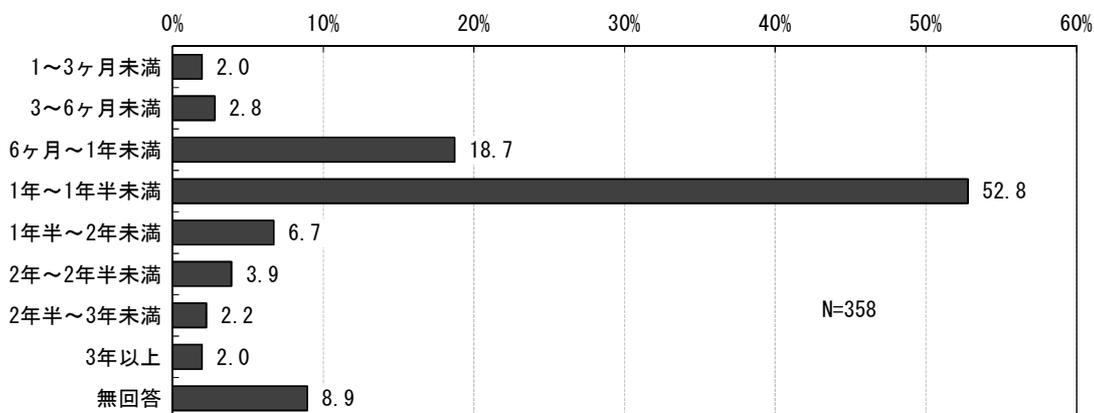
母親の育児休業の取得経験をみると、「取得した(取得中である)」が48.1%となっており、半数近くが取得経験を持っている。取得した期間は「1年～1年半未満」が52.8%で最も多く、次いで「6ヶ月～1年未満」が18.7%となっている。「取得していない」と答えた人は10.1%で、その理由は「子育てや家事に専念するため退職した」が36.0%と最も多く、次いで「職場に育児休業の制度がなかった」が34.7%となっている。

父親は、「取得していない」が83.4%を占めており、その理由としては「仕事が忙しかった」が47.2%で最も多く、次いで「職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった」が39.5%、「収入減となり、経済的に苦しくなる」が38.0%となっている。

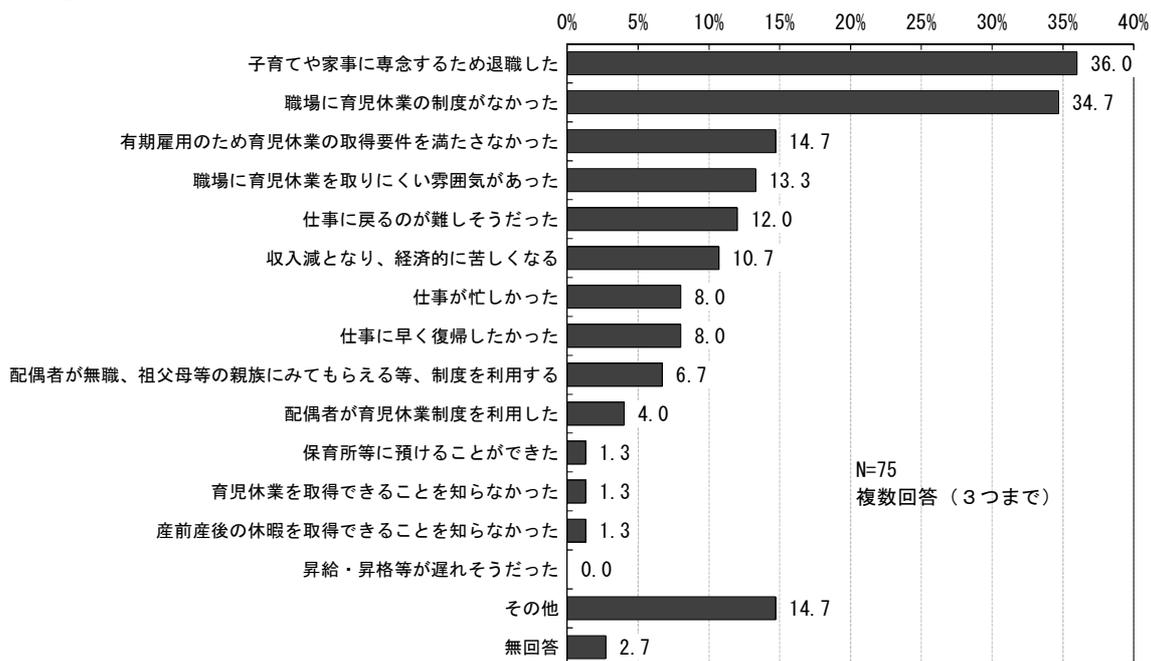
### ① 母親



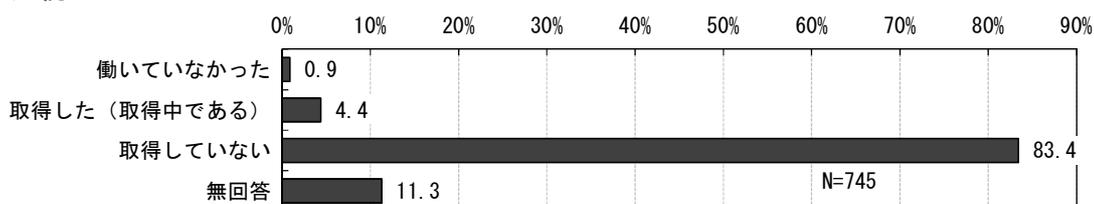
### 【取得した期間】



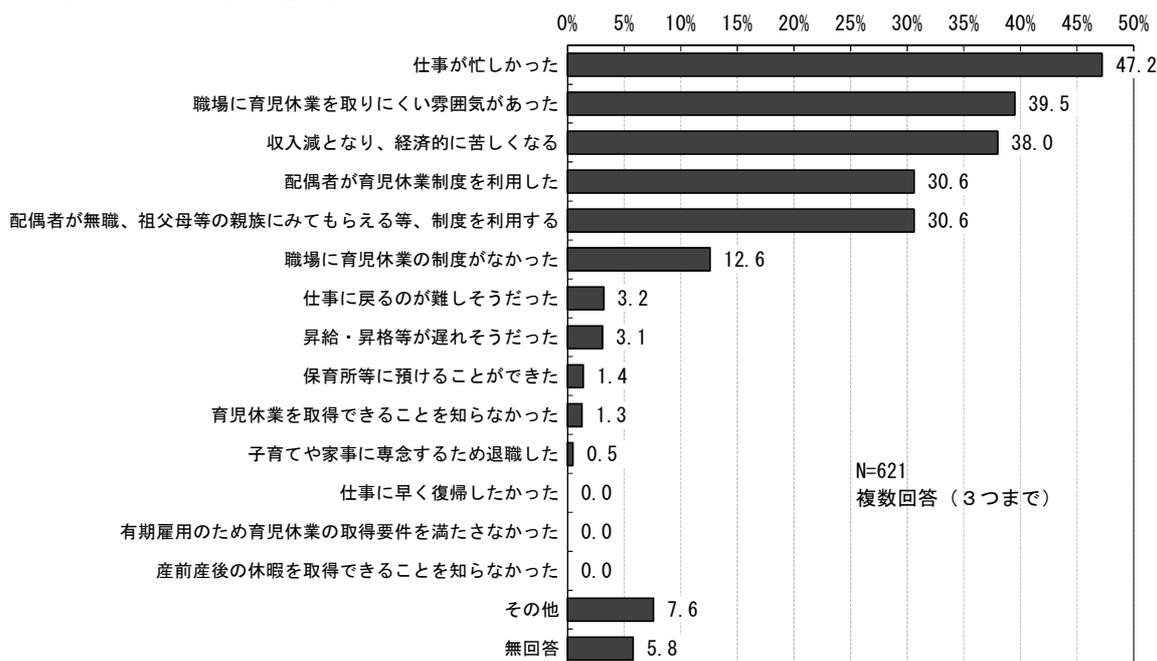
【取得していない理由】



② 父親



【取得していない理由】



(2) 育児休業取得後の対応等（母親のみ）

育児休業取得後の対応等についてみると、職場への復帰状況については、「育児休業取得後、職場に復帰した」が 67.3%で最も多くなっている。また復帰のタイミングについては、「年度初めの入園に合わせたタイミングだった」は 38.2%で、「それ以外だった」の割合は 61.4%で6割を超えている。

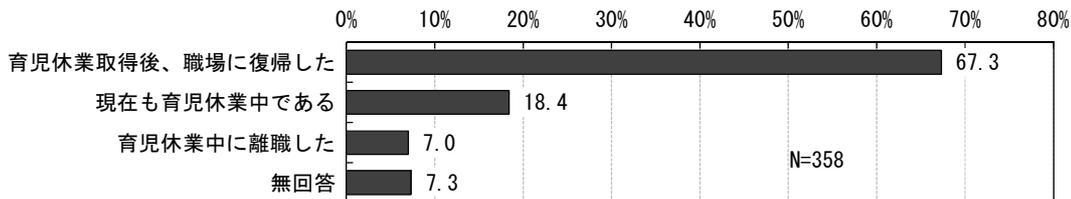
取得期間は、子どもの月齢が「1歳～1歳6か月未満」までを希望する割合が 39.0%と最も多くなっている。実際の取得期間についてみると「1歳～1歳6か月未満」の割合は 53.9%と半数以上を占めるものの、次いで「6ヶ月～1歳未満」が 23.7%となっており、子どもの月齢が1歳未満で職場に復帰する割合は全体の3割近くとなっている。

職場復帰の希望の時期と実際の時期との違いについて、希望より早く復帰した人の理由をみると、「希望する保育所に入園するため」「経済的な理由で早く復帰する必要がある」といづれも 37.6%と多くなっている。「希望する保育所に入園するため」は前回の 25.9%と比較すると大きく伸びており、希望する保育所に入れるように保育所の募集状況等を勘案して希望より早く復帰した保護者が多かったものと考えられる。希望より遅く復帰した方の理由は、「希望する保育所に入れなかったため」が 80.0%を占めている。

「現在も育児休業中である」と答えた方に対し、お子さんが1歳になったときに必ず利用できる保育所等があれば、1歳になるまで育児休業を取得するかどうかを尋ねたところ、「必ず利用できる保育所等があってもなくても1歳になるまで取得したい」が 62.1%、「必ず利用できる保育所等があれば、1歳になるまで取得したい」が 30.3%となっている。

**問 22 で母親または父親が「2.取得した（取得中である）」に○をした方にお伺いします。該当しない方は、問 24 へお進みください。**

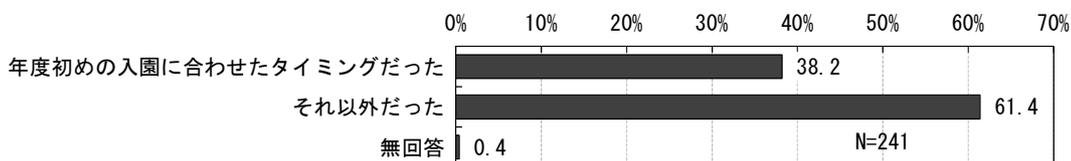
問 23 育児休業取得後、職場に復帰しましたか。（1つに○）



**問 23 で「1」に○をした方にお伺いします。**

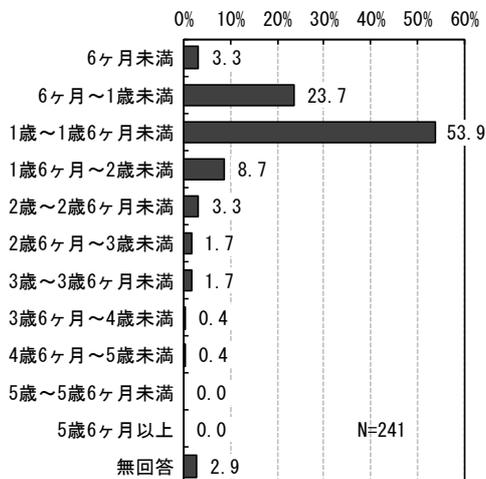
問 23-1 育児休業から職場に復帰したのは、年度初めの保育所入所に合わせたタイミングでしたか。あるいはそれ以外でしたか。（1つに○）

※年度初めでの入所を希望して復帰したが、実際には希望する保育所に入所できなかったという場合も「1」を選択してください。

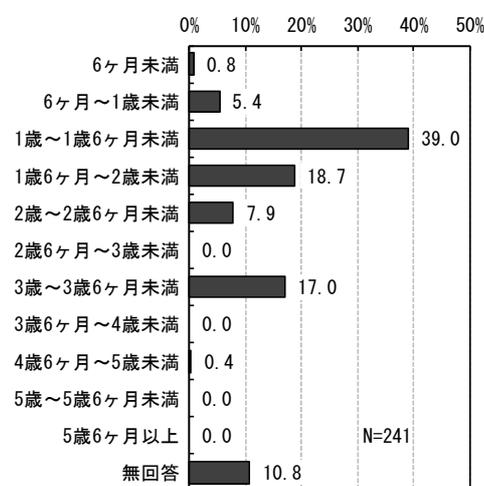


問 23-2 育児休業からは、「実際」にお子さんが何歳何か月のときに職場復帰しましたか。  
また、お勤め先の育児休業の制度の期間内で、何歳何か月のときまで取りたかったですか。

【実際】



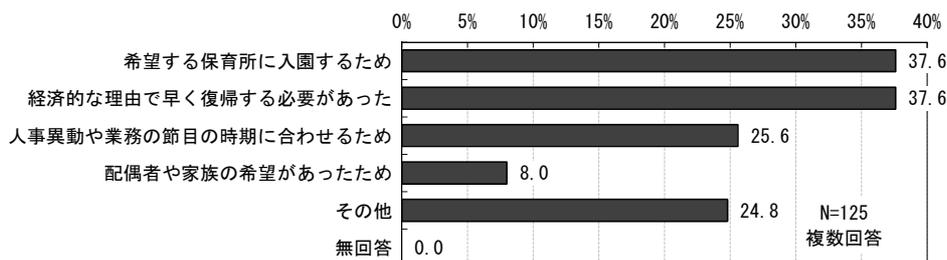
【希望】



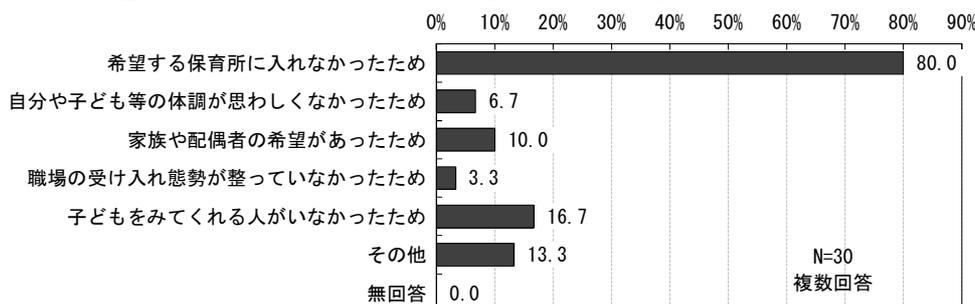
問 23-2で実際の復帰と希望が異なる方にお伺いします。

問 23-3 希望の時期に職場復帰しなかった理由は何ですか。

① 希望より早く復帰した人（あてはまるものすべてに○）

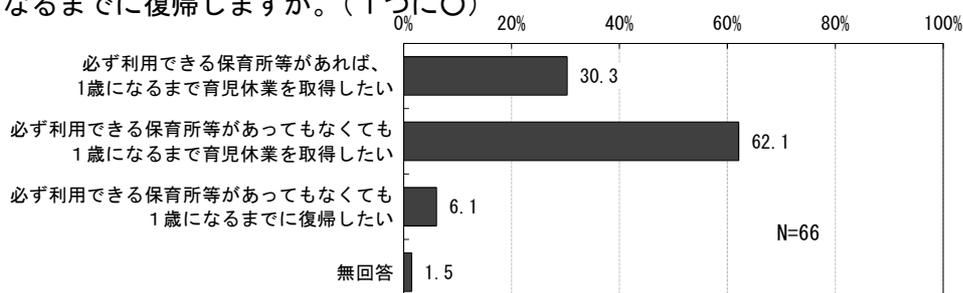


② 希望より遅く復帰した人（あてはまるものすべてに○）



問 23で「2」に○をした方にお伺いします。

問 23-4 お子さんが1歳になったときに必ず利用できる保育所等があれば、1歳になるまで育児休業を取得しますか。または、預けられる保育所等があってもなくても1歳になるまでに復帰しますか。（1つに○）



## 10 子育てサポート事業の利用状況

子育てサポート事業の利用経験についてみると、利用したことが「ある」は9.0%にとどまっている。その利用目的としては、「祖父母や近所の人・友人等に預かってもらえないときに利用している」が49.3%と半数近くを占めている。

月の利用頻度は「4回以下」、利用時間は「2～3時間未満」が最も多くなっている。利用回数や利用時間を増やせる場合の希望としては、利用回数は「4回以下」、利用時間は「3～4時間未満」が最も多くなっている。

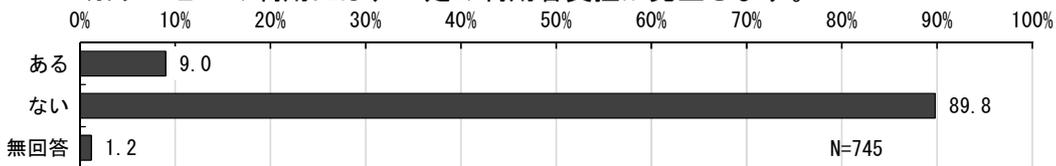
利用したことのない人の今後の利用希望については、「利用したい」が14.5%となっており、希望利用回数は「4回以下」が79.4%を占め、希望利用時間は「3～4時間未満」が16.5%で最も多く、次いで「2～3時間未満」が15.5%となっている。

### すべての方にお伺いします。

(1) 問 24 子育てサポート事業を利用したことがありますか。(1つに○)

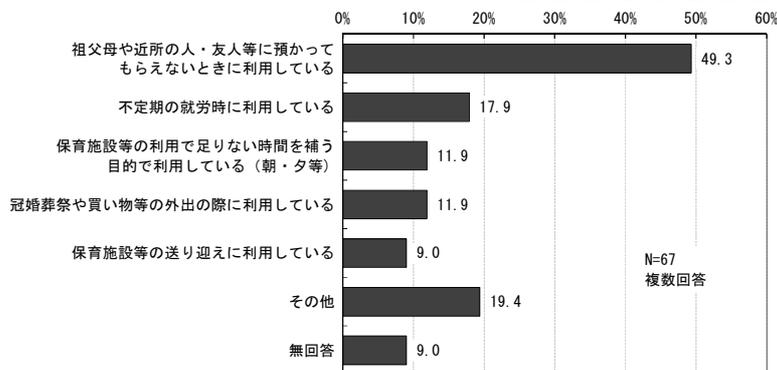
【子育てサポート事業とは】「おねがい会員」の子どもを「まかせて会員」が預かるサービスです。

※サービスの利用には、一定の利用者負担が発生します。



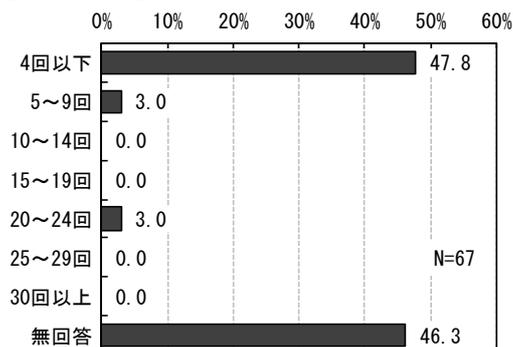
### 問 24 で「1」に○をした方にお伺いします。

(2) 問 24-1 どのような目的で利用していますか。(あてはまるものすべてに○)

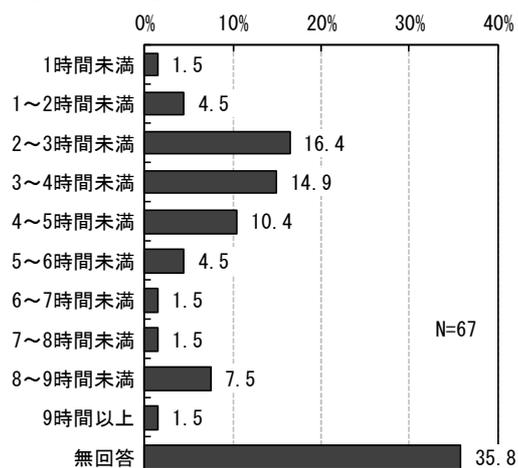


(3) 問 24-2 月に何回くらいの頻度で利用していますか。

#### 【利用回数】

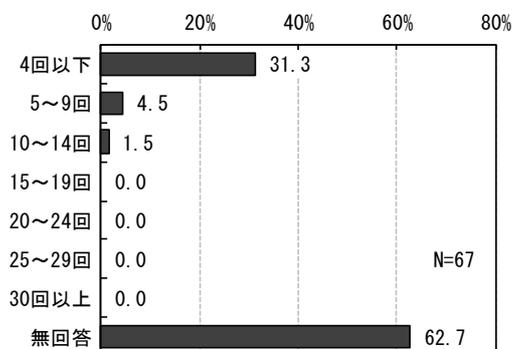


#### 【利用時間】

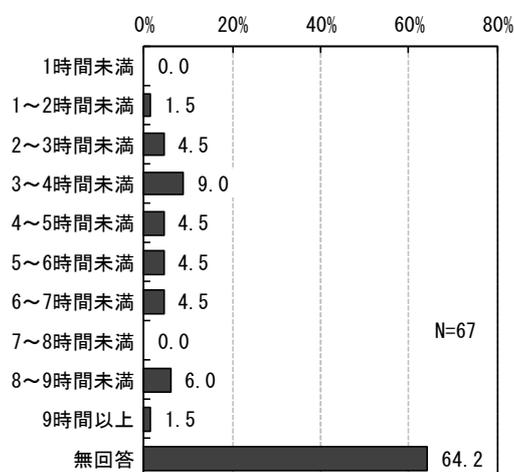


(4) 問 24-3 利用回数や利用時間を増やせるとしたら、どれくらい増やしたいと思いますか。

【利用回数】

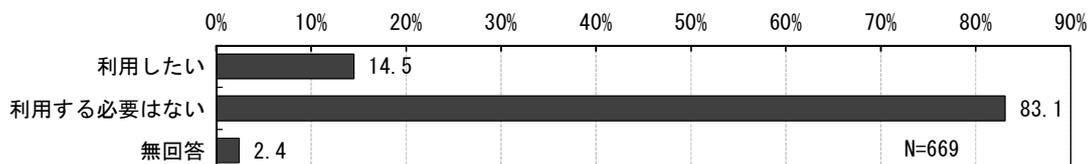


【利用時間】

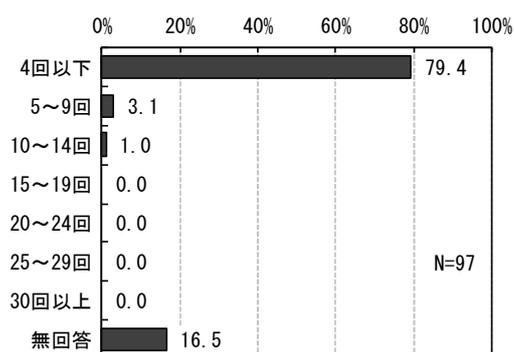


問 24 で「2」に○をした方にお伺いします。

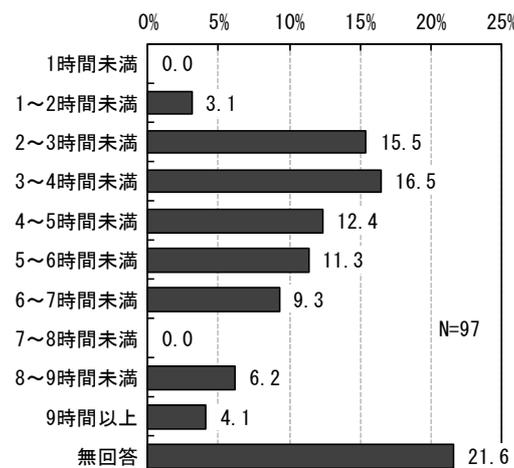
(5) 問 24-4 今後利用したいと思いますか。利用したい場合は、利用したい回数、時間をお答えください。



【利用回数】



【利用時間】



## 11 子育て支援施設の利用状況

### (1) 地域子育て支援センターの利用状況

「地域子育て支援センターを利用している」は 19.5%で、1 か月あたりの利用回数は「4回以下」が 79.4%となっている。

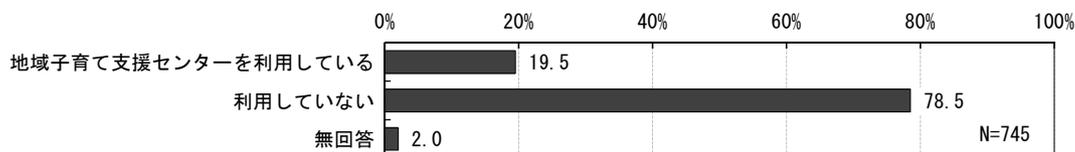
利用していない理由についてみると、「普段は幼稚園や保育所等に通わせているため必要ない」が 72.1%で圧倒的に多くなっている。

今後の利用希望についてみると、「利用していないが、今後利用したい」と「すでに利用しているが、今後利用日数を増やしたい」を合わせた割合は 23.3%となっている。

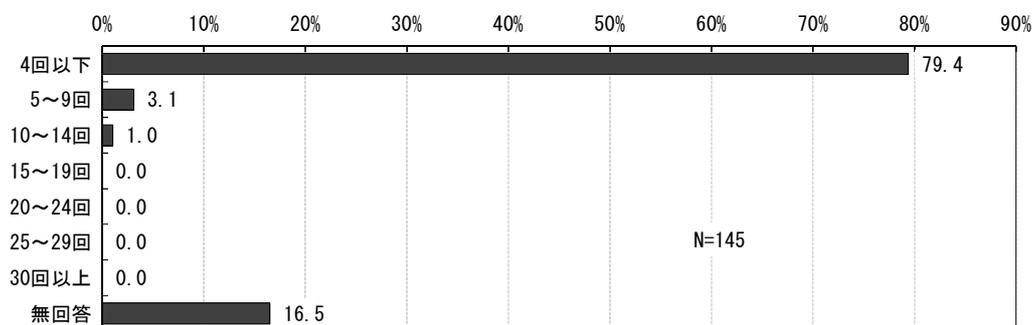
「今後利用したい」「今後利用日数を増やしたい」という人の利用希望回数は、いずれも「4回以下」が最も多くなっている。

### 問 25～問 27 はすべての方にお伺いします。

問 25 あて名のお子さんは現在、地域子育て支援センターを利用していますか。(1つに○)  
利用している場合は、おおよその利用回数(頻度)をお答えください。

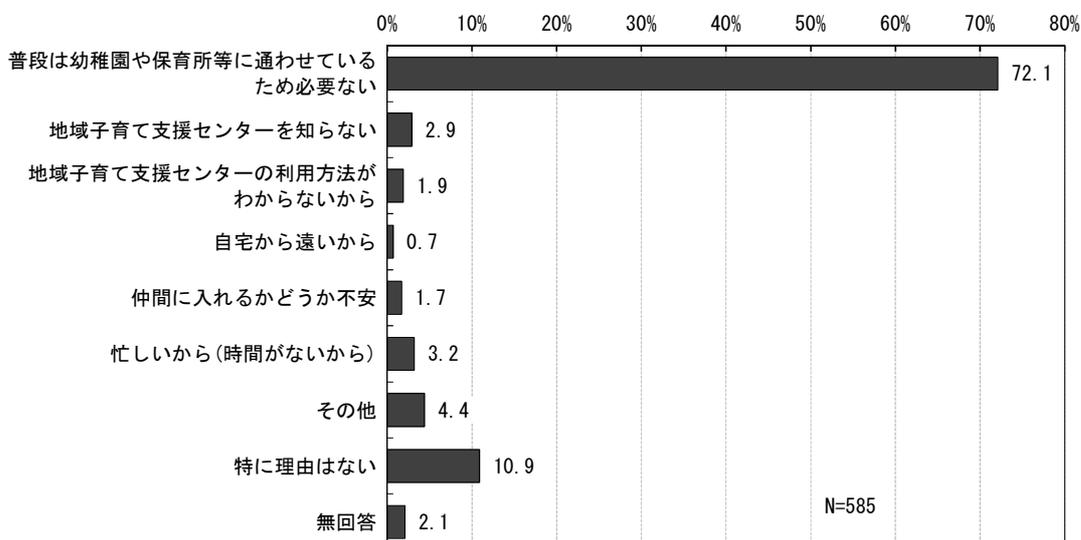


### 【利用回数】

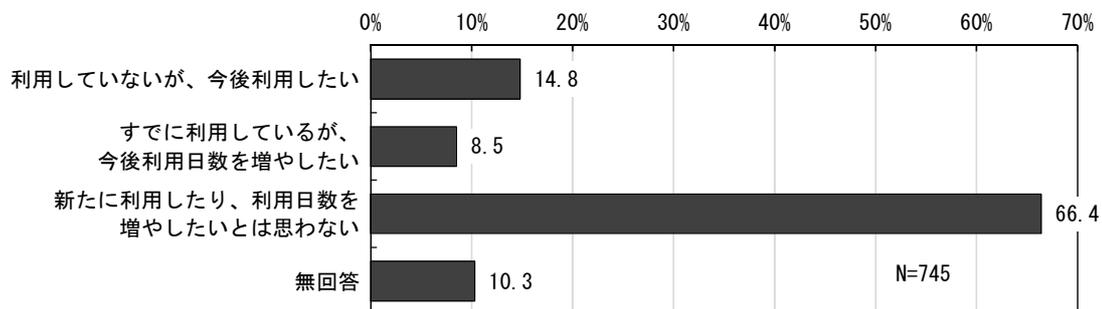


### 問 25 で「2」に○をした方にお伺いします。

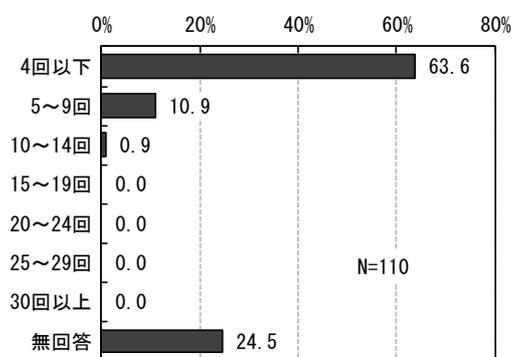
問 25-1 利用したことがない理由はどのようなことですか。(1つに○)



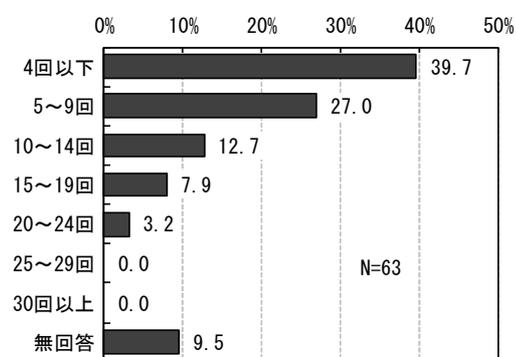
問 26 地域子育て支援センターについて、現在は利用していないができれば今後利用したい、あるいは利用頻度を増やしたいと思いますか。(1つに○) また、希望するおおよその利用回数(頻度)をお答えください



【今後利用したい回数】



【今後増やしたい回数】



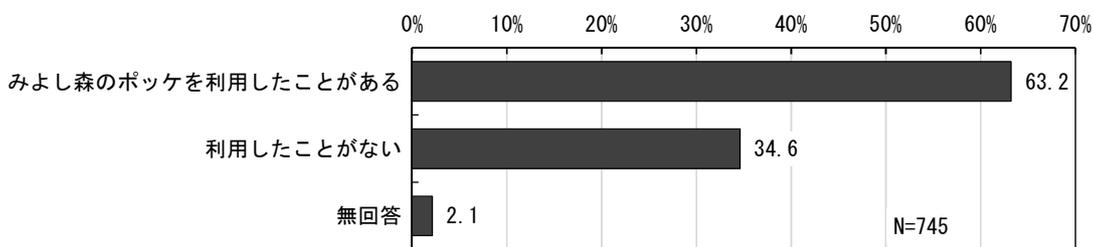
(2)「みよし 森のポケット」の利用状況

「みよし 森のポケットを利用したことがある」は63.2%で、これまでの利用回数は「4回以下」が54.6%と過半数を占め、次いで「5～9回」19.5%、「10～14回」10.6%となっている。

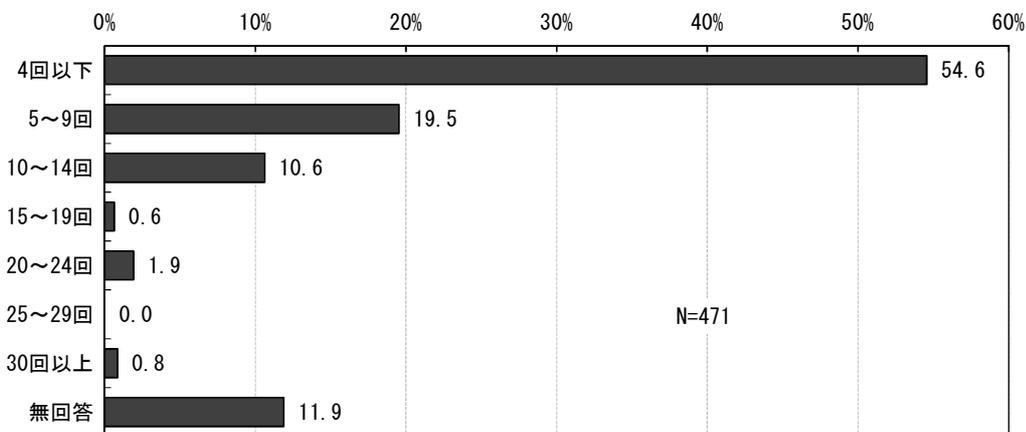
どのような利用方法や遊びがあればもっと利用したいと思うか尋ねたところ、「市民対象の利用料金の割引」が73.5%で最も多く、次いで「1クール時間の拡大」53.5%、「おもちゃの充実（ボードゲーム、知育玩具など）」45.4%となっている。

利用したことがない理由は、「有料施設だから」が28.3%、「利用時間が決まっているから」が24.8%となっている。

問 27 三次市こどもの室内あそび場「みよし 森のポケット」は遊びを通じた親子のふれあいをコンセプトにした施設です。この施設を利用したことがありますか。(1つに○) また、利用したことがあれば、おおよその利用回数をお答えください。

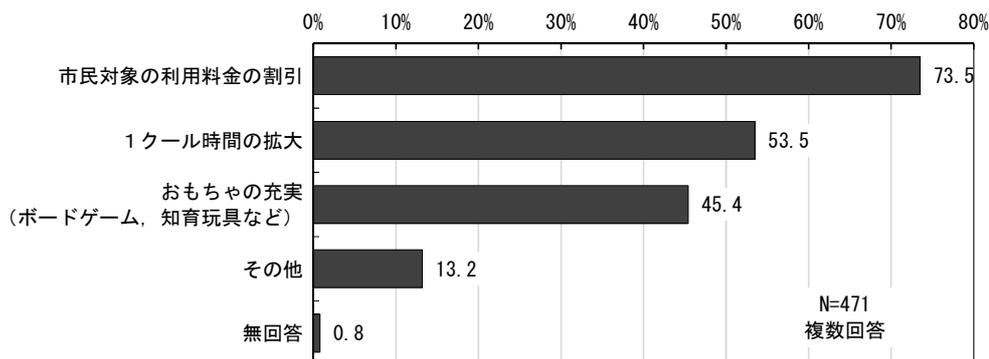


【利用回数】



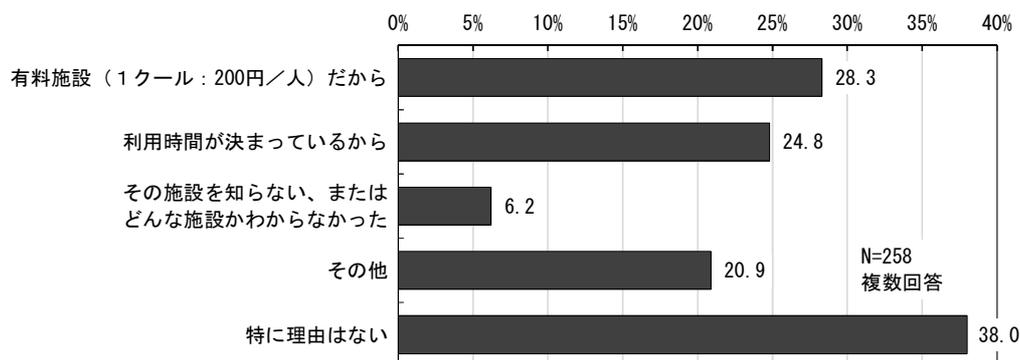
問 27 で「1」に○をした方にお伺いします。

問 27-1 どのような利用方法や遊びがあればもっと利用したいと思いますか。(あてはまるものすべてに○)



**問 27 で「2」に○をした方にお伺いします。**

問 27-2 利用したことがない理由はどのようなことですか。(あてはまるものすべてに○)

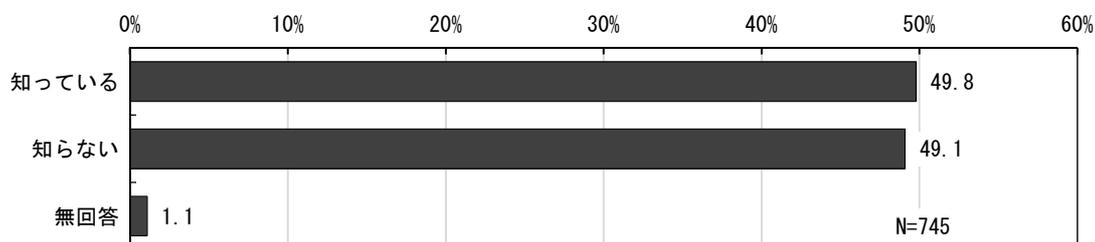
**(3) 「三次市こども発達支援センター」について**

「三次市こども発達支援センター」のことを「知っている」は 49.8%と約半数となっている。

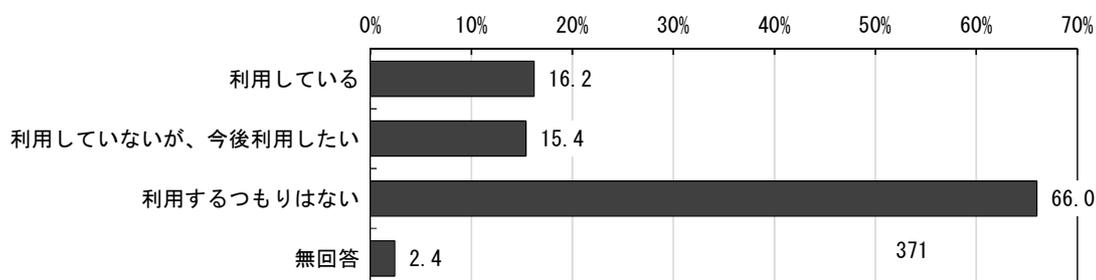
「利用したことがある」が 16.2%、「利用していないが、今後利用したい」が 15.4%、「利用するつもりはない」が 66.0%となっている。

**すべての方にお伺いします。**

問 28 子どもの心身の発達に関する相談や支援等を行う場として「三次市こども発達支援センター」を設置しています。あなたはそのことをご存じですか。(1つに○)

**問 28 で「1」に○をした方にお伺いします。**

問 28-1 「三次市こども発達支援センター」を利用したことがありますか。(1つに○)

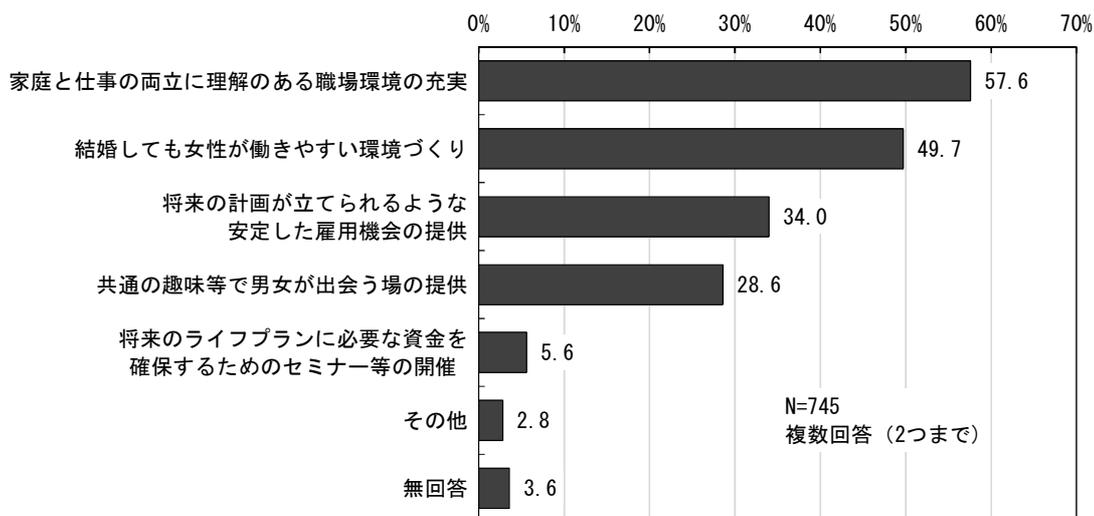


## 12 結婚・出産・子育てについて

### 問 29～問 31 はすべての方にお伺いします。

(1) 問 29 結婚しやすい環境づくりについて、どのような支援があればいいと思いますか。または、思いましたか。(2つまで○)

結婚しやすい環境づくりに関して望む支援としては、「家庭と仕事の両立に理解のある職場環境の充実」が 57.6%で最も多く、次いで「結婚しても女性が働きやすい環境づくり」49.7%、「将来の計画が立てられるような安定した雇用機会の提供」34.0%となっている。



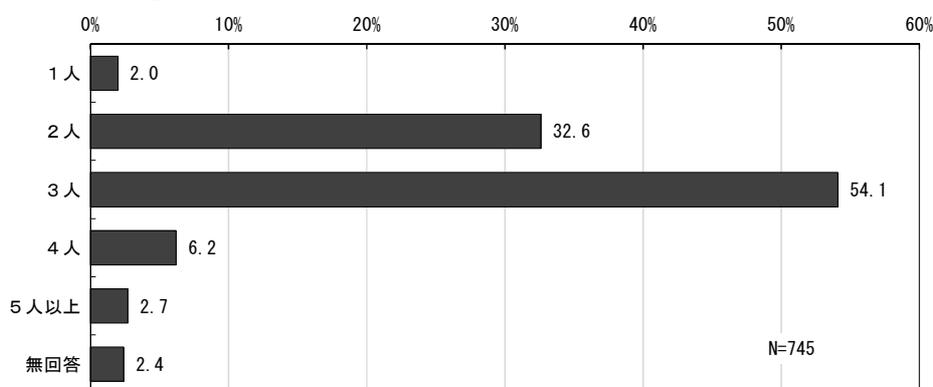
(2) 子どもの数

理想の子ども数は、「3人」が54.1%で最も多く、実際の子ども数は、「2人」が47.8%で最も多くなっている。

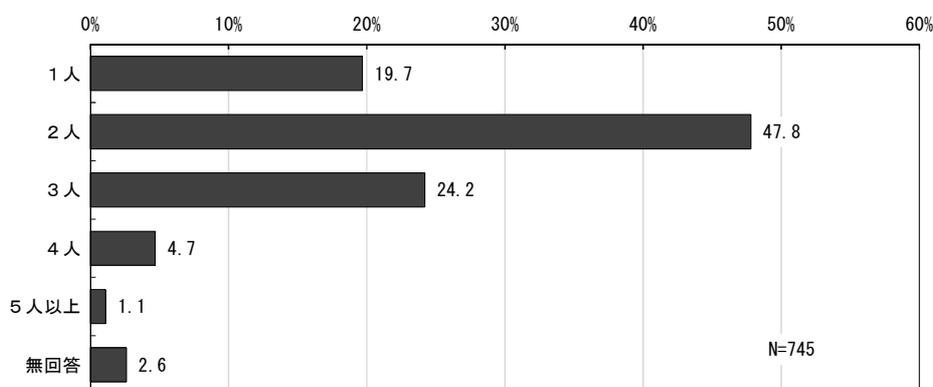
実際（予定）子ども数が理想の子ども数より少ない理由としては、「子育てや教育にかかる経済的負担が大きい」が29.8%で最も多く、次いで「第1子を産む年齢が理想の年齢より遅くなった」21.2%、「仕事と子育ての両立が難しい」20.7%となっている。

問30 あなたが理想とする子どもは何人（理想の子ども数）ですか。また、現在のお子さんを含め、実際（予定を含む）の子ども的人数は何人（実際（予定）子ども数）ですか。（○印1つずつ）

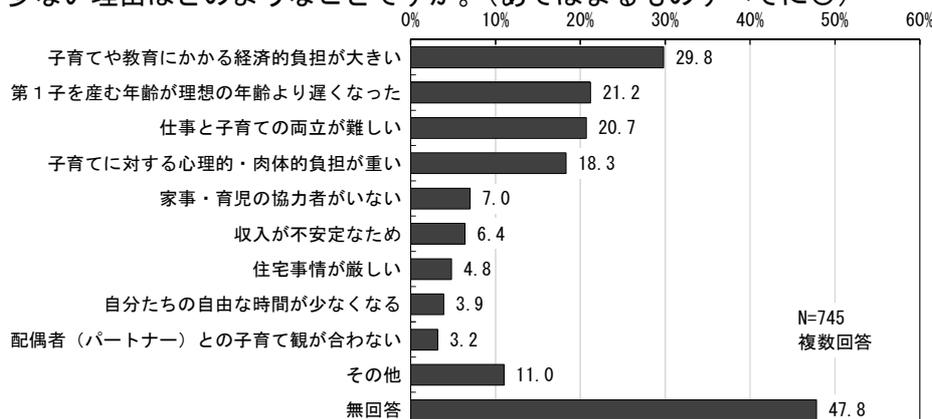
【理想の子ども数】



【実際（予定）子ども数】



問31 理想の子ども数より実際（予定）子ども数が少ない方にお伺いします。理想の子ども数より少ない理由はどのようなことですか。（あてはまるものすべてに○）



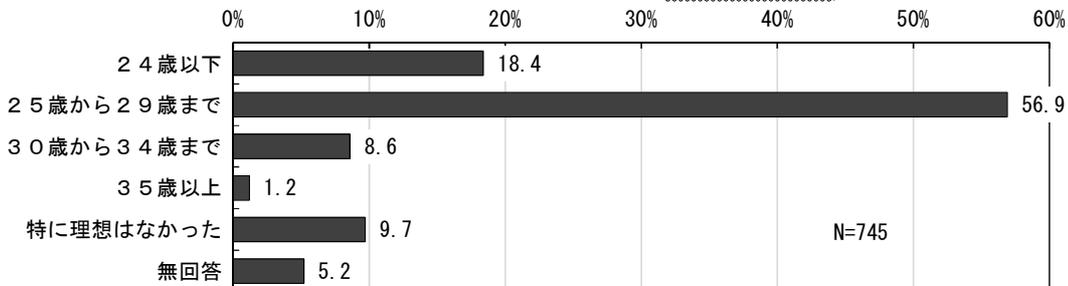
【就学前児童】

(3) 初産年齢

理想の初産年齢は、「25歳から29歳まで」が56.9%で最も多く、次いで「24歳以下」18.4%となっており、実際の初産年齢の平均は28.9歳となっている、

出産された方にお伺いします。

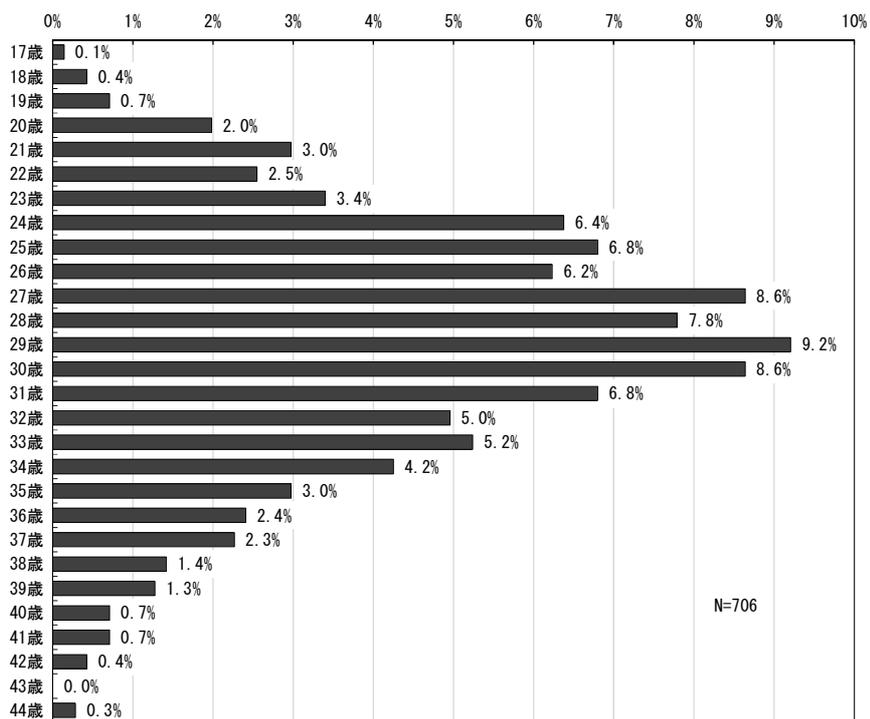
問 32 理想としていた初産年齢があれば教えてください。(1つに○)



出産された方にお伺いします。

問 33 実際の初産年齢を教えてください。

平均 28.9歳 (サンプル数=703)



## 問 34～問 42 はすべての方にお伺いします。

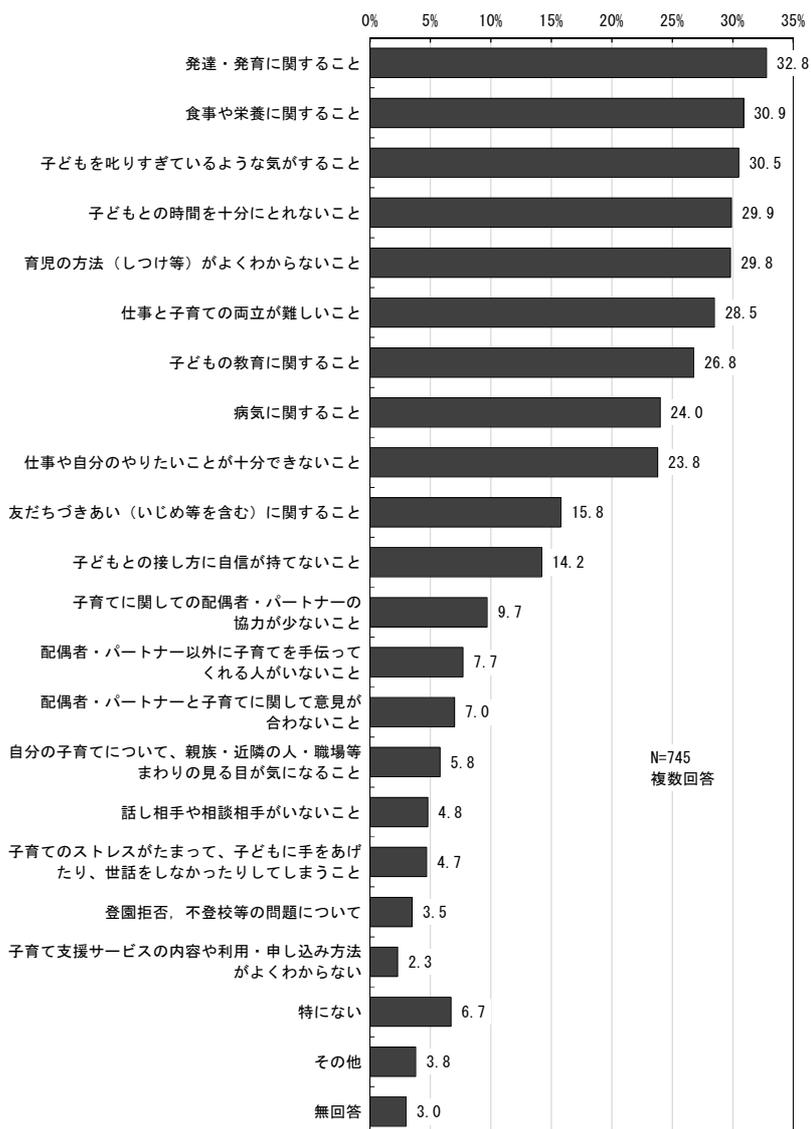
## (4) 問 34 子育てに関して不安や負担をお感じですか。(1つに○)

子育てに関する不安や負担については、「非常に」「どちらかといえば」を合すると「不安や負担を感じる」が 55.5%と半数を超えている。前回は合わせて 31.7%であったのと比べ大きく増えており、近くに子育てを支援してくれる人や相談先もなく孤立した中で悩みを抱える保護者が多くなっていることが背景にあることも考えられる。



## (5) 問 35 子育てに関して、日常悩んでいること、または気になることはどのようなことですか。(あてはまるものすべてに○)

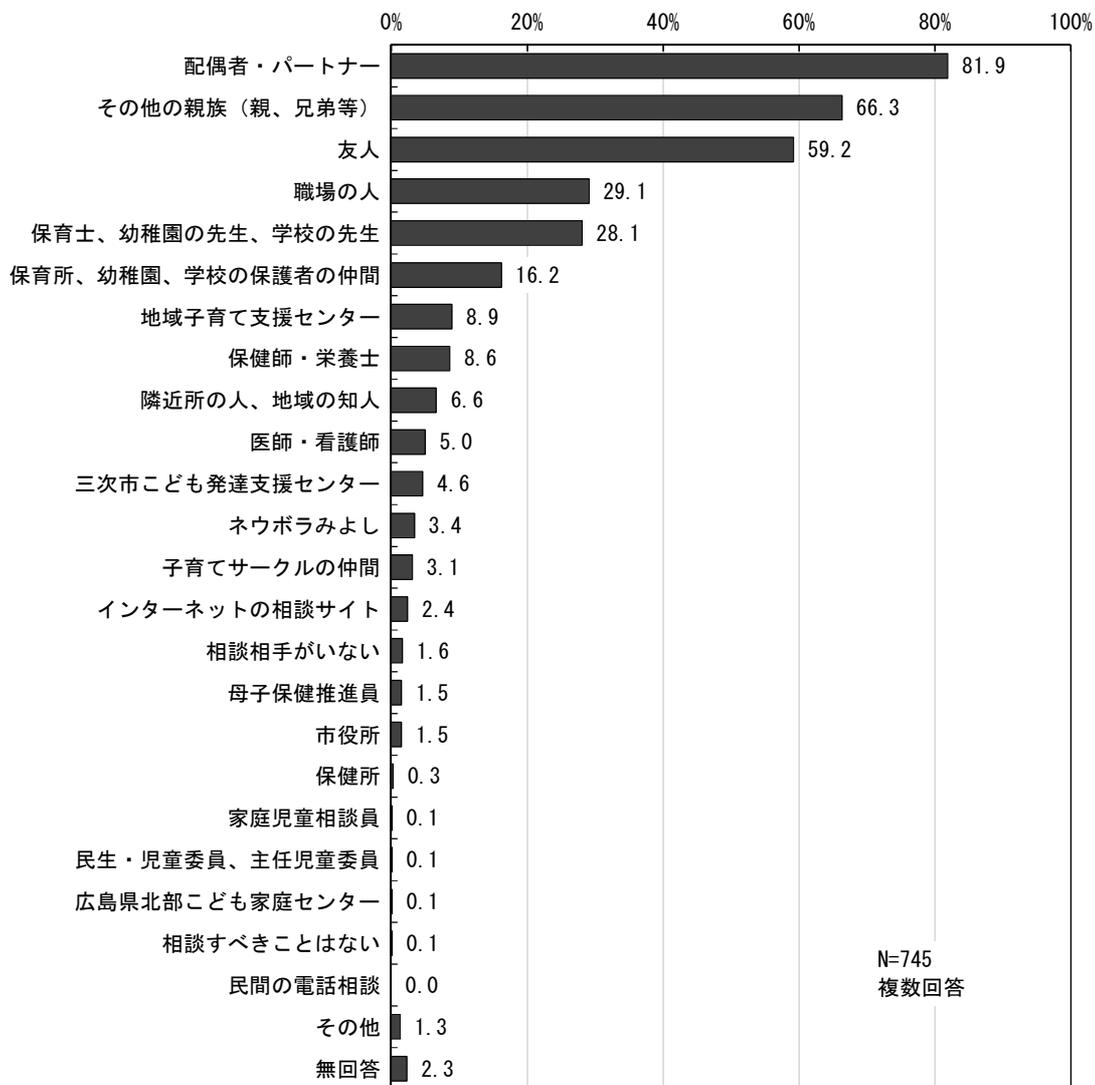
子育てに関して悩んでいること、気になることについては、「発達・発育に関すること」が 32.8%で最も多く、次いで「食事や栄養に関すること」30.9%、「子どもを叱りすぎているような気がする」30.5%、「子どもとの時間を十分にとれないこと」29.9%、「育児の方法（しつけ等）がよくわからないこと」29.8%と続いている。



【就学前児童】

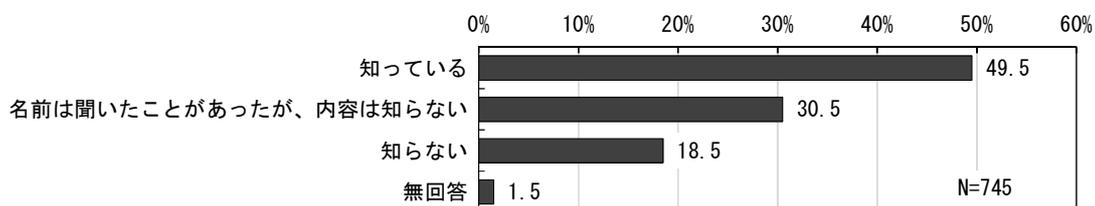
(6) 問 36 身近で、子育てに関する悩みや不安をどなた(どこ)に相談していますか。  
(あてはまるものすべてに○)

子育てに関する悩みや不安の相談相手としては、「配偶者・パートナー」が81.9%で最も多く、次いで「その他の親族(親、兄弟等)」66.3%、「友人」59.2%の順となっており、これら3項目が目立って多くなっている。



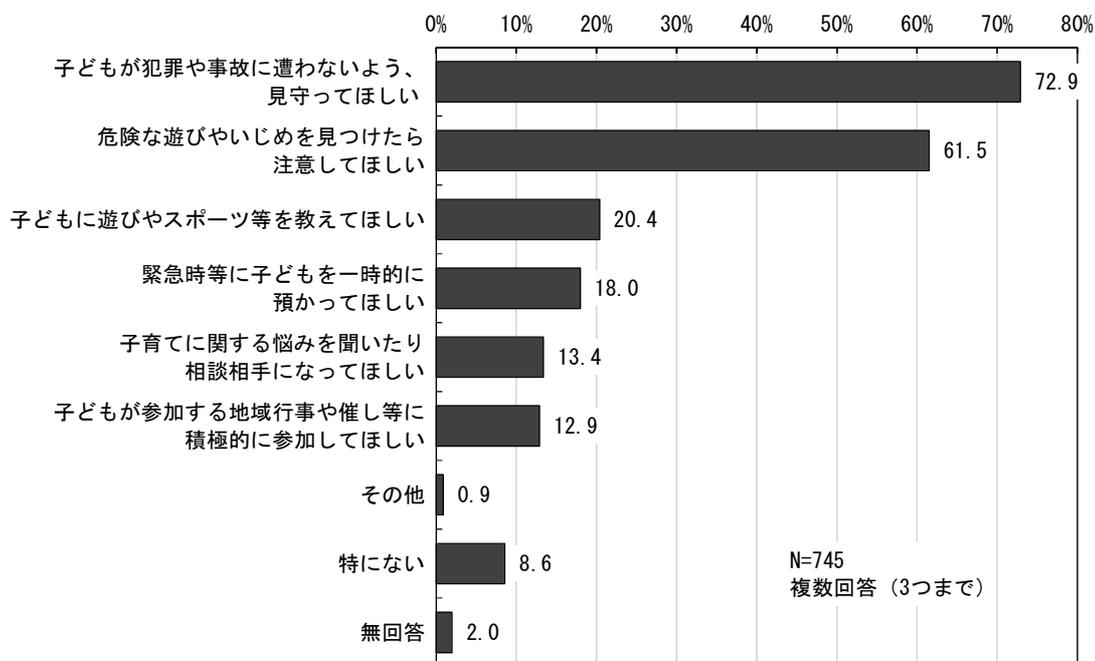
(7) 問 37 三次市では、妊娠期から子育て期のご家族が、安心して出産、子育てができるよう、身近な場所でアドバイスが受けられる「ネウボラみよし」を開設しています。この相談窓口についてご存じですか。(1つに○)

「ネウボラみよし」を「知っている」は49.5%と約半数で、「名前は聞いたことがあったが、内容は知らない」が30.5%となっている。



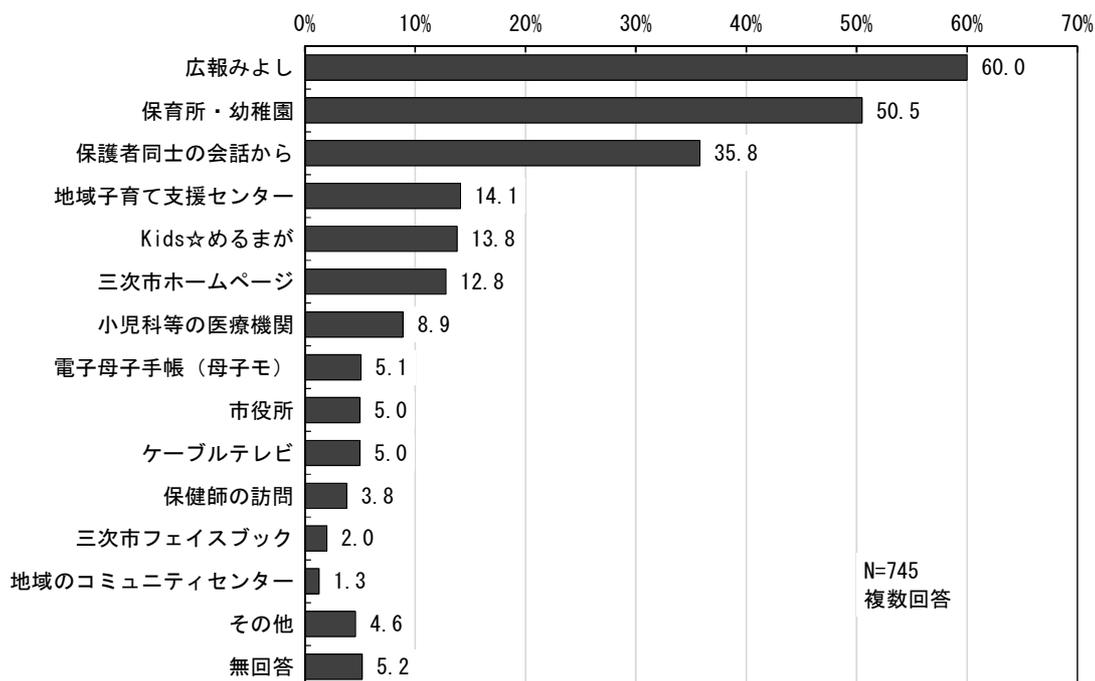
(8) 問 38 子育て支援として、身近な地域の人に望むことがありますか。(3つまで○)

子育て支援として、身近な地域の人に望むこととしては、「子どもが犯罪や事故に遭わないよう、見守ってほしい」が 72.9%で最も多く、次いで「危険な遊びやいじめを見つけたら注意してほしい」が 61.5%となっており、これら2項目が目立って多くなっている。



(9) 問 39 子育て情報は何から得ていますか。(あてはまるものすべてに○)

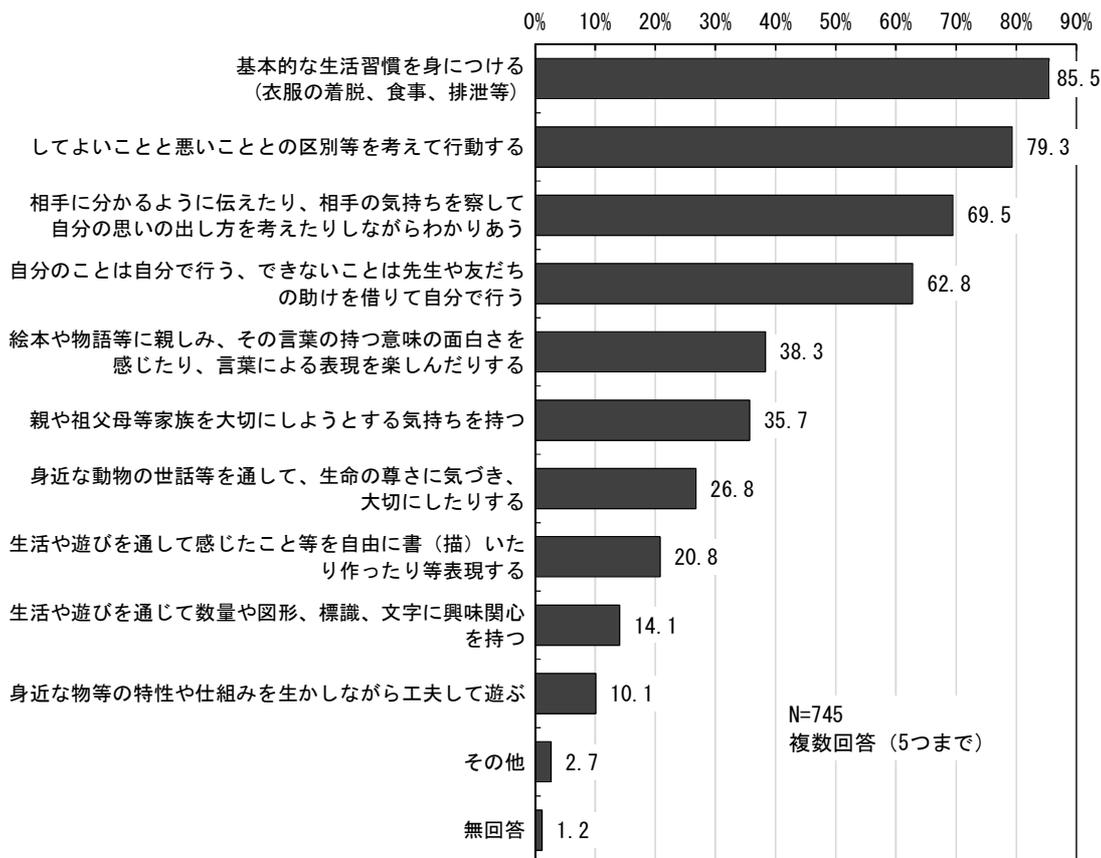
子育て情報の入手先については、「広報みよし」が 60.0%で最も多く、次いで「保育所・幼稚園」50.5%、「保護者同士の会話から」35.8%となっている。



【就学前児童】

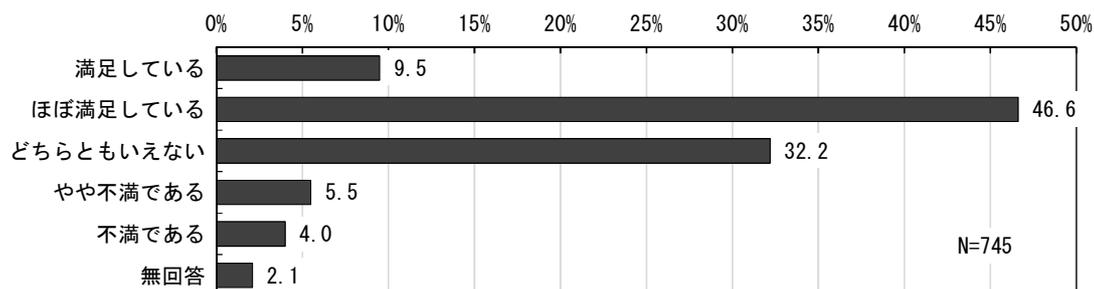
(10) 問 40 小学校就学までに子どもに身につけさせたい力について大切だと思うものを、次の項目から選んでください（5つまで○）

小学校就学までに子どもに身につけさせたい力について大切だと思うものとしては、「基本的な生活習慣を身につける（衣服の着脱、食事、排泄等）」が85.5%で最も多く、次いで「してよいことと悪いこととの区別等を考えて行動する」79.3%、「相手に分かるように伝えたり、相手の気持ちを察して自分の思いの出し方を考えたりしながらわかりあう」69.5%となっている。



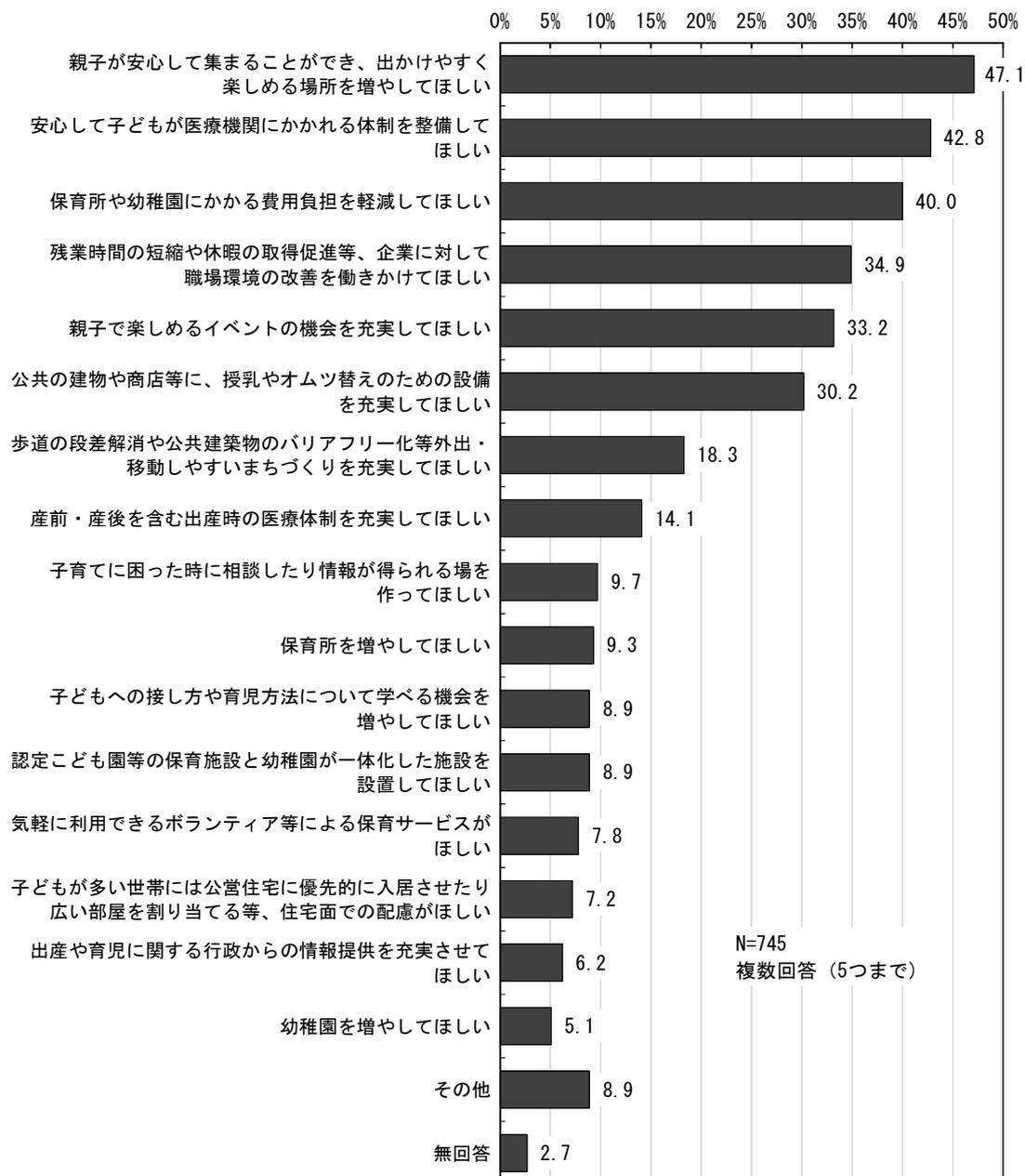
(11) 問 41 あなたは、三次市の子育て環境や支援に満足していますか。(1つに○)

三次市の子育て環境や支援に「満足している」は9.5%、「ほぼ満足している」は46.6%で、これらを合わせると56.1%となっている。



(12) 問 42 三次市のこれからの子育て支援サービス等について、特に充実させてほしいと思うことは何ですか。(5つまで○)

子育て支援サービス等について特に充実させてほしいこととしては、「親子が安心して集まることができ、出かけやすく楽しめる場所を増やしてほしい」が 47.1%で最も多く、次いで「安心して子どもが医療機関にかかる体制を整備してほしい」42.8%、「保育所や幼稚園にかかる費用負担を軽減してほしい」40.0%となっている。



### 13 子育て中の起業支援・就労応援事業について

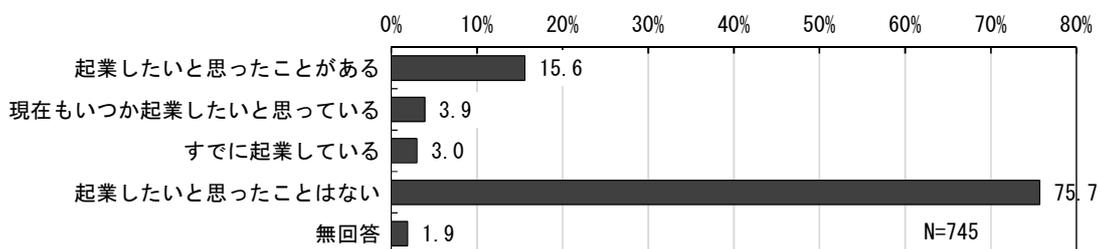
#### (1) 起業について

「起業したいと思ったことがある」は15.6%で、起業する場合の規模については、「趣味等を生かした起業」が71.0%と7割以上を占め、「店舗を構える等本格的な起業」は27.6%となっている。

起業する場合の業種としては、「雑貨販売」が26.2%で最も多く、次いで「カフェ」21.4%、「リラクゼーション」14.5%と続いている。

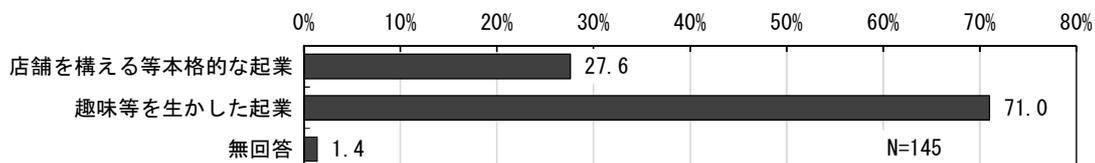
#### すべての方にお伺いします

問 43 起業（※自分で事業を行うこと）したいと思ったことがありますか。（1つに○）

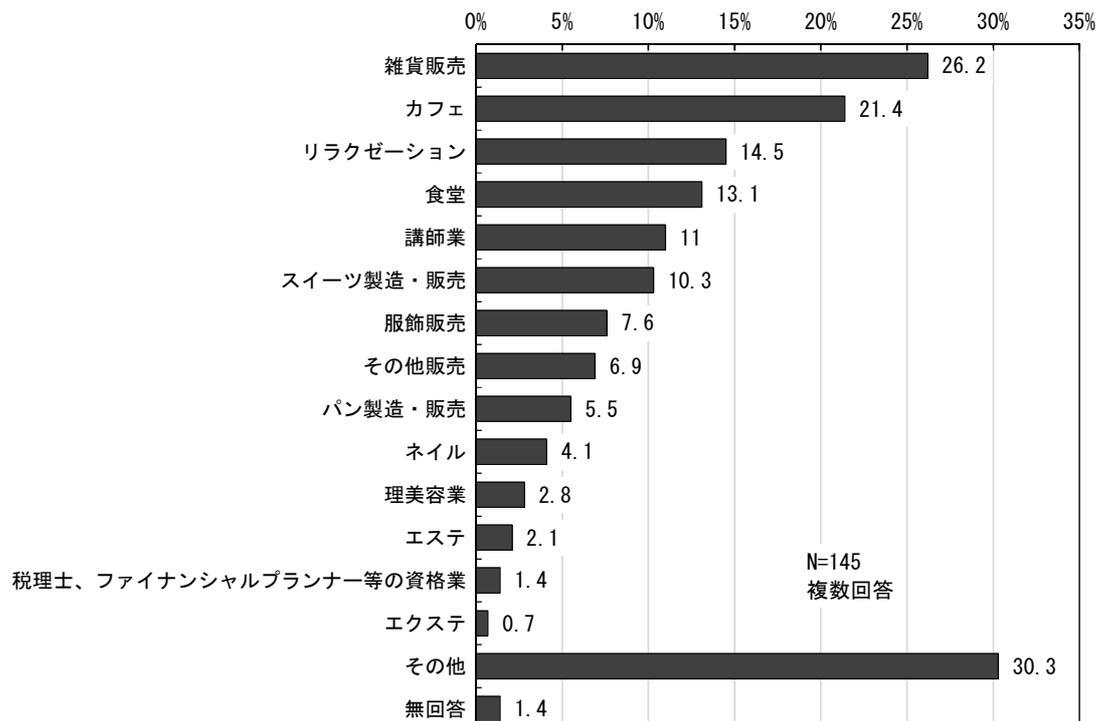


#### 問 43 で「1」または「2」に○をした方にお伺いします。

問 43-1 起業する場合の規模を教えてください。（1つに○）



問 43-2 起業する場合の業種を教えてください。（あてはまるものすべてに○）



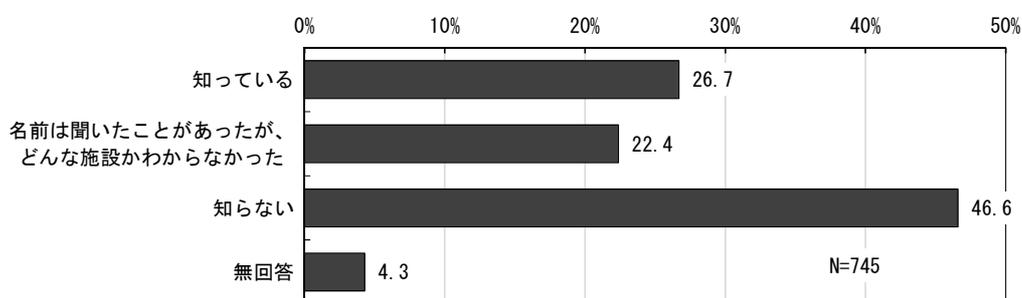
## (2) 「アシスタ lab.」について

「アシスタ lab.」を「知っている」は 26.7%で、「名前は聞いたことがあったが、どんな施設かわからなかった」が 22.4%となっている。

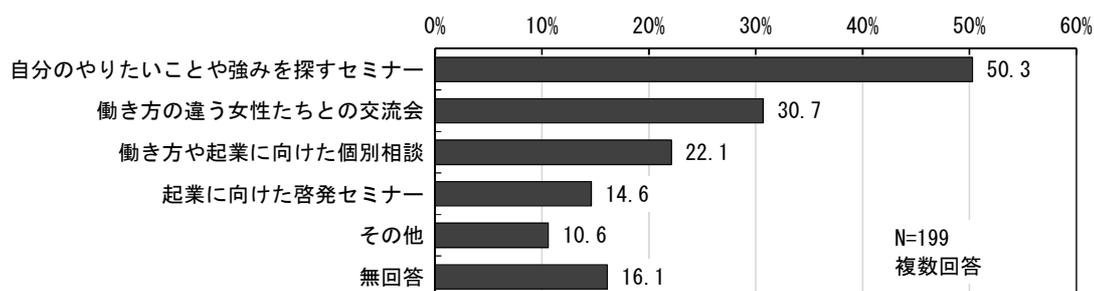
「アシスタ lab.」の機能のうち、特に興味がある、または希望するものとしては、「自分のやりたいことや強みを探すセミナー」が 50.3%で最も多く、次いで「働き方の違う女性たちとの交流会」30.7%、「働き方や起業に向けた個別相談」22.1%となっている。

**母親の方にお伺いします。**

問 44 三次市では、子育て中の女性の起業や就業を支援するための拠点として、みよしまちづくりセンター内に「アシスタ lab.」を設置しています。この施設についてご存じですか。(1つに○)

**問 44 で「1」に○をした方にお伺いします。**

問 44-1 次の「アシスタ lab.」の機能のうち、特に興味がある、または希望するものは何ですか。(あてはまるものすべてに○)



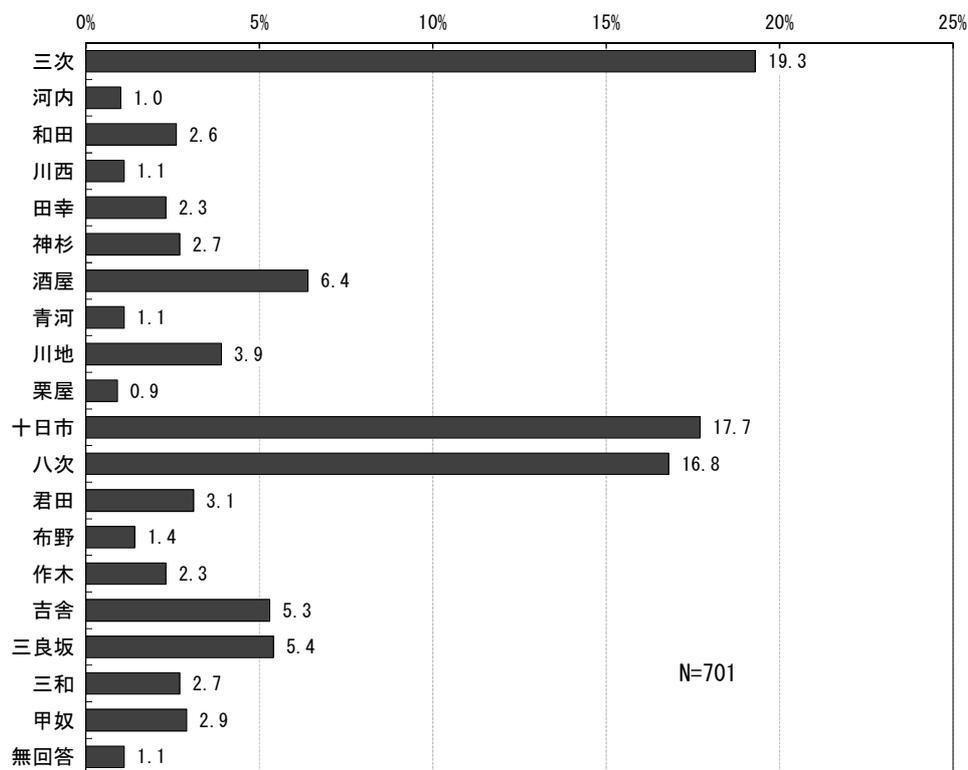


〔小学生〕

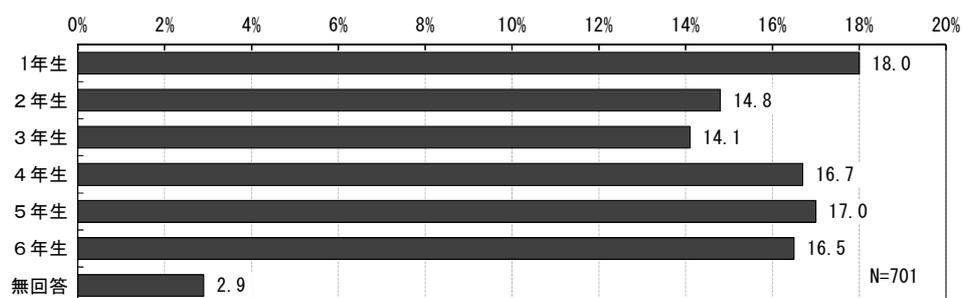


## 1 子どもと家族の状況等

(1) 問1 お住まいの地区を教えてください。(1つに○)



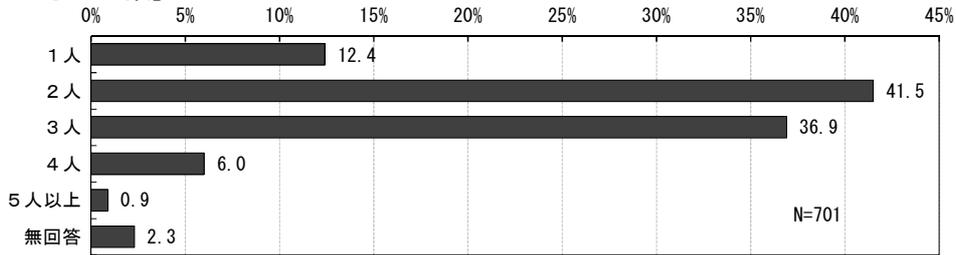
(2) 問2 あて名のお子さんの生年月をお聞きします。



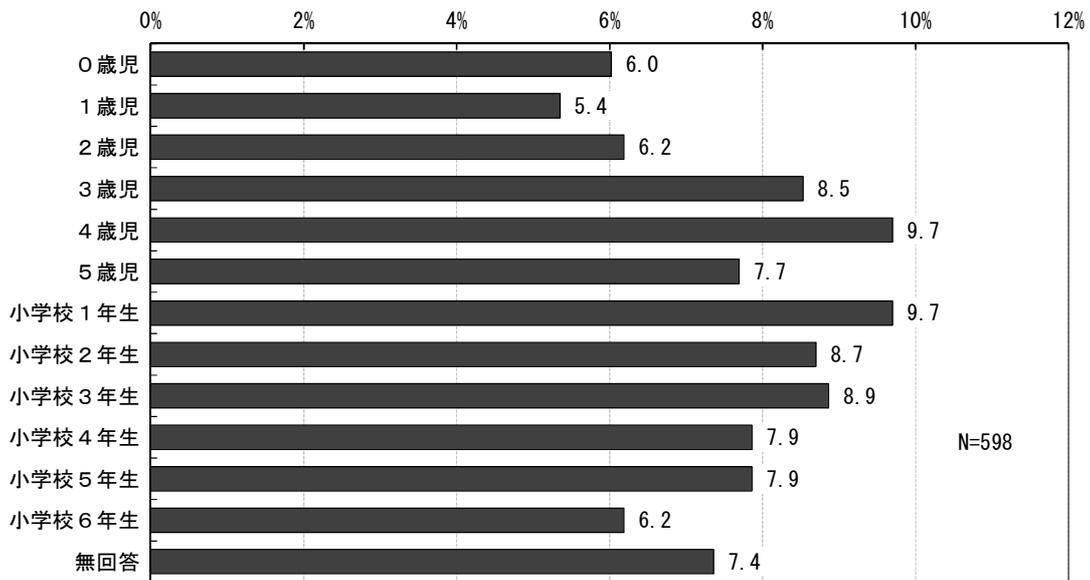
【小学生】

(3) 問3 あて名のお子さんに兄弟姉妹は何人おられますか。あて名のお子さんを含めた人数をお答えください。また、2人以上おられる場合、末子の生年月をお答えください

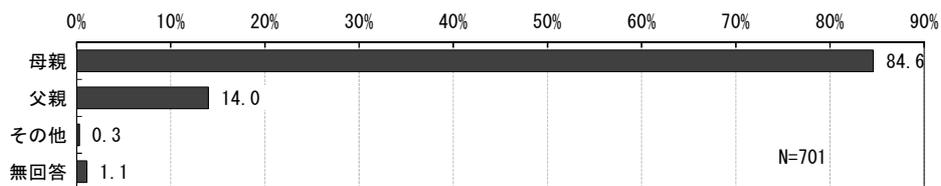
[子どもの人数]



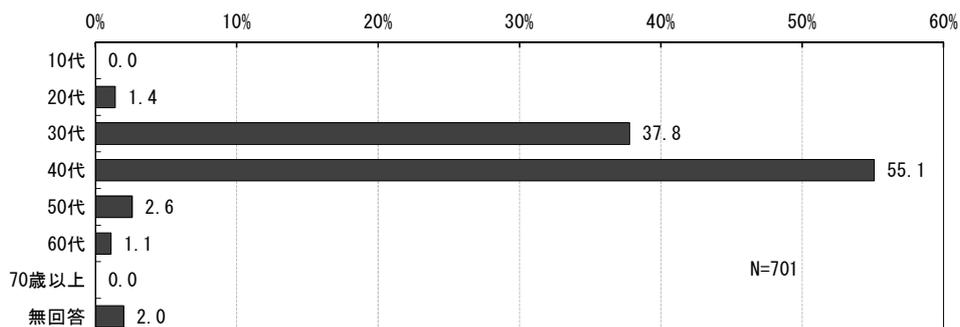
[末子の年齢]



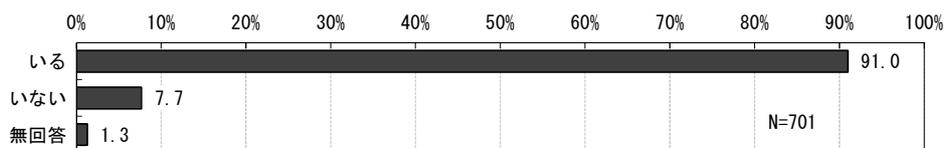
(4) 問4 あなたは、あて名のお子さんからみて、続柄は何ですか。(1つに○)



(5) 問5 あなたの年齢を教えてください。(1つに○)

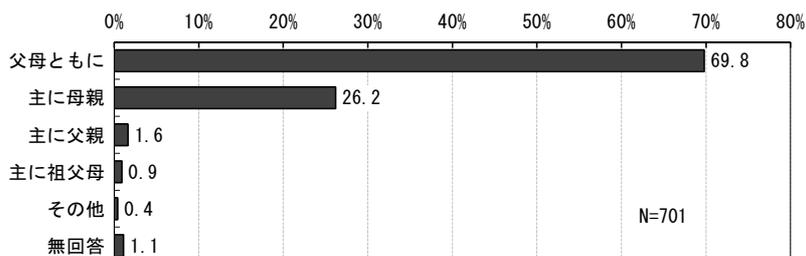


(6) 問6 あなたに配偶者はおられますか。(1つに○)



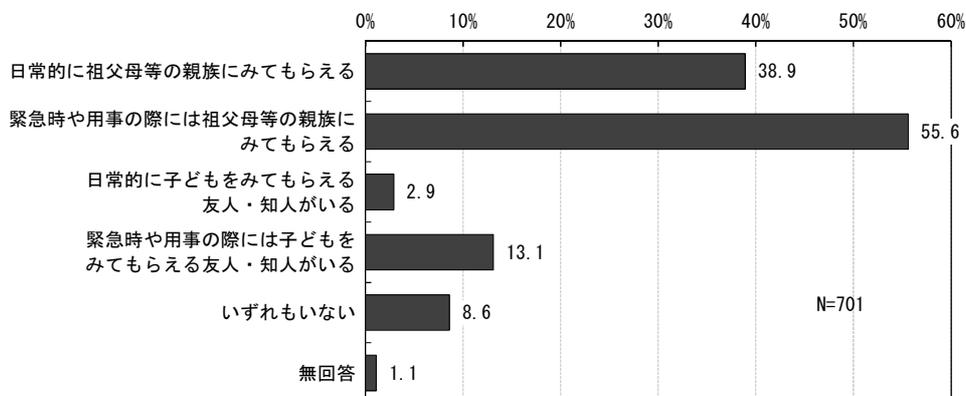
(7) 問7 あて名のお子さんの子育て(教育を含む)を主にしている方はどなたですか。

(1つに○) ※続柄はあて名のお子さんからみた関係でお答えください。



(8) 問8 あて名のお子さんを見てもらえる人はいますか。(あてはまるものすべてに○)

お子さんを見てもらえる人の有無についてみると、「緊急時や用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる」が55.6%で最も多い。一方「いずれもない」が8.6%であり、このような家庭は緊急時の対応が困難となっている。



## 2 保護者の就労状況

### すべての方にお伺いします。

(1) 問9 現在の就労状況（自営業、家族従事者を含む）についてお答えください。

(①母親、②父親それぞれあてはまる欄に○、選択肢によっては日数や時間等も回答)

※母親、父親両方とも、問9の枝問までお答えください。

※ひとり親家庭の場合は①または②のあてはまる方のみお答えください。

※あて名のお子さんが祖父母等に養育されている場合は、記入は不要です。

※フルタイムとは、常勤・非常勤に関わらず週5日程度かつ1日8時間程度の就労のことです。

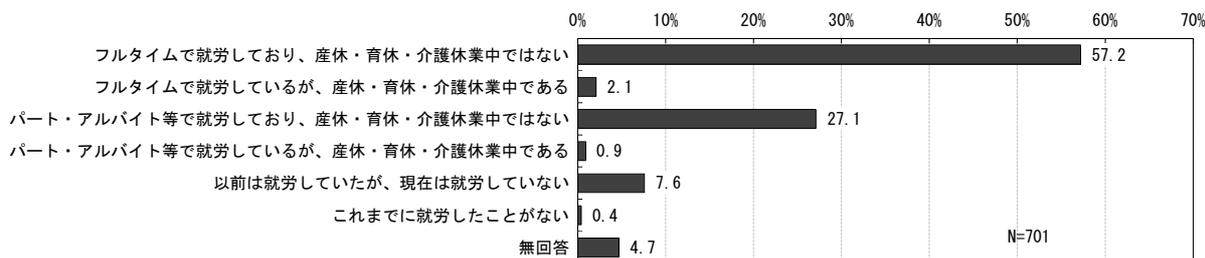
※パート・アルバイト等とは、フルタイム以外の就労のことです。

※時刻については、30分未満は切り捨て、30分以上は切り上げてお答えください。

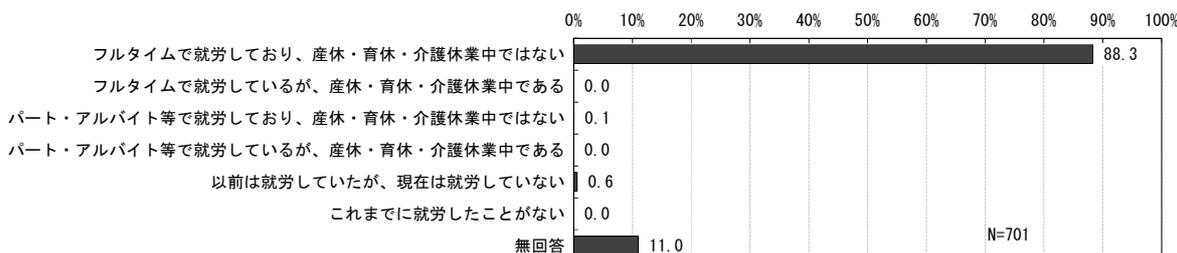
母親の就労状況は、「フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」が57.2%で最も多く、次いで「パート・アルバイト等で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」27.1%、「以前は就労していたが、現在は就労していない」7.6%となっている。

母親の1週当たりの就労日数は、フルタイム、パート・アルバイト勤務ともに「5日」が最も多くなっている。1日当たり就労時間をみると、フルタイムの母親は「8～9時間未満」が52.6%で最も多く、半数を超えている。フルタイムの場合、前は7～8時間未満がもっとも多い時間帯であったが、多様な働き方の影響からか1時間ほど平均就労時間は長くなっている。パート・アルバイトの母親は「5～6時間未満」(23.7%)、「6～7時間未満」(25.8%)と続いている。母親の出勤時間をみると、フルタイム、パート・アルバイト勤務ともに「8時台」が最も多くなっている。帰宅時間についてみると、フルタイムの母親は「18時台」が48.1%で最も多くなっているのに対し、パート・アルバイト勤務の母親は「17時台」が23.7%で最も多く、フルタイム勤務の母親と比べると時間帯が分散している。

### 【母親】

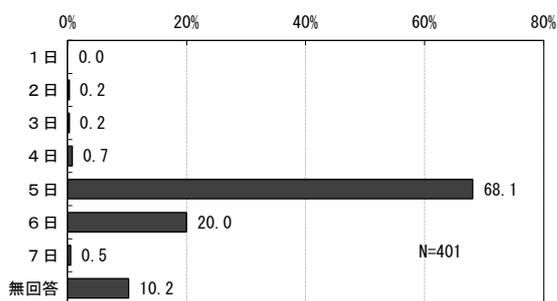


### 【父親】

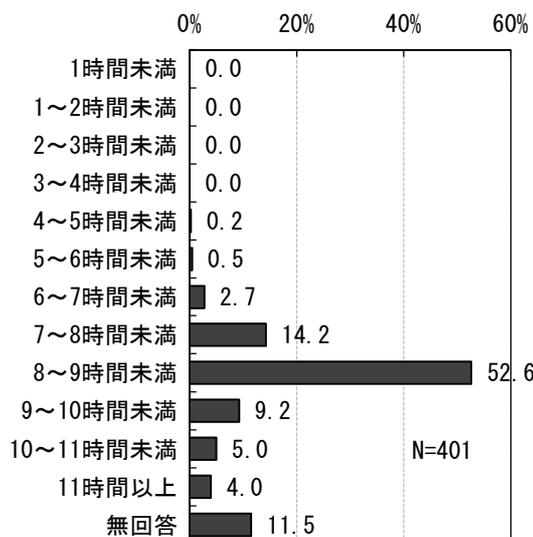


【母親・フルタイム就業中】

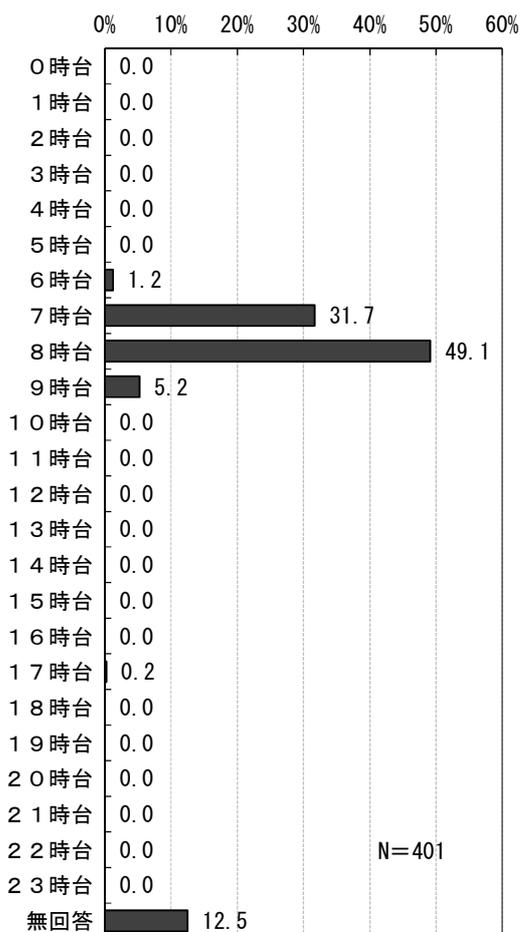
【1週あたり就労日数】



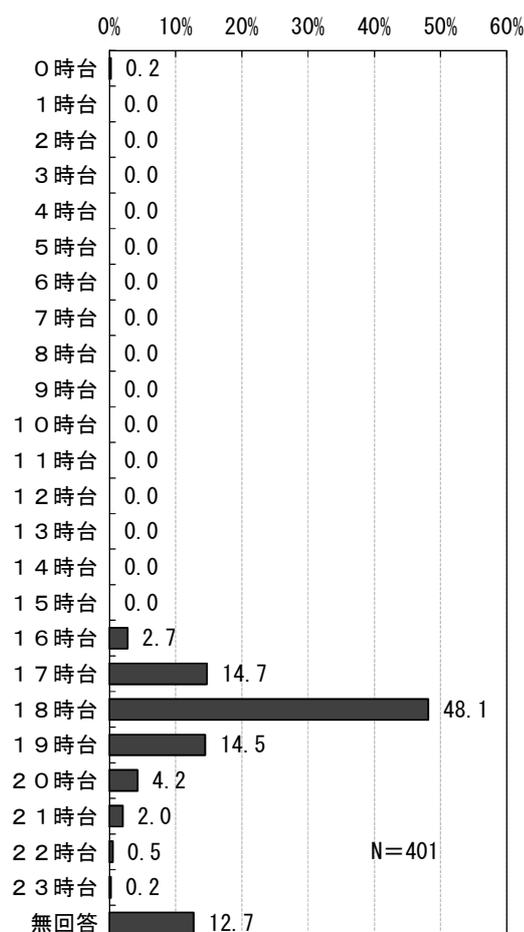
【1日あたり就労時間】



【出勤時間】



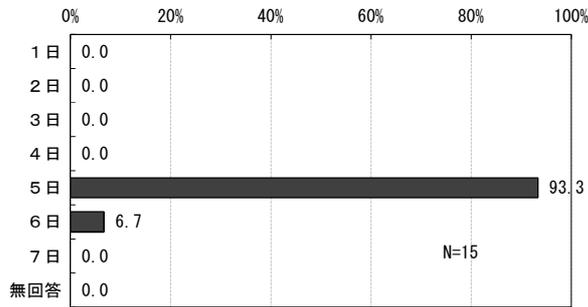
【帰宅時間】



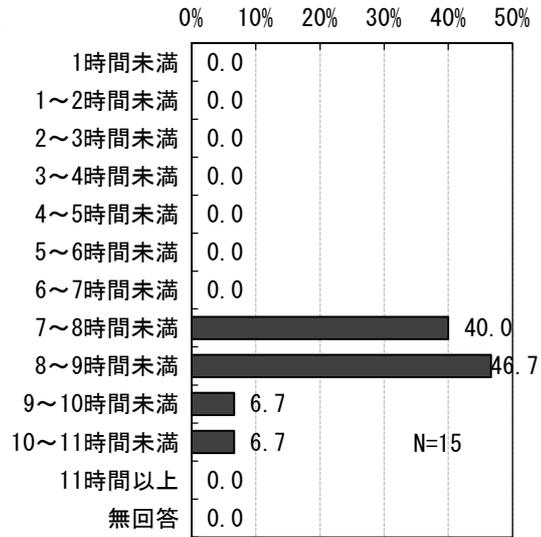
【小学生】

【母親・フルタイム休業中】

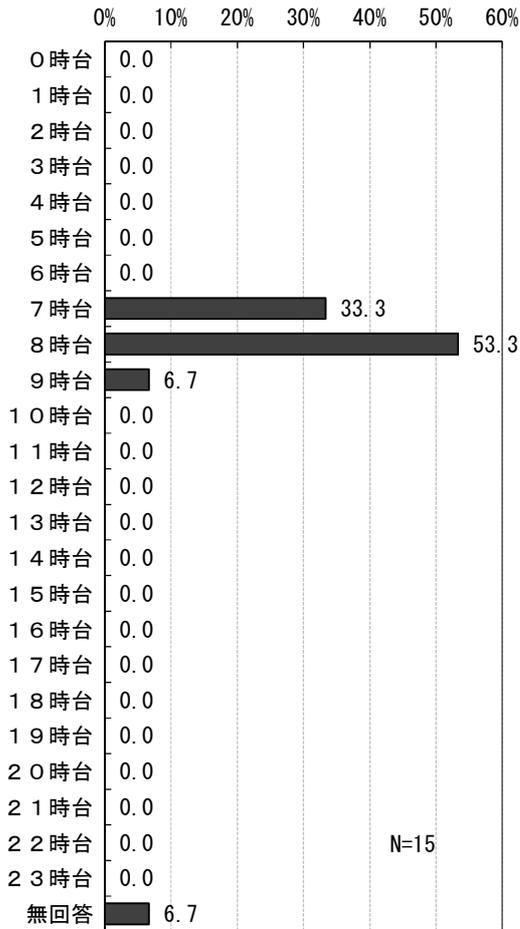
【1週あたり就労日数】



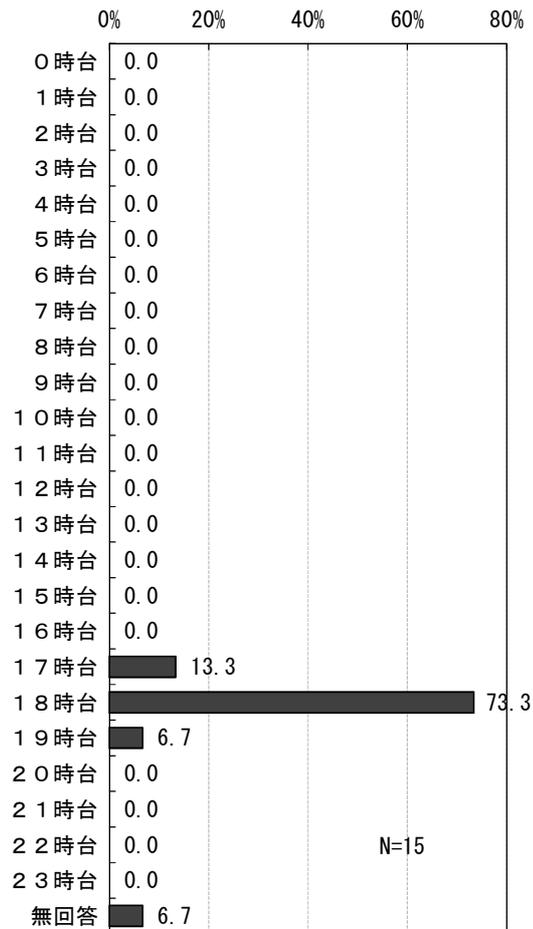
【1日あたり就労時間】



【出勤時間】

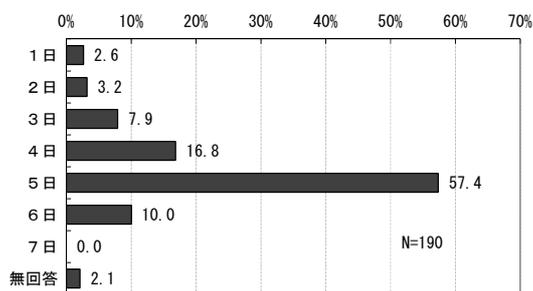


【帰宅時間】

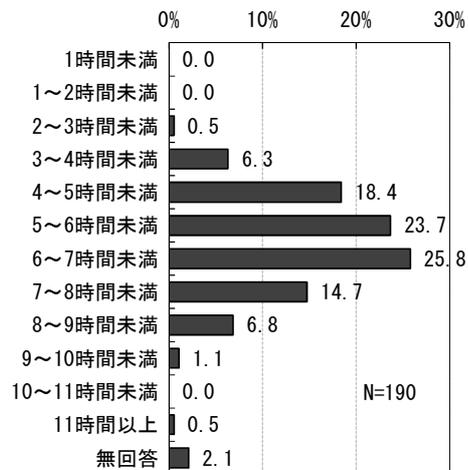


【母親・パート・アルバイト就業者】

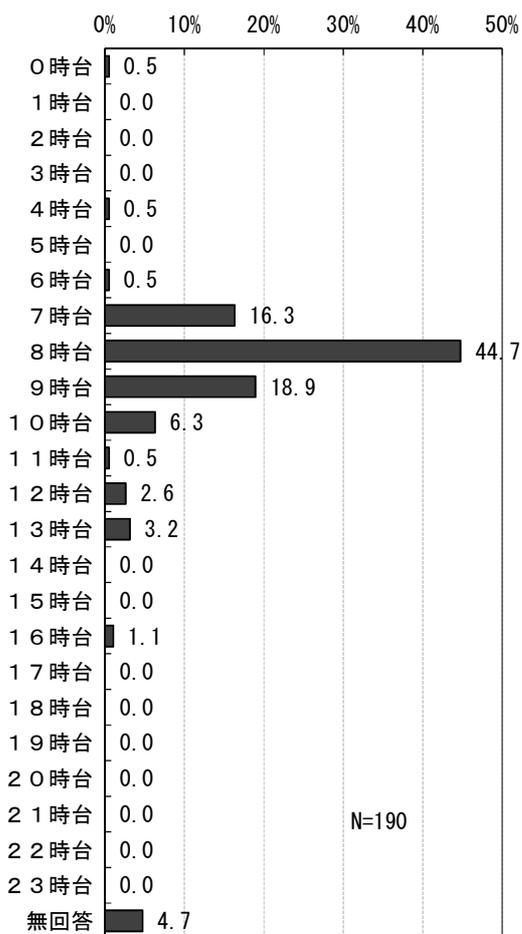
【1週あたり就労日数】



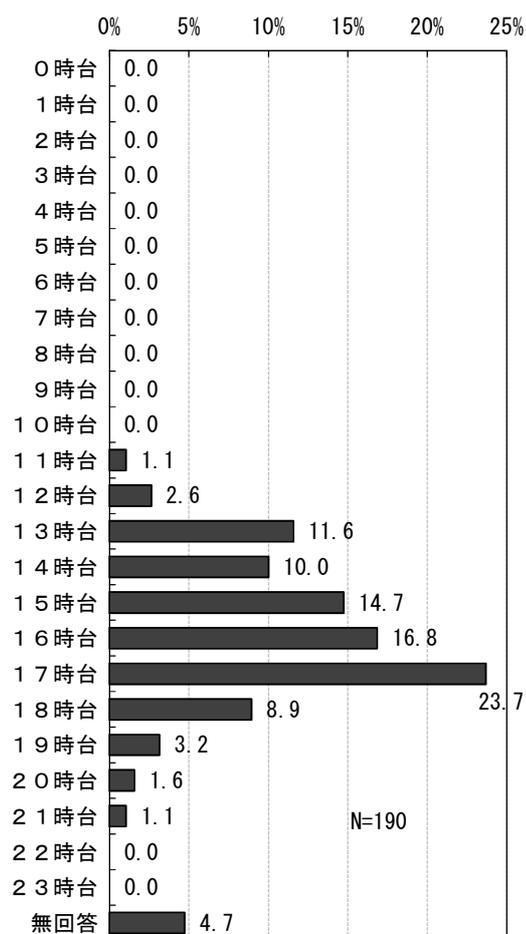
【1日あたり就労時間】



【出勤時間】



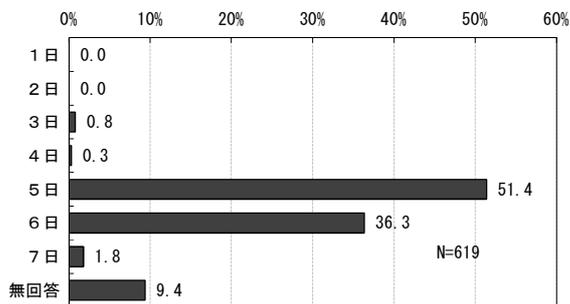
【帰宅時間】



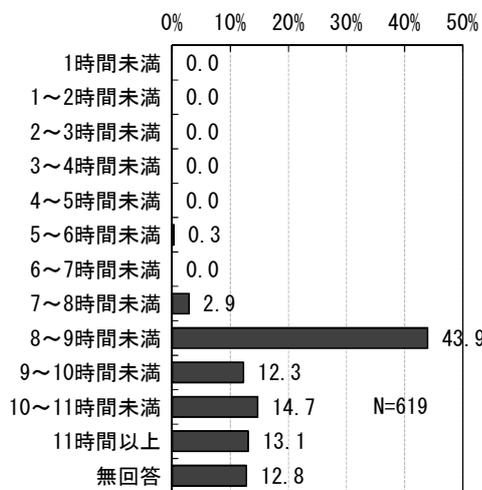
【小学生】

【父親・フルタイム就業中】

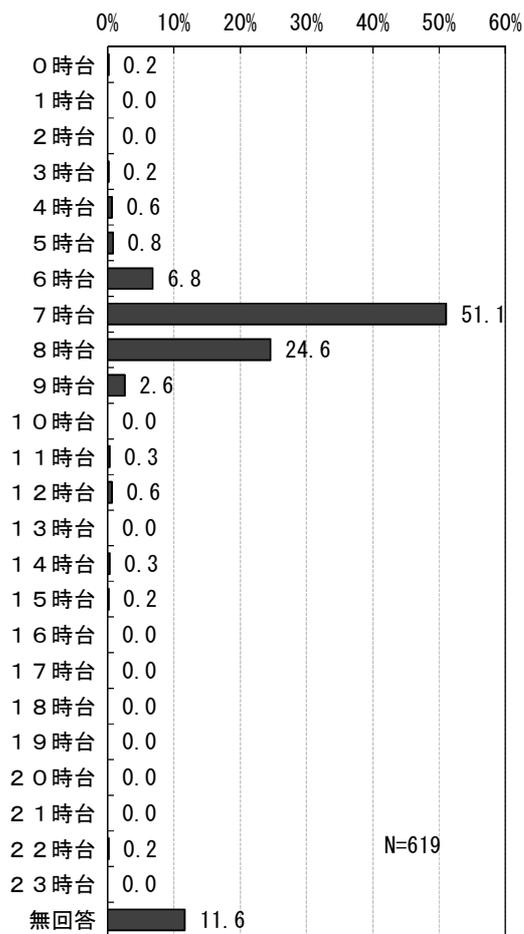
【1週あたり就労日数】



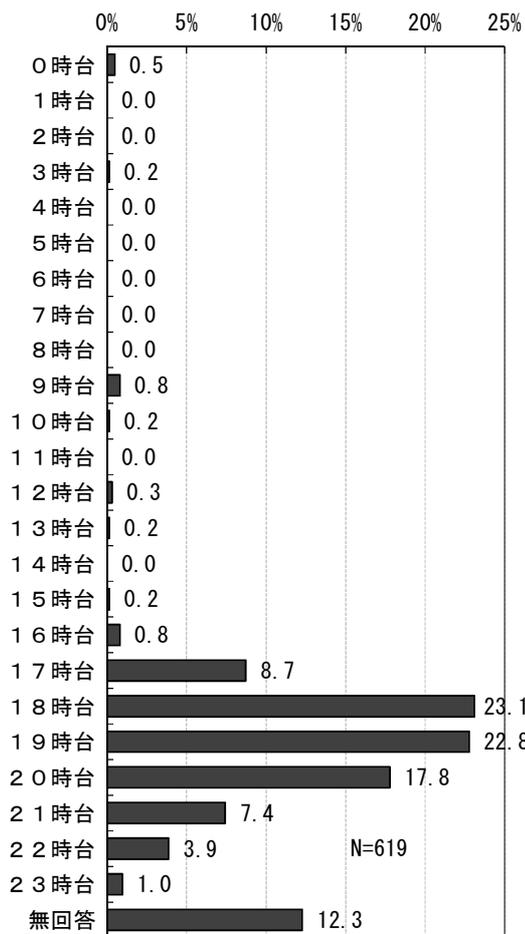
【1日あたり就労時間】



【出勤時間】



【帰宅時間】



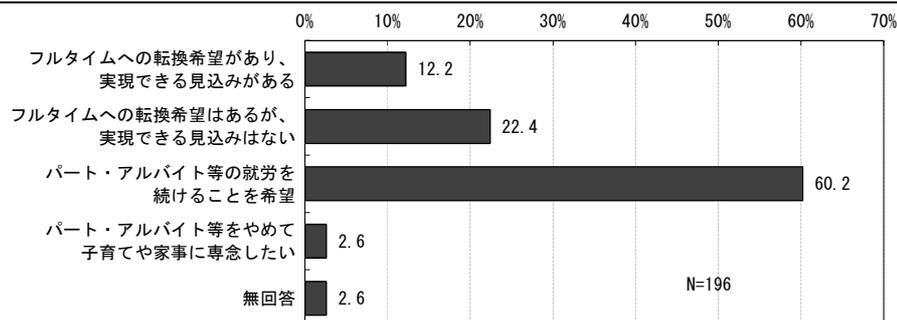
## 問9で「3」または「4」に○をした方にお伺いします。

(2) 問9-1 フルタイムへの転換希望はありますか。(①母親、②父親ごと1つに○)

※ひとり親家庭の場合は①または②のあてはまる方のみお答えください。

母親のフルタイムへの転換希望についてみると、「パート・アルバイト等の就労を続けることを希望」が60.2%で最も多くなっている。フルタイムへ転換するよりも、パート・アルバイト等で就労の継続を希望していることがうかがえる。

「フルタイムへの転換希望があり、実現できる見込みがある」は12.2%にとどまり、「フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない」が22.4%となっており、パート・アルバイト等からフルタイムへの転換が容易ではないことがうかがえる。



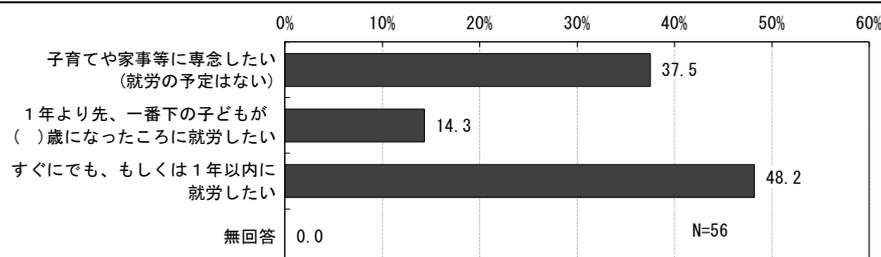
## 問9で「5」または「6」に○をした方にお伺いします。

(3) 問9-2 今後の就労希望はありますか。(①母親、②父親ごと1つに○)

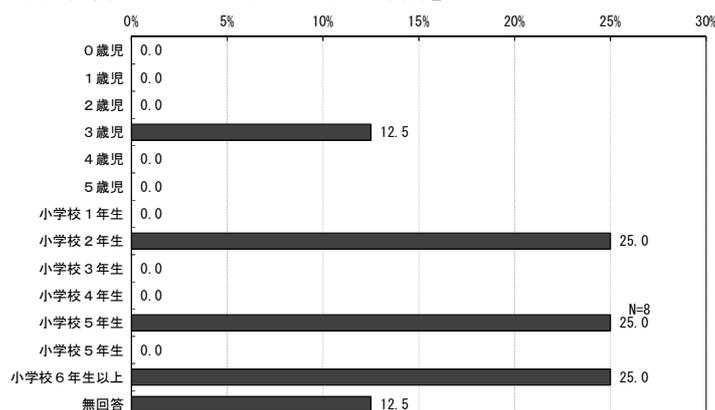
※「2.1年より先、一番下の子どもが～」を選択した場合、対象のお子さんの具体的な年齢を( )内にお答えください。

※ひとり親家庭の場合は①または②のあてはまる方のみお答えください。

現在就労していない母親の就労意向をみると、「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」が48.2%、「1年より先、一番下の子どもが( )歳になったころに就労したい」が14.3%と、全体の就労意向は6割を超えている。また就労希望時期の末子の年齢は、「小学校2年生」「小学校5年生」「小学校6年生以上」がいずれも25.0%で最も多くなっている。



## 【1年より先、就労したいころの末子の年齢】



**問9-2で「2」または「3」に○をした方にお伺いします。**

(4) 問9-3 就労希望の形態はどのようなものですか。

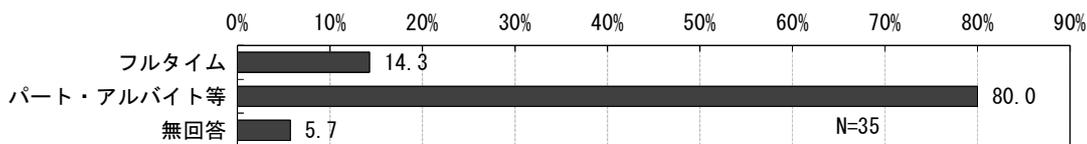
(①母親、②父親ごと1つに○、選択肢によっては日数等も回答)

※ひとり親家庭の場合は①または②のあてはまる方のみお答えください。

※時刻については、30分未満は切り捨て、30分以上は切り上げてお答えください。

母親が希望する就労形態としては、「フルタイムによる就労」は14.3%にとどまり、「パートタイム、アルバイト等による就労」が80.0%と圧倒的に多くなっている。

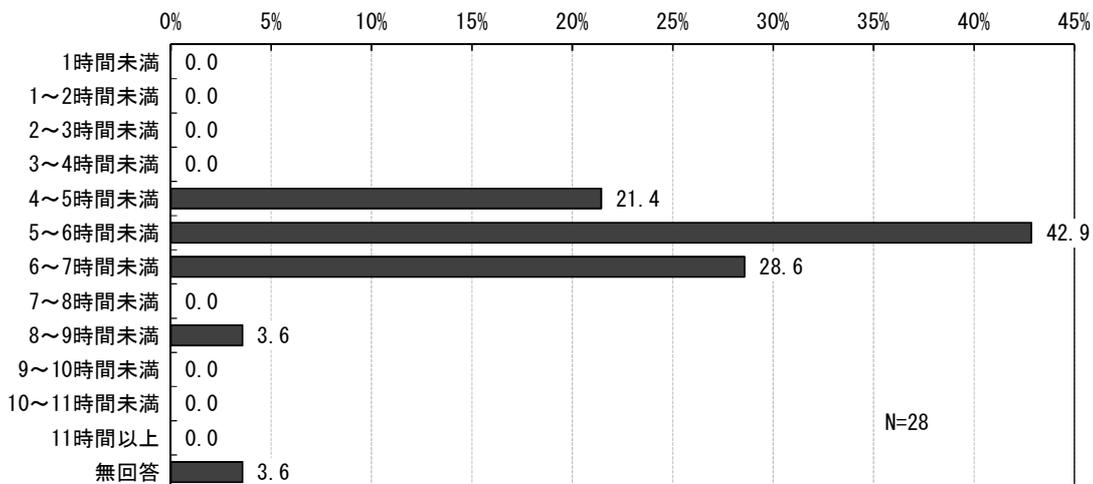
1週あたり希望就労日数としては、「6日」が最も多く、1日あたり希望就労時間としては、「5～6時間未満」が42.9%で最も多くなっている。



**【パート・アルバイト等の1週あたり就労日数】**



**【パート・アルバイト等の1日あたり就労時間】**



## 3 放課後児童クラブ等の利用意向

## すべての方にお伺いします。

(1) 問 10 あて名のお子さんについて、放課後児童クラブや放課後子ども教室の利用意向についてお伺いします。現在利用中の方もお答えください。(「平日」「土曜日」「日曜日・祝日」「夏休み・冬休み等長期休暇期間」のそれぞれ1つに○)

※現在利用中の方は、利用しているところだけ、利用されていない方は放課後児童クラブの項目にお答えください。

※利用を希望する場合は、何年生まで利用したいですか。また、週(月)あたりの利用日数と平均的な利用時間帯もお答えください。また、利用時間帯は24時間制でお答えください。

※これらのサービスの利用には、一定の利用者負担が発生します。

放課後児童クラブの利用意向についてみると、平日は「利用したい」が31.0%で、約3人に1人が希望している。希望利用学年は「小学6年生」までが50.2%で最も多く、週あたり利用希望日数は「5日」、利用希望時間は開始が「15時台」、終了が「18時台」を希望する割合が多くなっている。

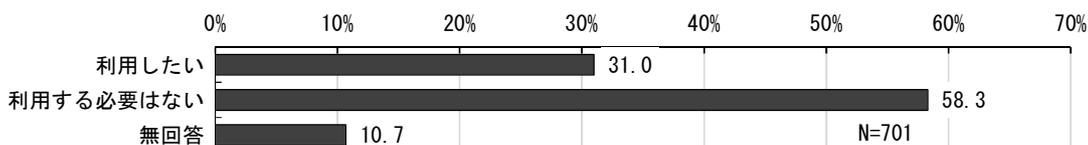
土曜日は、「利用したい」が14.8%で、希望利用学年は「小学6年生」までが45.2%で最も多くなっている。月当たり利用希望日数は「4日」が最も多くなっている。

日曜日・祝日は、「利用したい」が6.0%で、土曜日利用希望の半分以下となっている。希望利用学年は「小学6年生」まで、月当たり利用希望日数は「2日」が多くなっている。

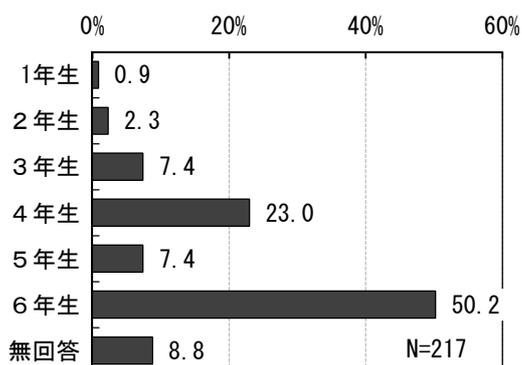
長期休暇期間は、「利用したい」が38.9%で、平日の利用希望よりも多くなっており、長期休暇期間中の放課後児童クラブのニーズが高いことを示している。希望利用学年は「小学6年生」までが55.7%で半数を超えている。月当たり利用希望日数は「20～24日」が多くなっている。

利用希望時間は、土曜日、日曜日・祝日、長期休暇期間のいずれも開始が「8時台」、終了が「18時台」を希望する割合が最も多くなっている。

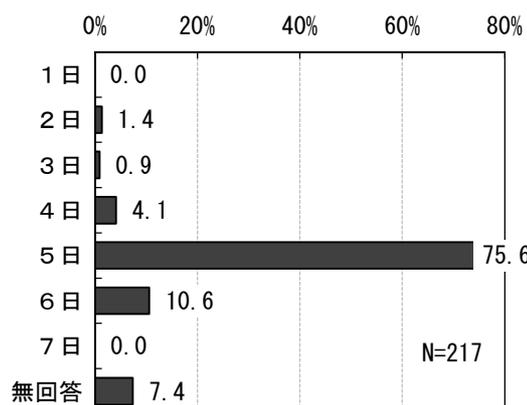
## ① 平日



## 【希望利用学年】

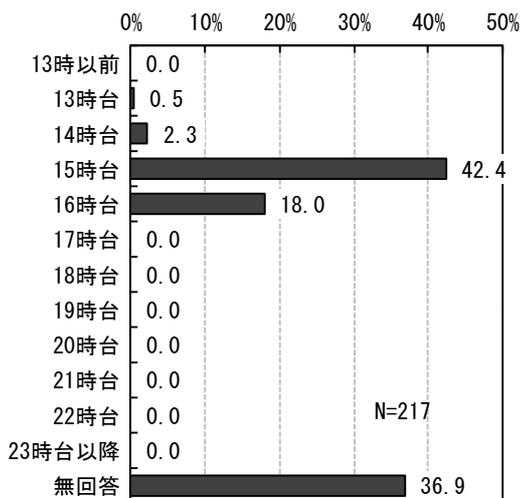


## 【週あたりの利用日数】

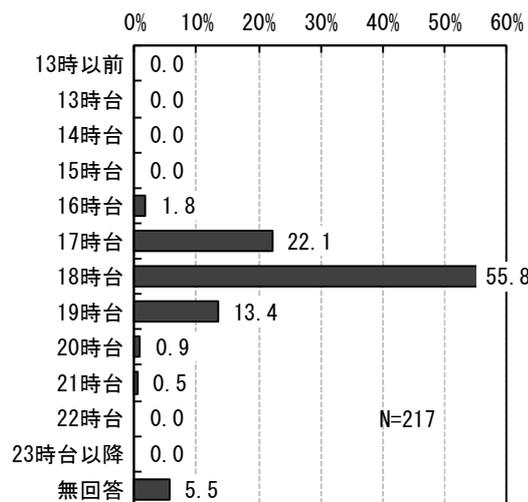


【小学生】

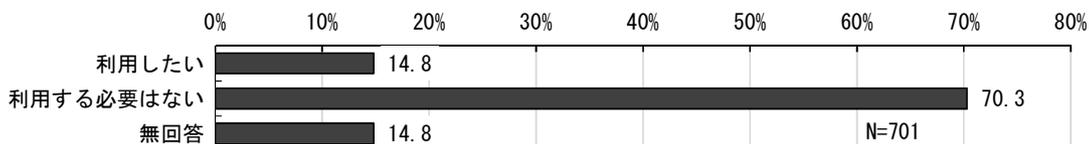
【希望利用開始時間】



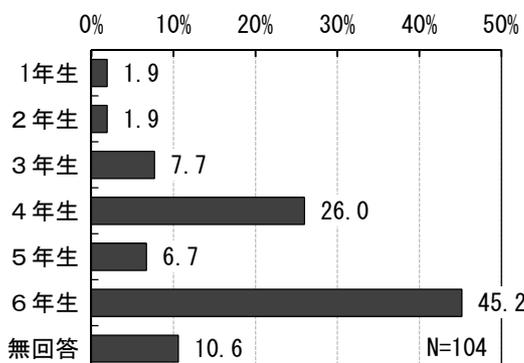
【希望利用終了時間】



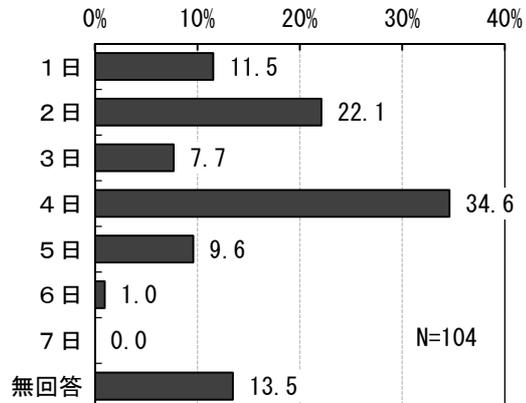
② 土曜日



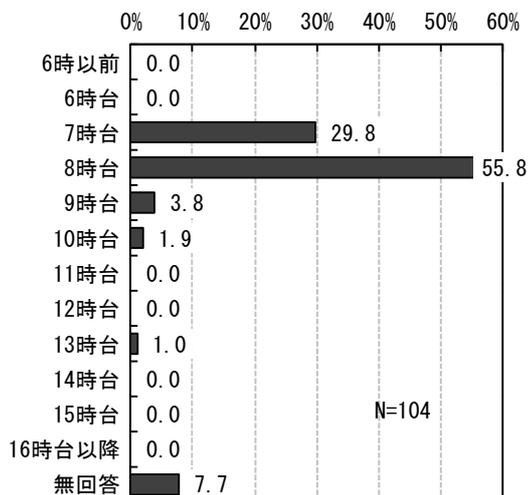
【希望利用学年】



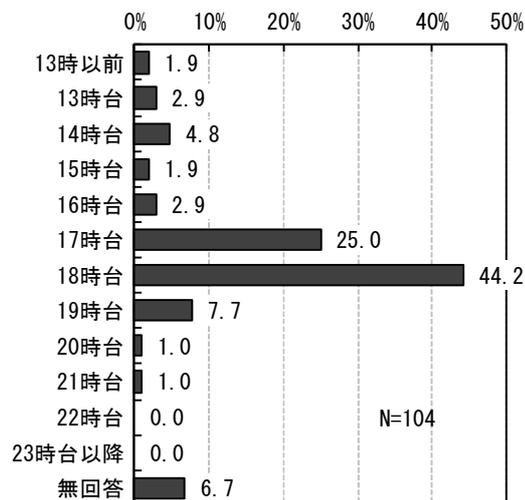
【月あたりの利用日数】



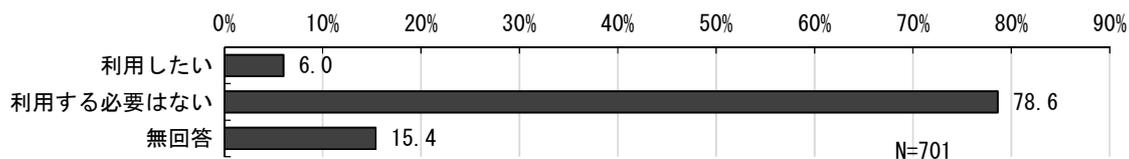
【希望利用開始時間】



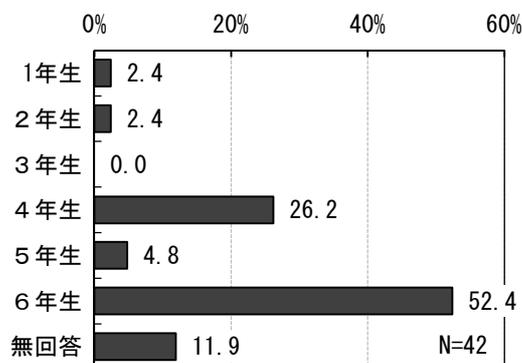
【希望利用終了時間】



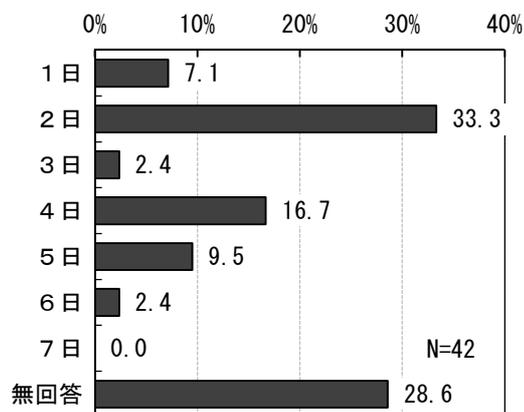
③ 日曜日・祝日



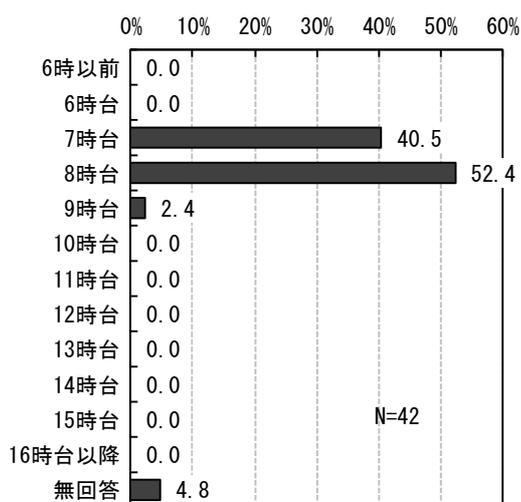
【希望利用学年】



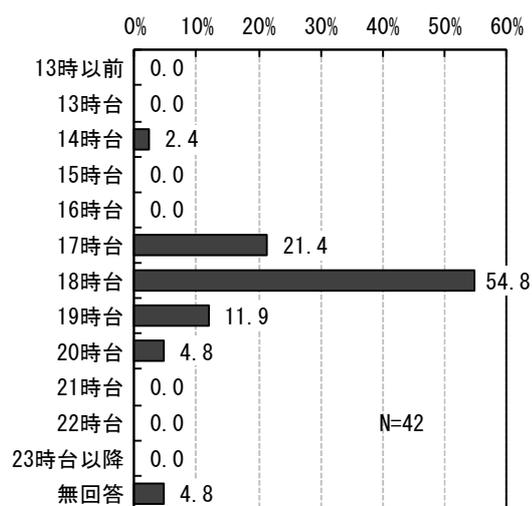
【月あたりの利用日数】



【希望利用開始時間】



【希望利用終了時間】

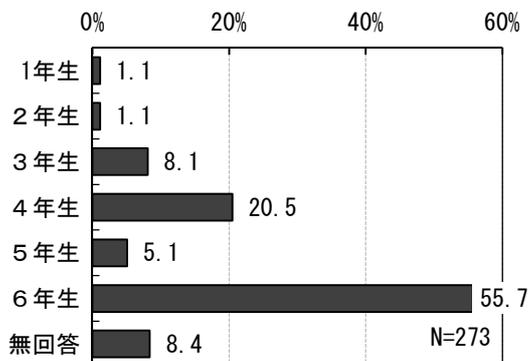


【小学生】

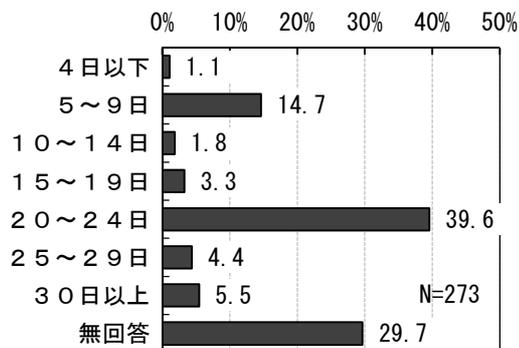
④ 夏休み・冬休み等長期休暇期間中



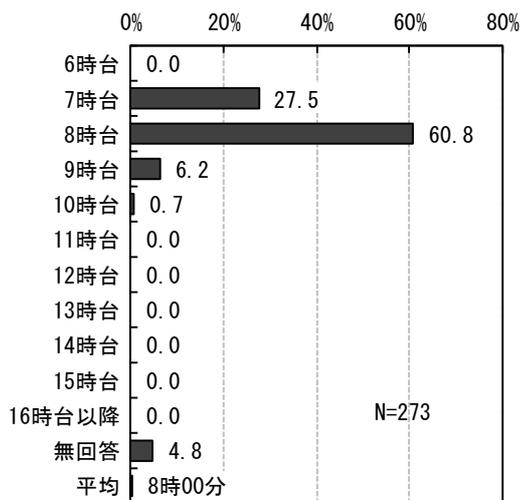
【希望利用学年】



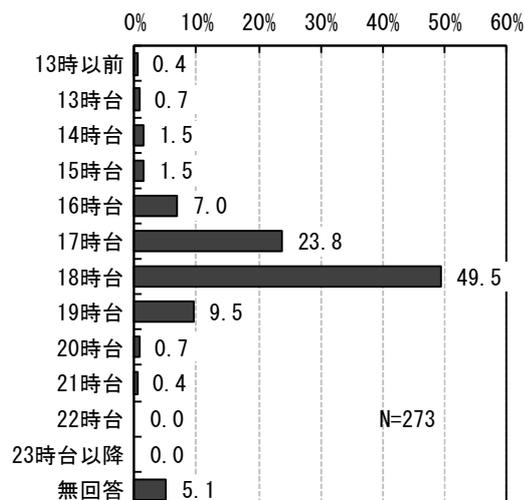
【月あたりの利用日数】



【希望利用開始時間】



【希望利用終了時間】



## (2) 放課後子ども教室

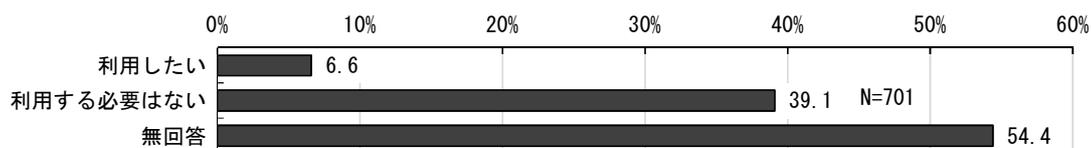
放課後子ども教室の利用意向についてみると、平日は「利用したい」が6.6%となっている。希望利用学年は「小学6年生」までが71.7%で最も多く、週当たり利用希望日数は「5日」が多くなっている。利用時間は開始が「15時台」、終了が「18時台」を希望する割合が最も多くなっている。

土曜日は、「利用したい」が1.9%で、希望利用学年は「小学6年生」までが最も多くなっている。月当たり利用希望日数は「5日」と「2日」が多く、利用時間は開始が「8時台」、終了が「18時台」を希望する割合が最も多くなっている。

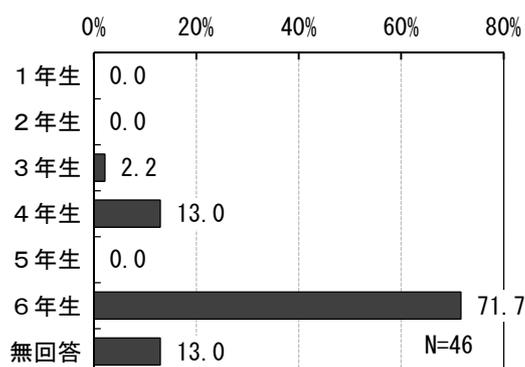
日曜日・祝日は、「利用したい」が0.9%となっている。希望利用学年は「小学6年生」までが最も多くなっている。月当たり利用希望日数は「5日」と「2日」が多く、利用時間は開始が「8時台」、終了が「18時台」を希望する割合が最も多くなっている。

長期休暇期間についてみると、「利用したい」が8.6%となっている。希望利用学年は「小学6年生」までが最も多くなっている。月当たり利用希望日数は「20～24日」が多く、利用時間は開始が「8時台」、終了が「18時台」を希望する割合が最も多くなっている。

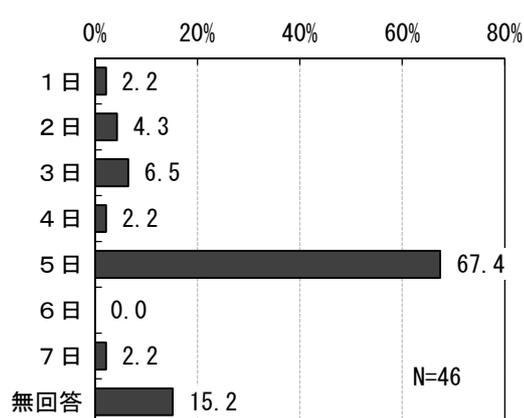
## ① 平日



## 【希望利用学年】

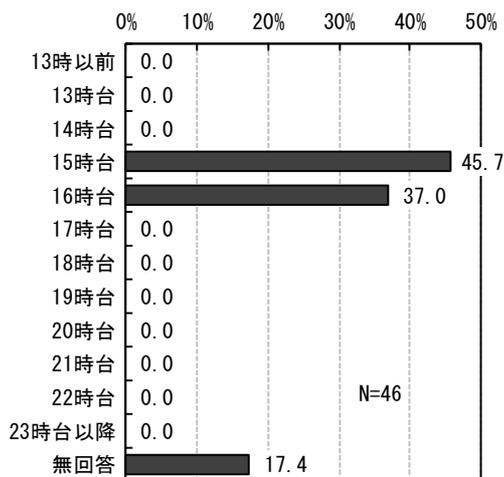


## 【月あたりの利用日数】

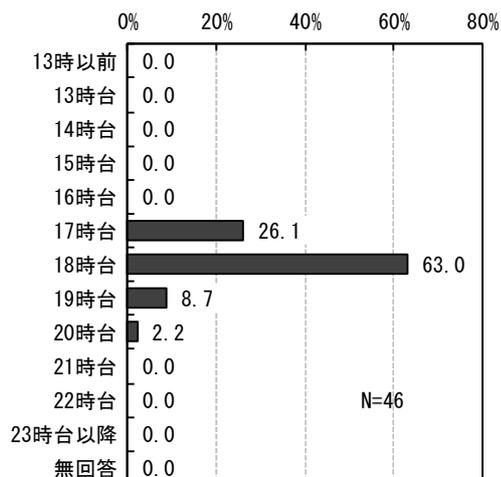


【小学生】

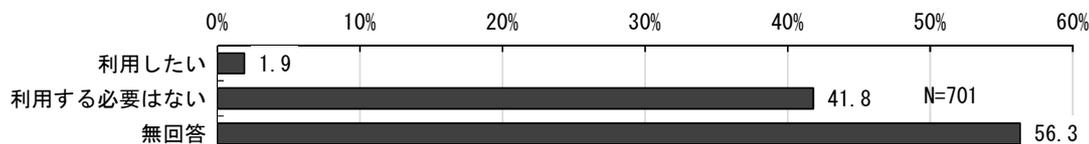
【希望利用開始時間】



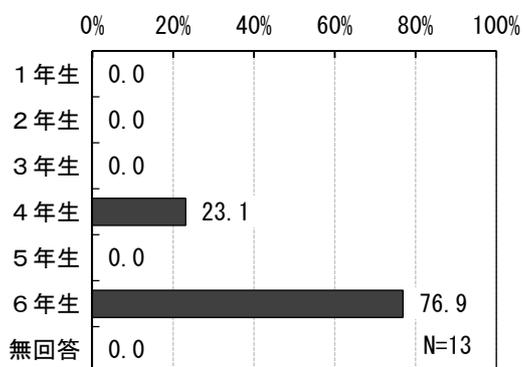
【希望利用終了時間】



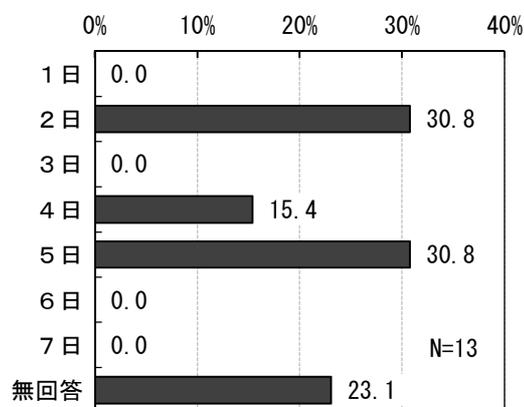
② 土曜日



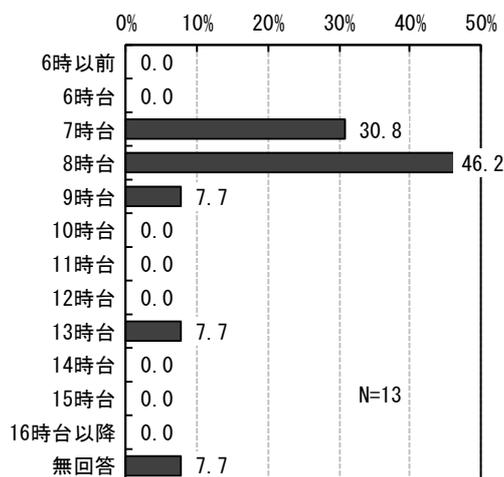
【希望利用学年】



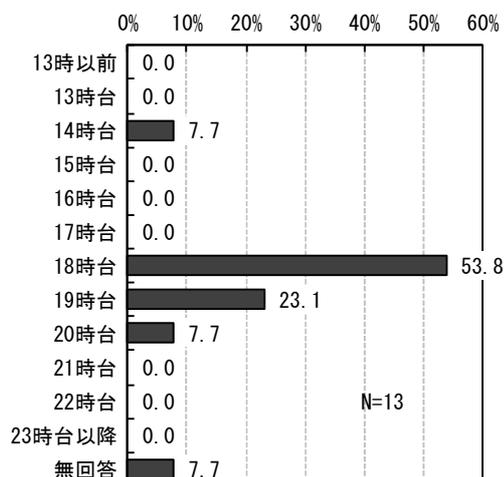
【月あたりの利用日数】



【希望利用開始時間】



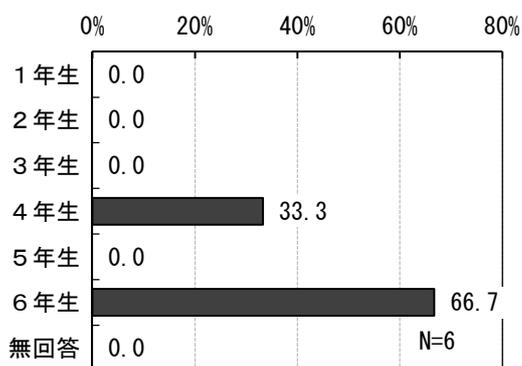
【希望利用終了時間】



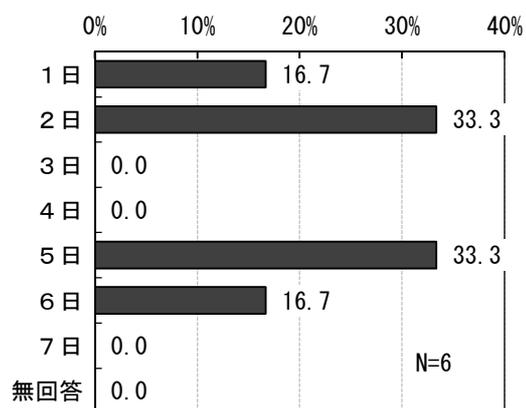
③ 日曜日・祝日



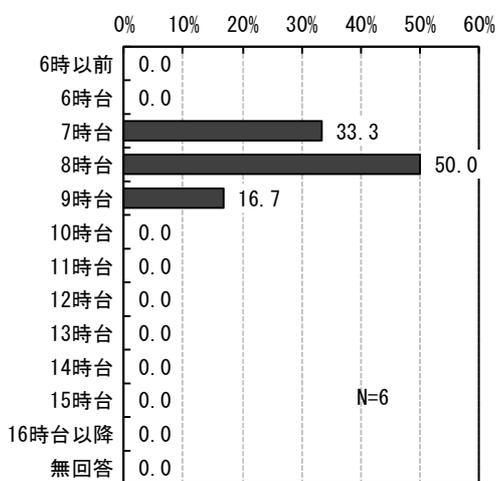
【希望利用学年】



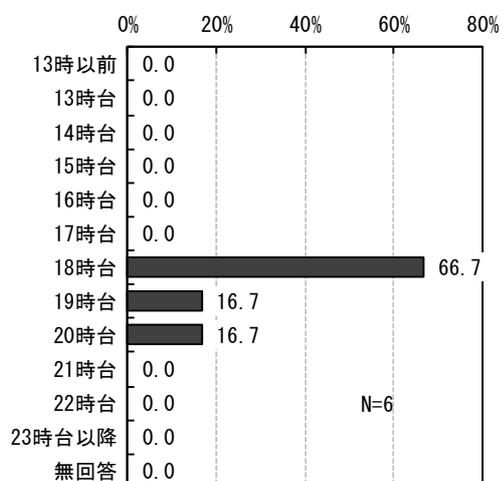
【月あたりの利用日数】



【希望利用開始時間】

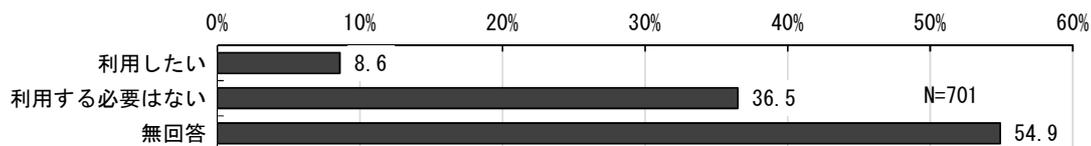


【希望利用終了時間】

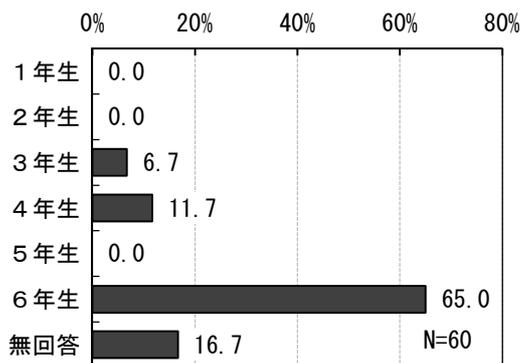


【小学生】

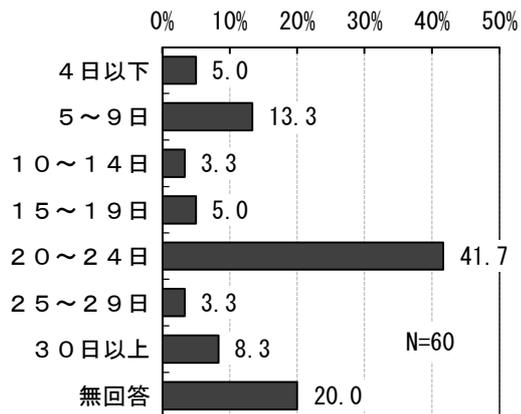
④ 夏休み・冬休み等長期休暇期間中



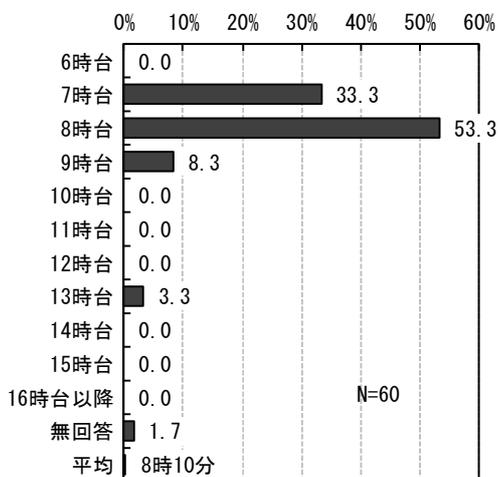
【希望利用学年】



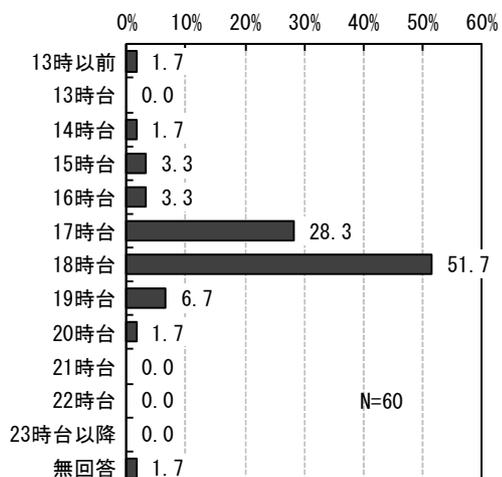
【月あたりの利用日数】



【希望利用開始時間】



【希望利用終了時間】

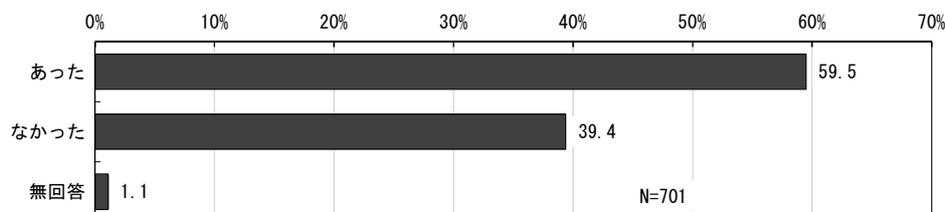


## 4 子どもが病気の際の対応

### すべての方にお伺いします。

- (1) 問 11 この1月までの1年間に、あて名のお子さんが病気やケガで学校を休まなければならなかったことはありますか。(1つに○)

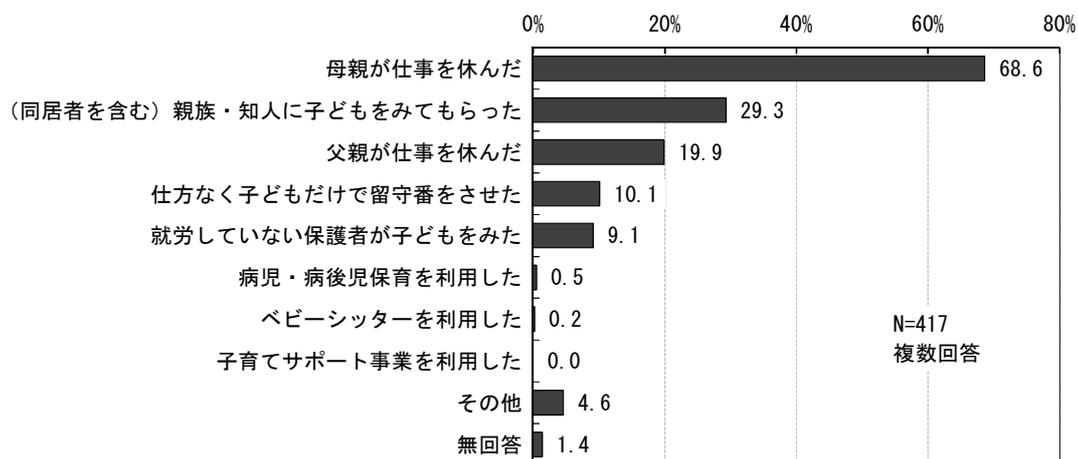
この1年間に、子どもが病気やケガで通常の保育サービスが利用できなかった経験についてみると、「あった」が59.5%と約6割を占めている。



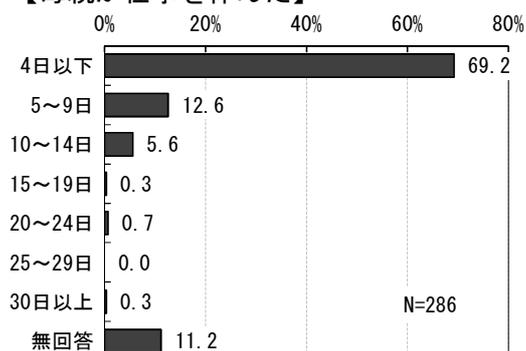
### 問 11 で「1」に○をした方にお伺いします。

- (2) 問 11-1 この1月までの1年間の対処方法とそれぞれの日数は何日でしたか。あてはまる番号すべてに○をつけ、それぞれの日数をお答えください。(あてはまるものすべてに○) ※半日程度についても1日としてカウントしてください。

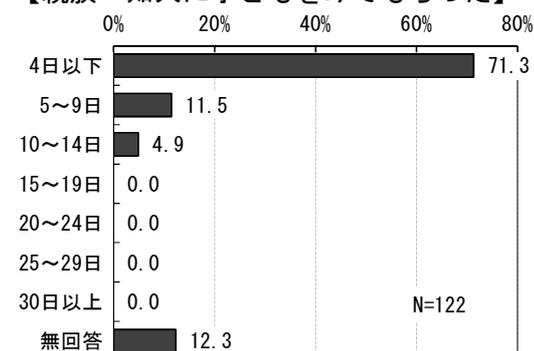
その対処方法については、「母親が仕事を休んだ」が68.6%で最も多く、日数は「4日以下」が69.2%となっている。次いで「(同居者を含む) 親族・知人に子どもをみてもらった」が29.3%で、日数は「4日以下」が71.3%となっている。以下「父親が仕事を休んだ」(19.9%)、「仕方なく子どもだけで留守番をさせた」(10.1%)「就労していない保護者が子どもをみた」(9.1%)と続いており、「病児・病後児保育を利用した」は0.5%にとどまっている。



#### 【母親が仕事を休んだ】

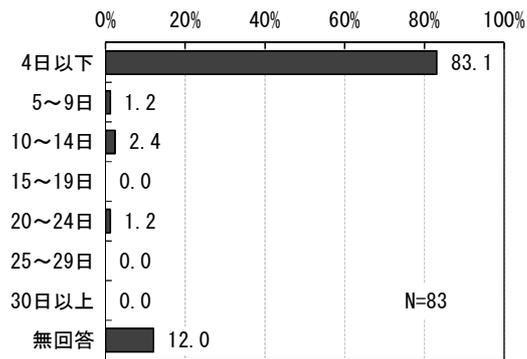


#### 【親族・知人に子どもをみてもらった】

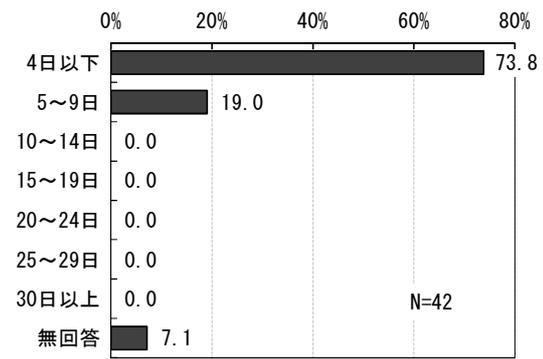


【小学生】

【父親が仕事を休んだ】



【仕方なく子どもだけで留守番をさせた】



問 11-1で「1」または「2」に○をした方にお伺いします。

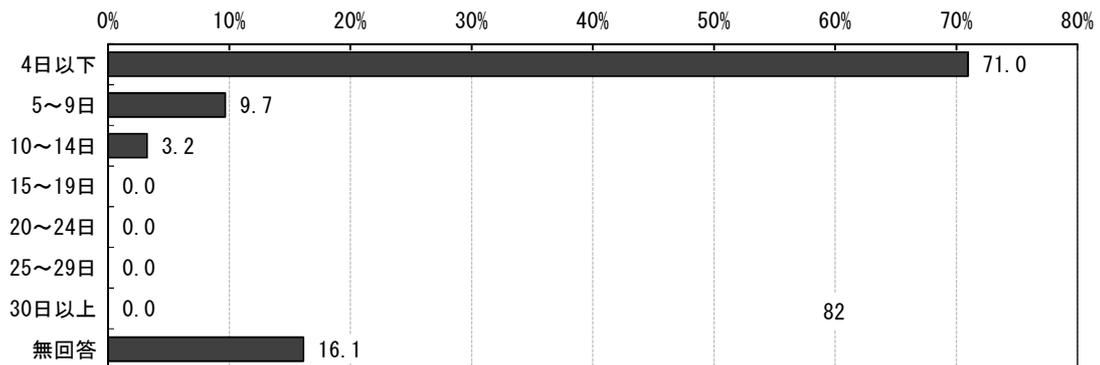
(3) 問 11-2 その際、できれば病児・病後児保育を利用したいと思いましたが。

(1つに○) また、施設を利用したいと思った日数をお答えください。

父親または母親が仕事を休んで対処した人のうち、病児・病後児保育を「できれば利用したかった」と答えた割合は 10.4%で、利用したいと思った日数は「4日以下」が 71.0%となっている。



【利用したいと思った日数】



## 5 子育てサポート事業の利用状況

子育てサポート事業の利用の経験についてみると、「ある」が11.3%で、全体の約1割となっている。利用の目的としては、「保護者が仕事でいない時に利用している」が46.8%と半数近くを占めている。月の利用頻度は、1か月あたり「4回以下」が34.2%で最も多く、1回あたりの時間は「4時間以下」が24.1%となっている。

増やしたい利用回数及び利用時間についてみると、希望利用回数は「4回以下」が11.4%、利用希望時間は「4時間以下」が11.4%となっている。

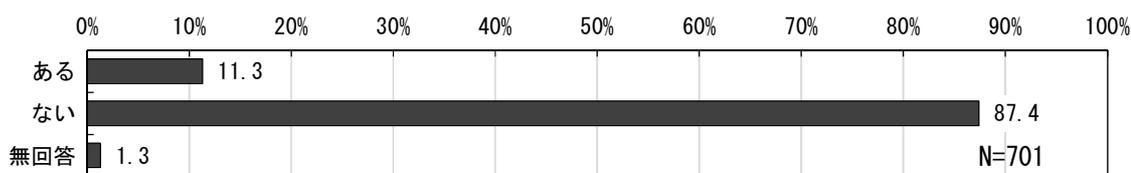
利用経験がない人の、今後の利用希望についてみると、「利用したい」が3.9%となっている。利用希望回数及び希望時間は、「4回以下」が58.3%、「4時間以下」が25.0%で最も多くなっている。

## すべての方にお伺いします。

(1) 問12 子育てサポート事業を利用したことがありますか。(1つに○)

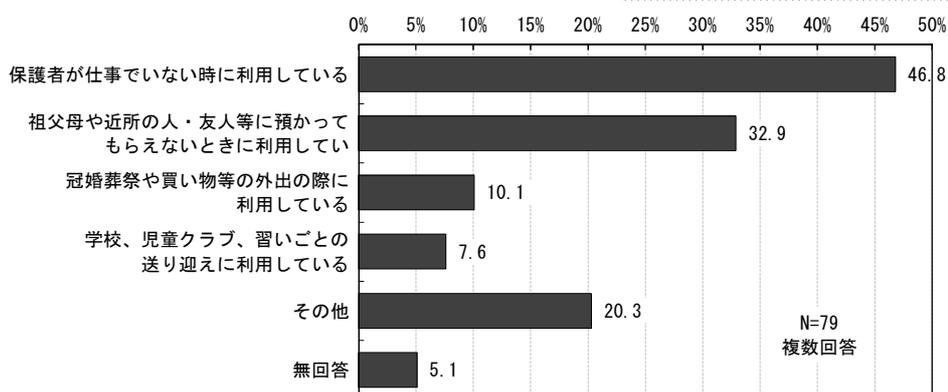
【子育てサポート事業とは】「おねがい会員」の子どもを「まかせて会員」が預かるサービスです。

※サービスの利用には、一定の利用者負担が発生します。



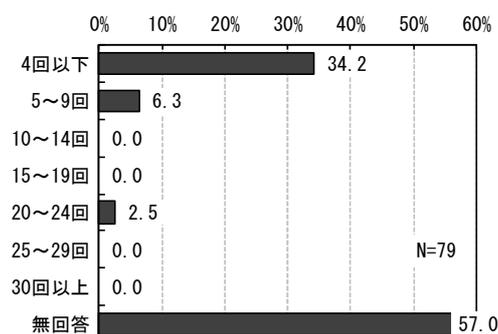
## 問12で「1」に○をした方にお伺いします。

(2) 問12-1 どのような目的で利用していますか。(あてはまるものすべてに○)

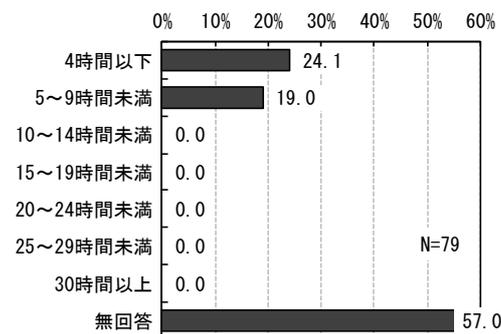


(3) 問12-2 月に何回くらいの頻度で利用していますか。

## 【利用回数】



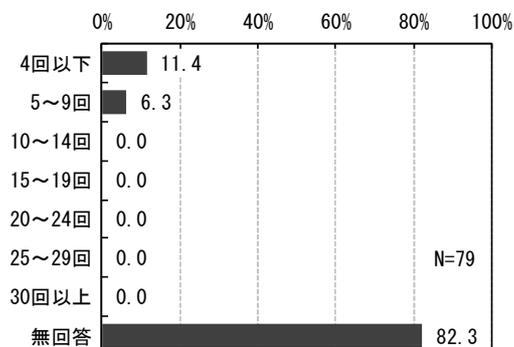
## 【利用時間】



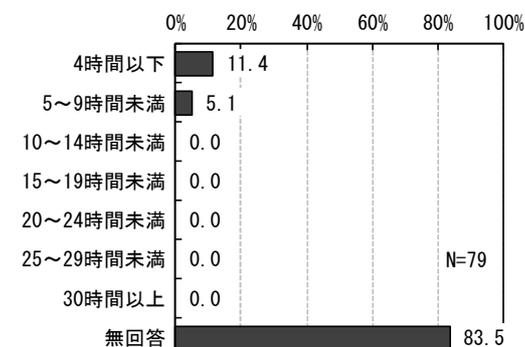
【小学生】

(4) 問 12-3 利用回数や利用時間を増やせるとしたら、どれくらい増やしたいと思いま  
すか。

【利用回数】

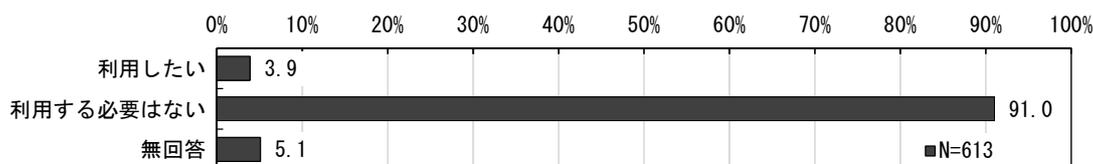


【利用時間】

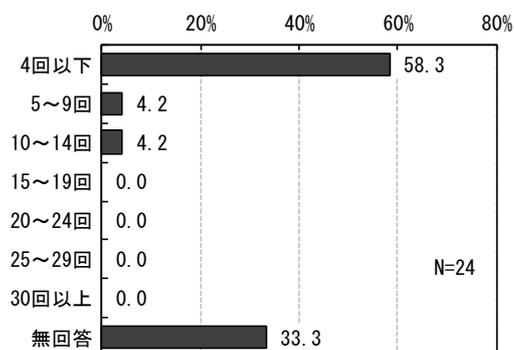


問 12 で「2」に○をした方にお伺いします

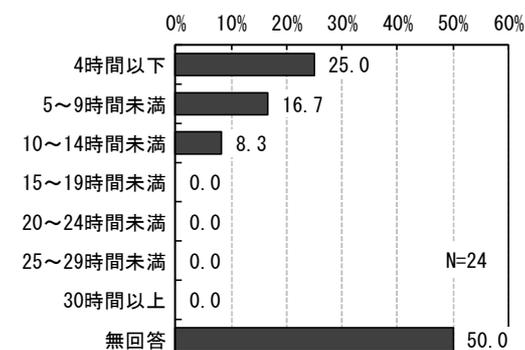
(5) 問 12-4 今後利用したいと思えますか。利用したい場合は、利用したい回数、時間  
をお答えください。



【利用回数】



【利用時間】



## 6 子育て支援施設の利用状況

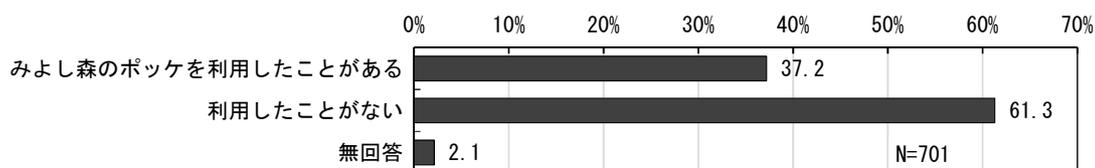
「みよし 森のポッケを利用したことがある」は37.2%で、これまでの利用回数は「4回以下」が69.0%を占め、次いで「5～9回」12.6%、「10～14回」4.2%となっている。

どのような利用方法や遊びがあればもっと利用したいと思うか尋ねたところ、「市民対象の利用料金の割引」が55.6%で最も多く、次いで「おもちゃの充実（ボードゲーム、知育玩具など）」53.3%、「1クール時間の拡大」35.2%となっている。

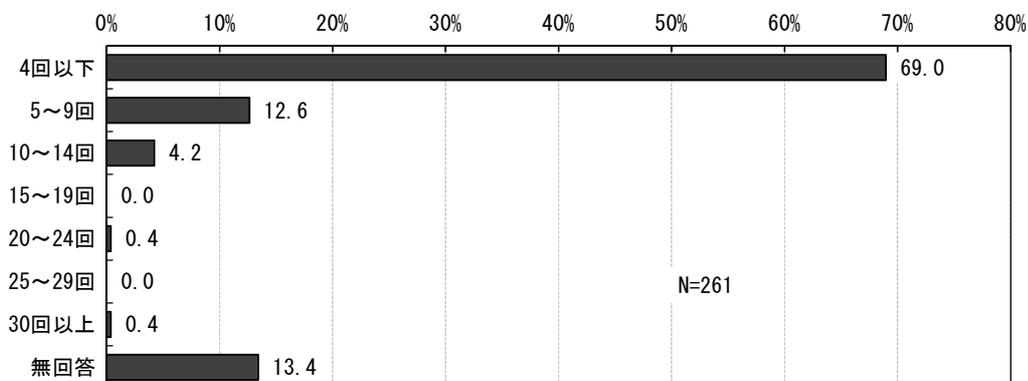
利用したことがない理由は、「有料施設だから」が17.7%、「利用時間が決まっているから」が13.7%となっている。

## すべての方にお伺いします。

- (1) 問13 三次市こどもの室内あそび場「みよし 森のポッケ」は遊びを通じた親子のふれあいをコンセプトにした施設です。この施設を利用したことがありますか。  
(1つに○) また、利用したことがあれば、おおよその利用回数をお答えください。

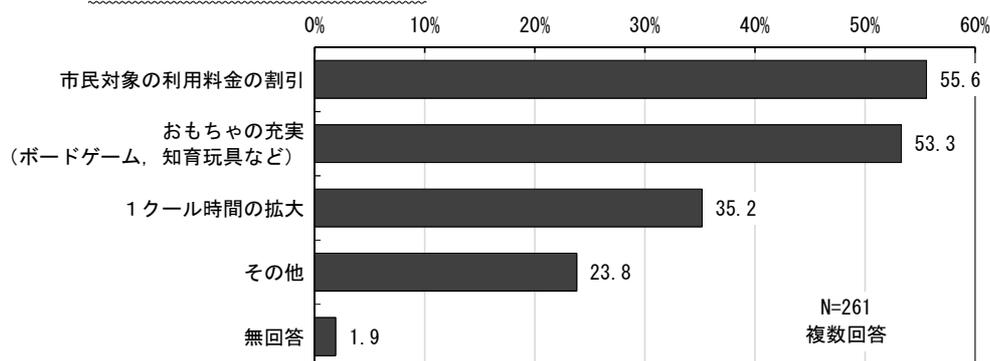


## 【利用回数】



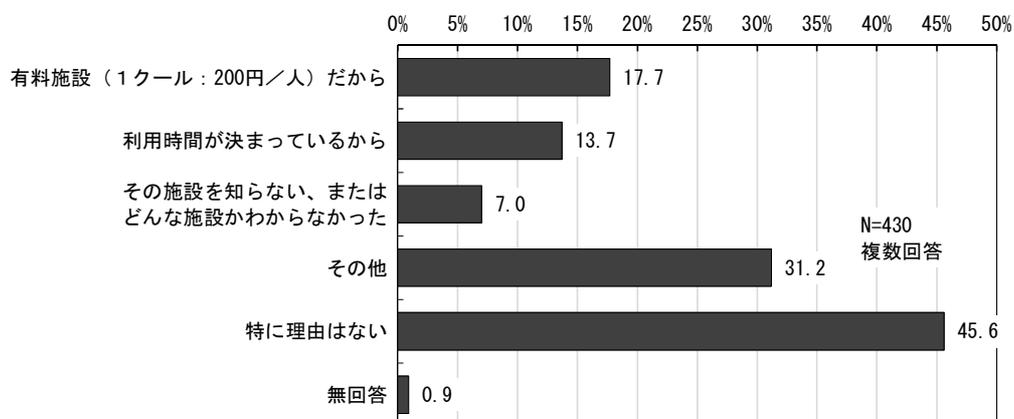
## 問13で「1」に○をした方にお伺いします。

- (2) 問13-1 どのような利用方法や遊びがあればもっと利用したいと思いますか。  
(あてはまるものすべてに○)



問 13 で「2」に○をした方にお伺いします。

(3) 問 13-2 利用したことがない理由はどのようなことですか。(あてはまるものすべてに○)

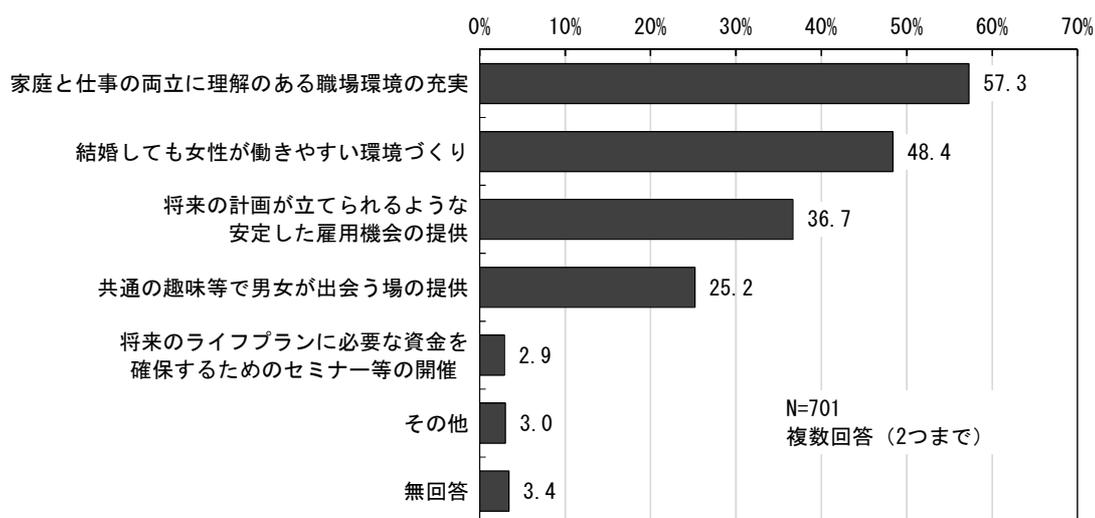


## 7 結婚・出産・子育てについて

## 問 14～問 16 はすべての方にお伺いします。

(1) 問 14 結婚しやすい環境づくりについて、どのような支援があればいいと思いますか。または、思いましたか。(2つまで○)

結婚しやすい環境づくりに関して望む支援としては、「家庭と仕事の両立に理解のある職場環境の充実」が 57.3%で最も多く、次いで「結婚しても女性が働きやすい環境づくり」48.4%、「将来の計画が立てられるような安定した雇用機会の提供」36.7%となっている。



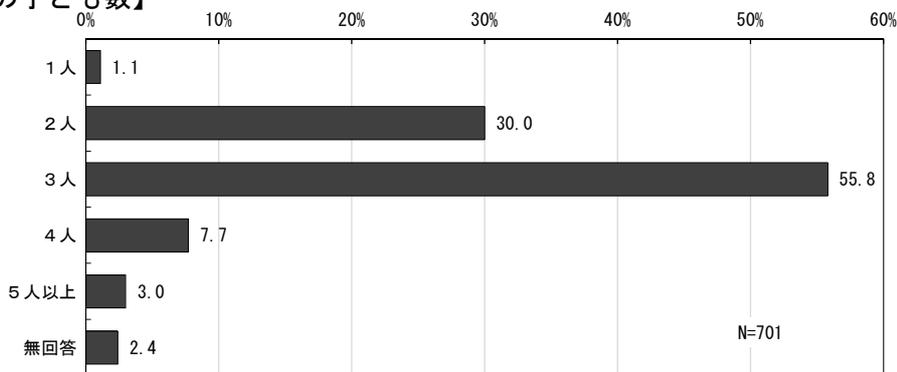
(2) 子どもの数

理想の子ども数は、「3人」が55.8%で最も多く、実際の子ども数は、「2人」が42.1%で最も多くなっている。

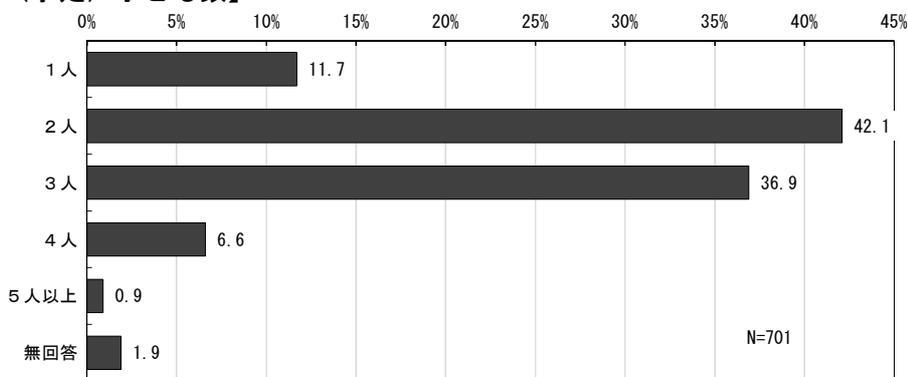
実際（予定）子ども数が理想の子ども数より少ない理由としては、「子育てや教育にかかる経済的負担が大きい」が26.1%で最も多く、次いで「仕事と子育ての両立が難しい」16.1%、「第1子を産む年齢が理想の年齢より遅くなった」13.6%となっている。

問15 あなたが理想とする子どもは何人（理想の子ども数）ですか。また、現在のお子さんを含め、実際（予定を含む）の子ども的人数は何人（実際（予定）子ども数）ですか。（○印1つずつ）

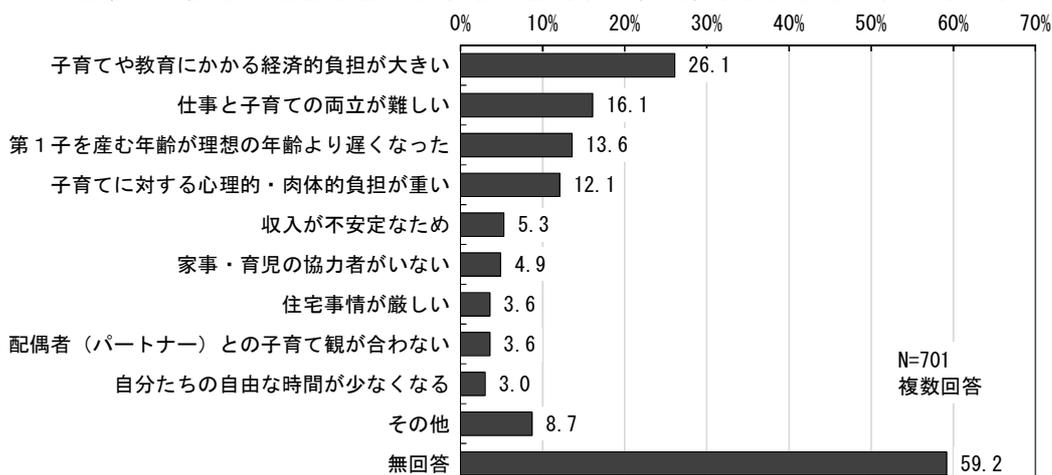
【理想の子ども数】



【実際（予定）子ども数】



問16 理想の子ども数より実際（予定）子ども数が少ない方にお伺いします。理想の子ども数より少ない理由はどのようなことですか。（あてはまるものすべてに○）

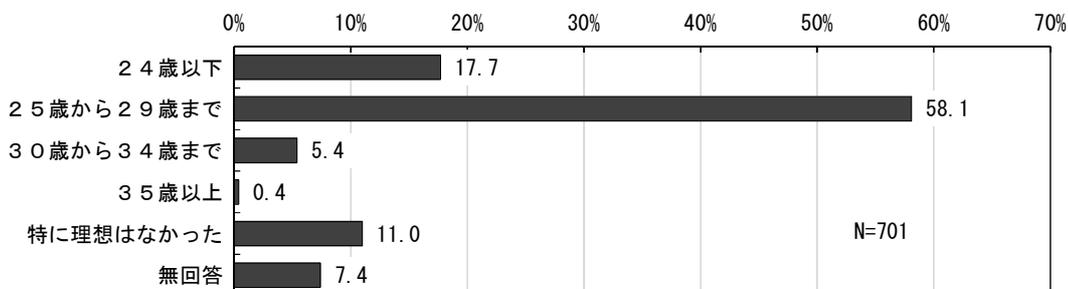


## (3) 初産年齢

理想の初産年齢は、「25歳から29歳まで」が58.1%で最も多く、次いで「24歳以下」17.7%となっており、実際の初産年齢の平均は28.0歳となっている、

## 出産された方にお伺いします。

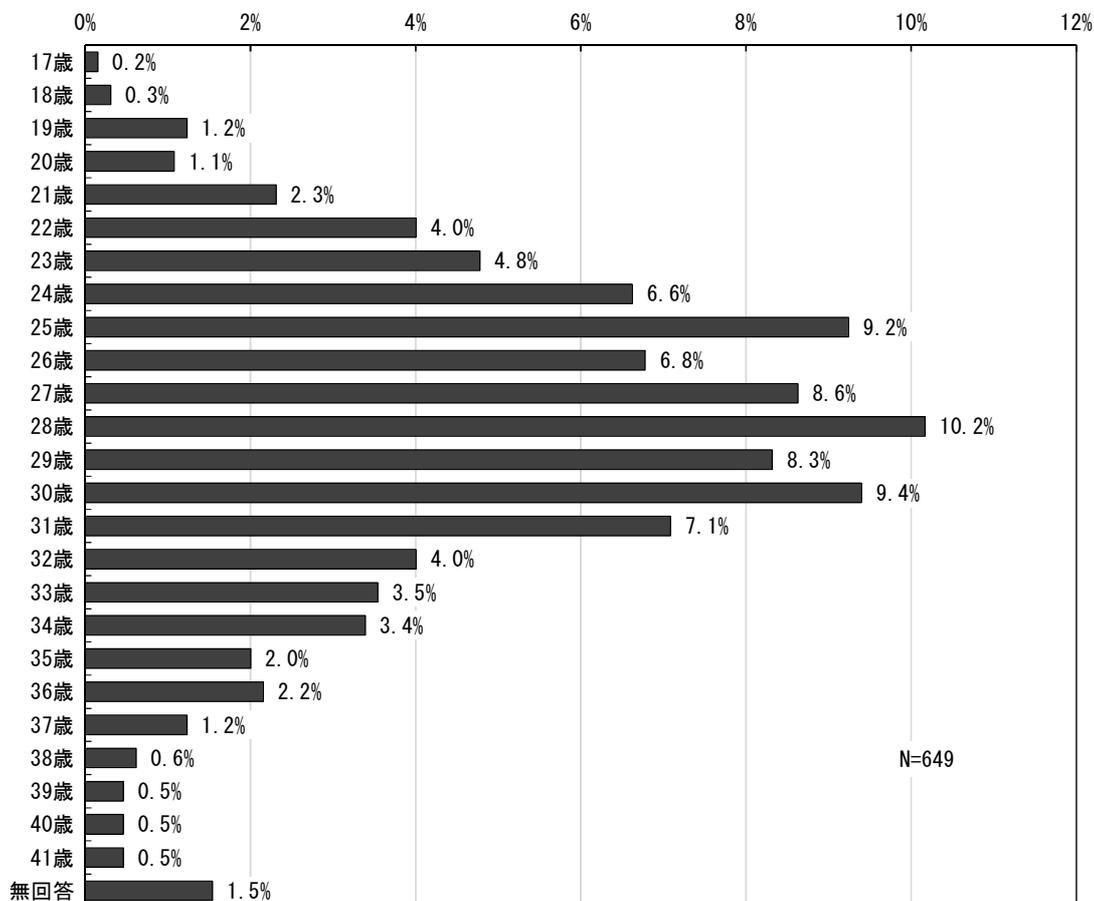
問17 理想としていた初産年齢があれば教えてください。(1つに〇)



## 出産された方にお伺いします。

問18 実際の初産年齢を教えてください。

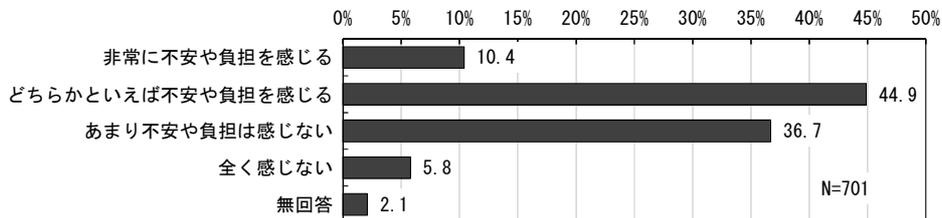
平均 28.0歳 (サンプル数=639)



**問 19～問 27 はすべての方にお伺いします。**

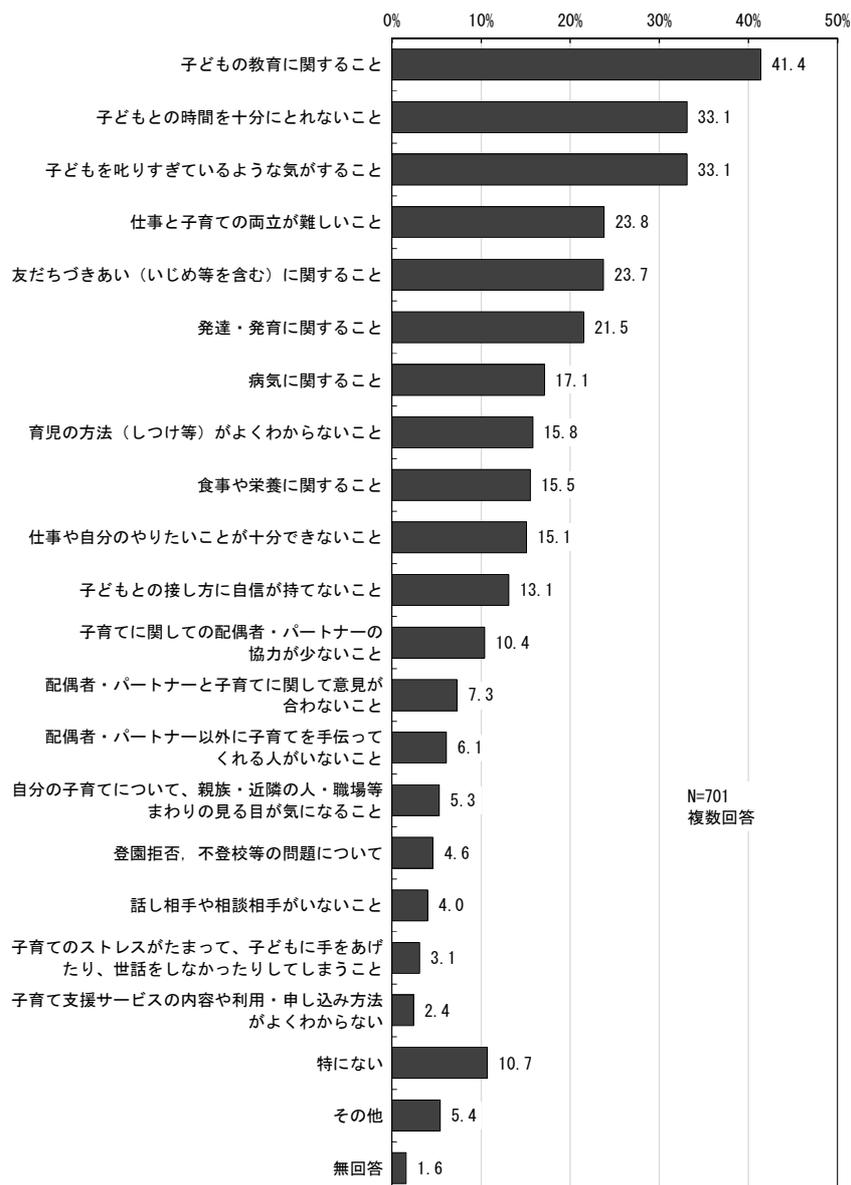
(4) 問 19 子育てに関して不安や負担をお感じですか。(1つに○)

子育てに関する不安や負担については、「非常に」「どちらかといえば」を合すると「不安や負担を感じる」が 55.3%と半数を超えている。



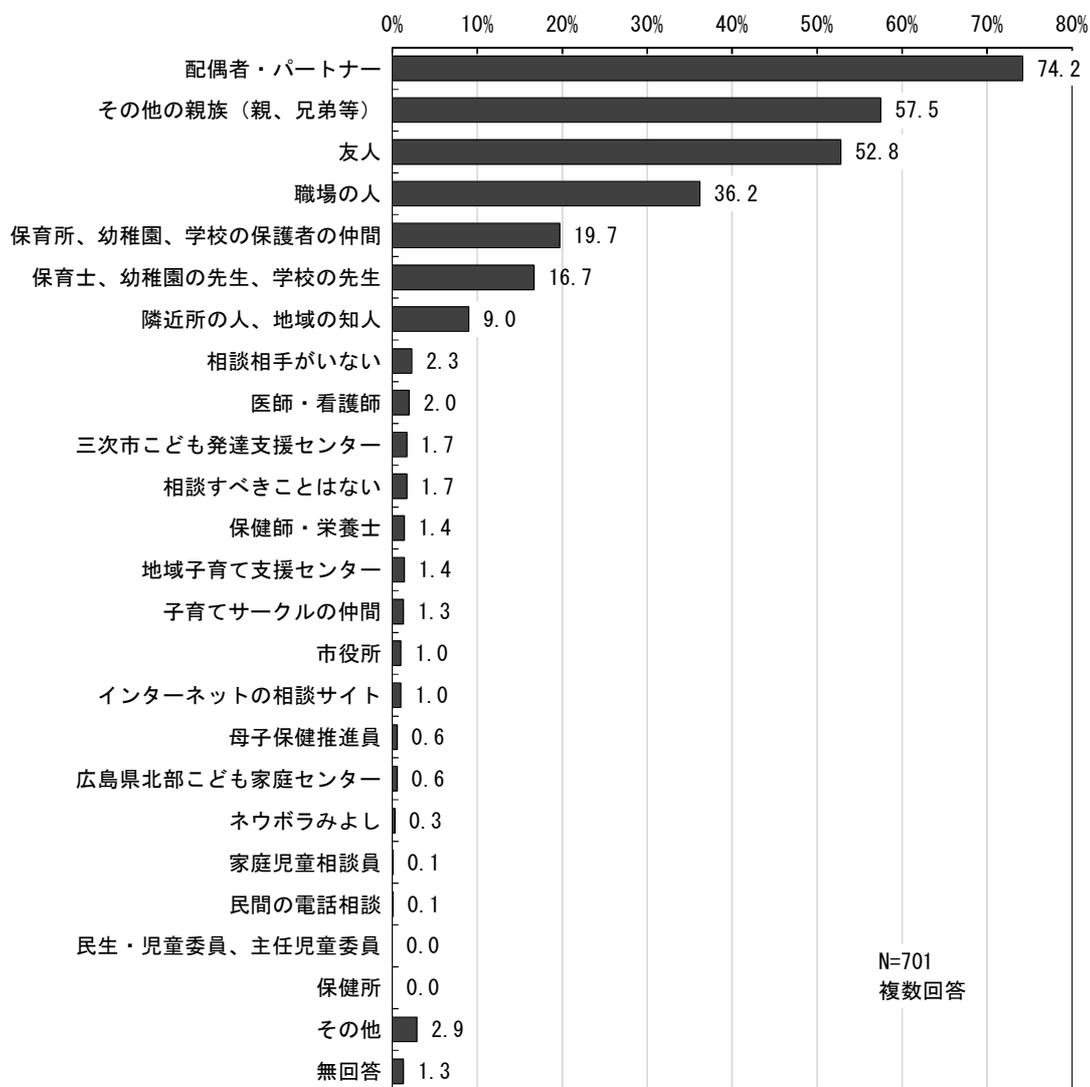
(5) 問 20 子育てに関して、日常悩んでいること、または気になることはどのようなことですか。

子育てに関して悩んでいること、気になることについては、「子どもの教育に関する事」が 41.4%で最も多く、次いで「子どもとの時間を十分にとれないこと」、「子どもを叱りすぎているような気がする事」がいずれも 33.1%となっている。



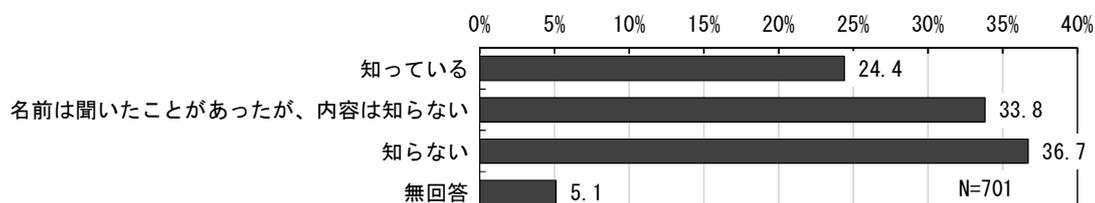
- (6) 問 21 身近で、子育てに関する悩みや不安をどなた(どこ)に相談していますか。  
(あてはまるものすべてに○)

子育てに関する悩みや不安の相談相手としては、「配偶者・パートナー」が74.2%で最も多く、次いで「その他の親族(親、兄弟等)」57.5%、「友人」52.8%となっている。



- (7) 問 22 三次市では、妊娠期から子育て期のご家族が、安心して出産、子育てができるよう、身近な場所でアドバイスが受けられる「ネウボラみよし」を開設しています。この相談窓口についてご存じですか。(1つに○)

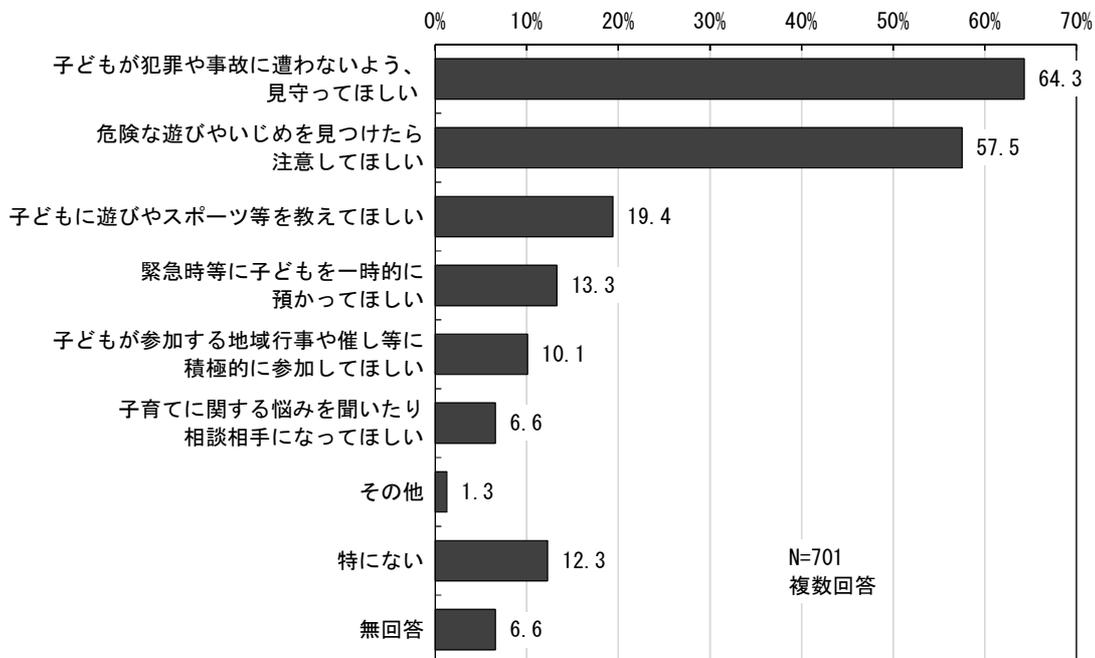
「ネウボラみよし」を「知っている」は24.4%で、「名前は聞いたことがあったが、内容は知らない」が33.8%となっている。



【小学生】

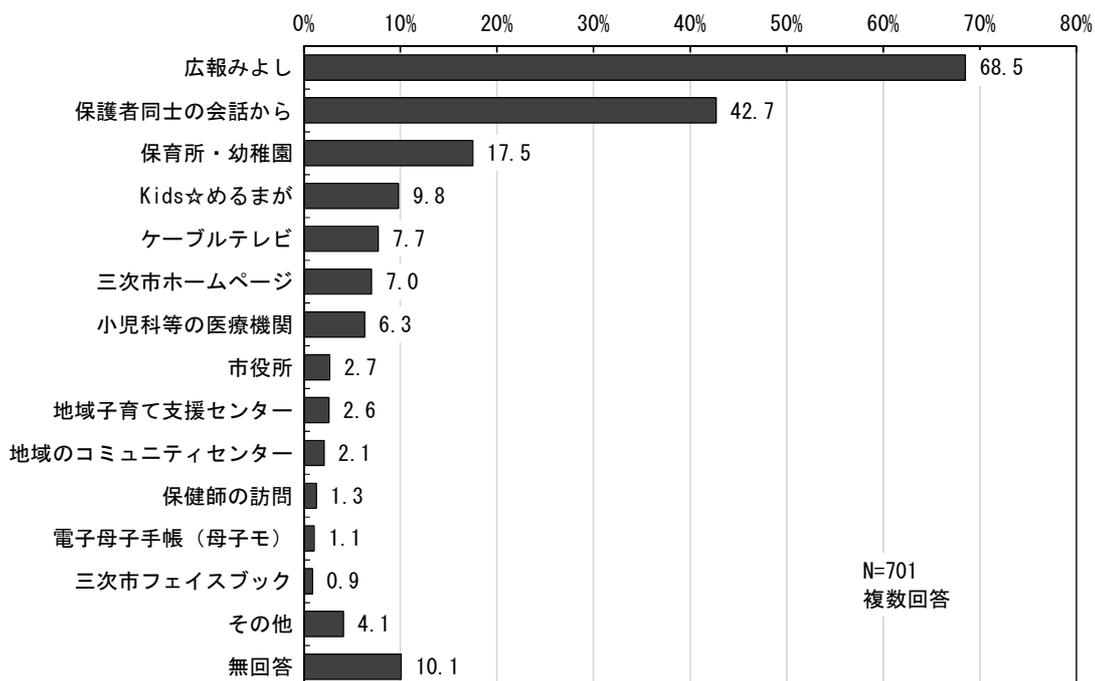
(8) 問 23 子育て支援として、身近な地域の人に望むことがありますか。(3つまで○)

子育て支援として、身近な地域の人に望むこととしては、「子どもが犯罪や事故に遭わないよう、見守ってほしい」が 64.3%で最も多く、次いで「危険な遊びやいじめを見つけたら注意してほしい」が 57.5%となっており、これら2項目が目立って多くなっている。



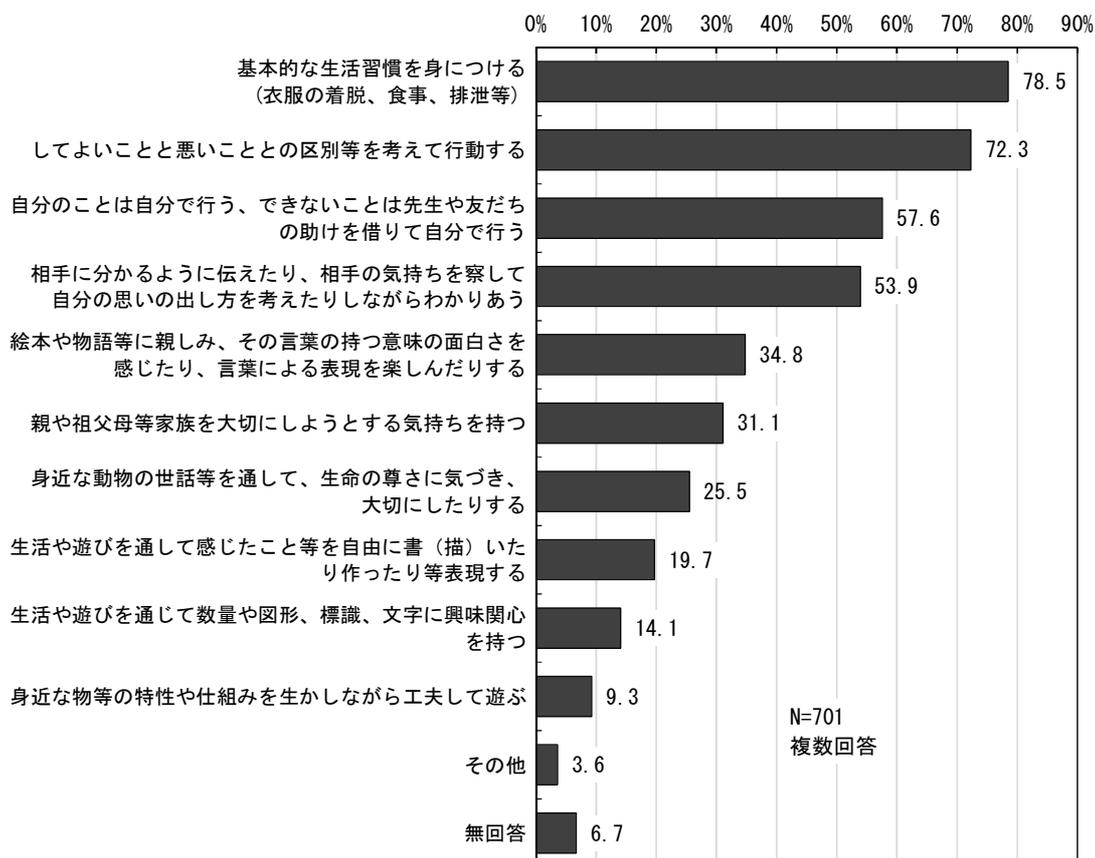
(9) 問 24 子育て情報は何から得ていますか。(あてはまるものすべてに○)

子育て情報の入手先については、「広報みよし」が 68.5%で最も多く、次いで「保護者同士の会話から」42.7%、「保育所・幼稚園」17.5%となっている。



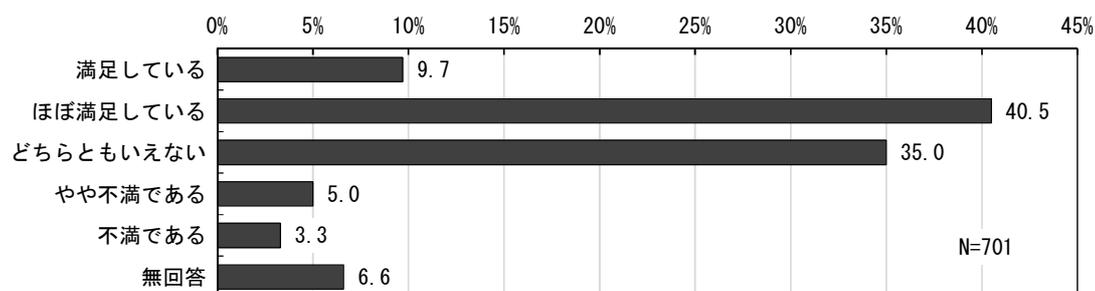
(10) 問 25 小学校就学までに子どもに身につけさせたい力について大切だと思うものを、次の項目から選んでください（5つまで○）

小学校就学までに子どもに身につけさせたい力について大切だと思うものとしては、「基本的な生活習慣を身につける（衣服の着脱、食事、排泄等）」が78.5%で最も多く、次いで「してよいことと悪いこととの区別等を考えて行動する」72.3%、「自分のことは自分で行う、できないことは先生や友だちの助けを借りて行う」57.6%となっている。



(11) 問 26 あなたは、三次市の子育て環境や支援に満足していますか。（1つに○）

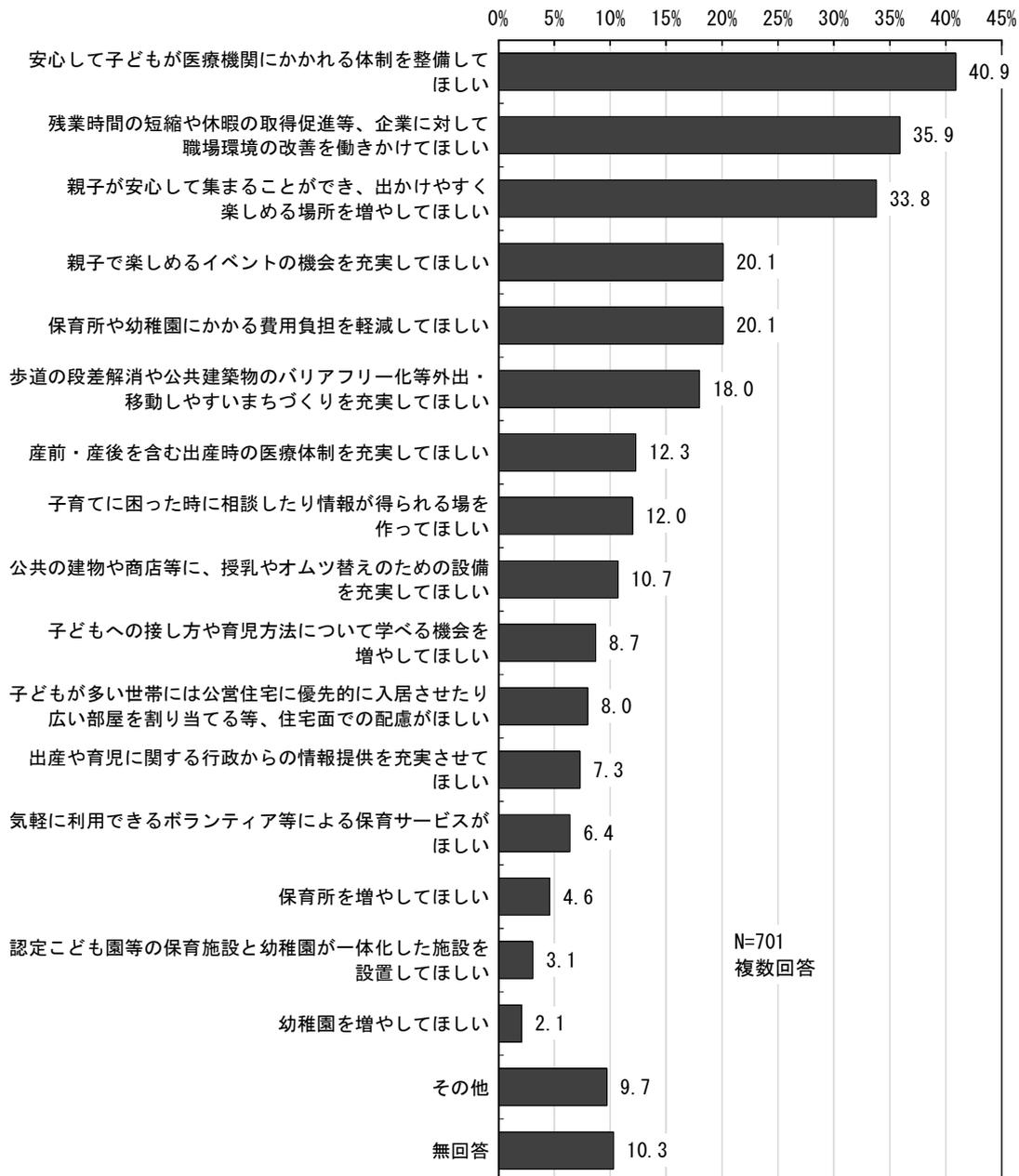
三次市の子育て環境や支援に「満足している」は9.7%、「ほぼ満足している」は40.5%で、これらを合わせると50.2%となっている。



【小学生】

(12) 問 27 三次市のこれからの子育て支援サービス等について、特に充実させてほしいと思うことは何ですか。(5つまで○)

子育て支援サービス等について特に充実させてほしいこととしては、「安心して子どもが医療機関にかかれる体制を整備してほしい」が 40.9%で最も多く、次いで「残業時間の短縮や休暇の取得促進等、企業に対して職場環境の改善を働きかけてほしい」35.9%、「親子が安心して集まることができ、出かけやすく楽しめる場所を増やしてほしい」33.8%となっている。



## 8 子育て中の起業支援・就労応援事業について

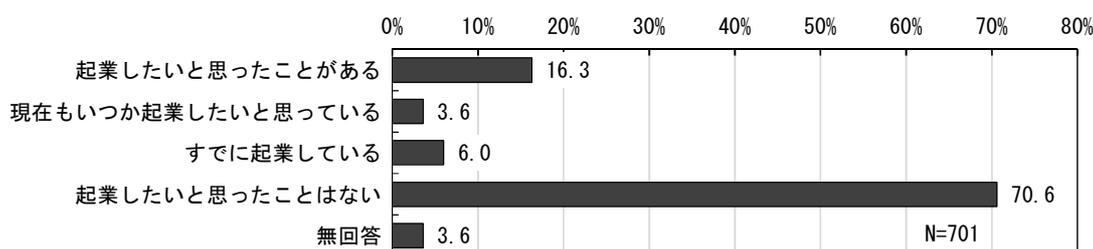
## (1) 起業について

「起業したいと思ったことがある」は16.3%で、起業する場合の規模については、「趣味等を生かした起業」が67.6%と6割以上を占め、「店舗を構える等本格的な起業」は25.9%となっている。

起業する場合の業種としては、「カフェ」が23.7%で最も多く、次いで「雑貨販売」18.0%、「リラクゼーション」17.3%と続いている。

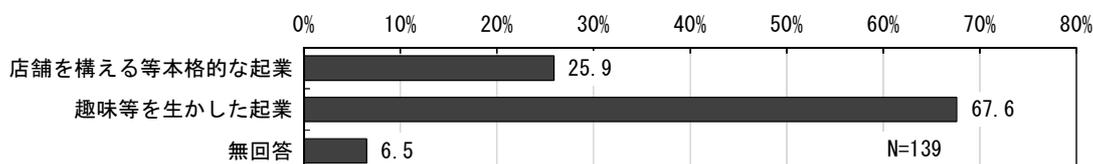
## すべての方にお伺いします。

問 28 起業（※自分で事業を行うこと）したいと思ったことがありますか。（1つに○）

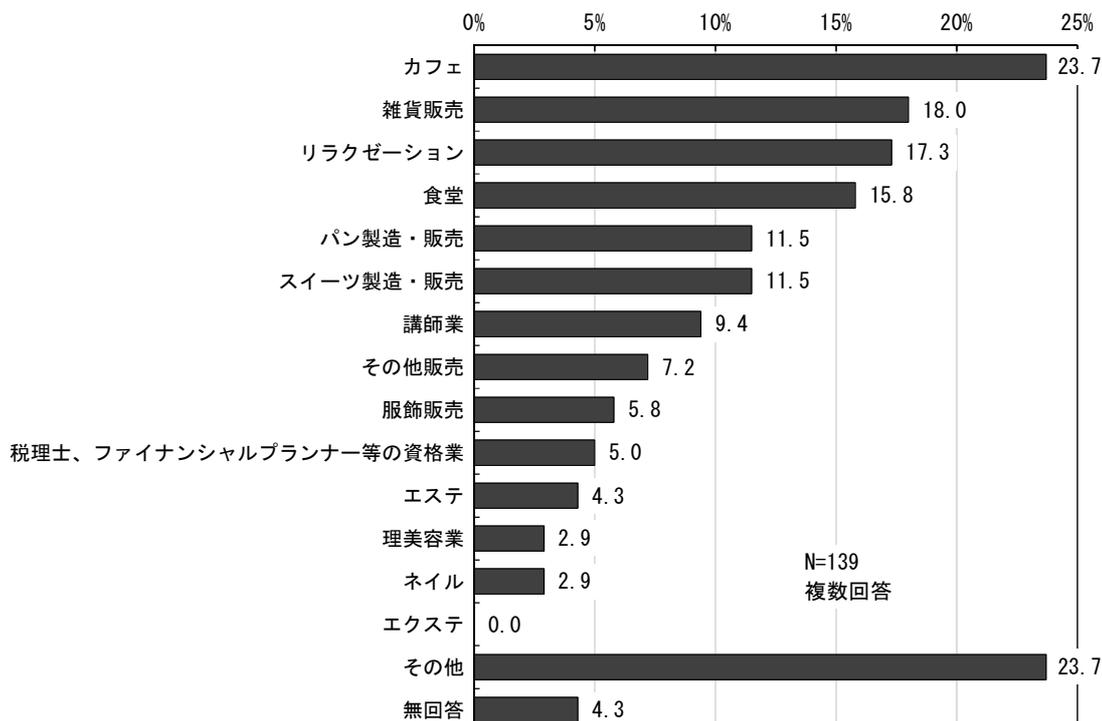


## 問 28 で「1」または「2」に○をした方にお伺いします。

問 28-1 起業する場合の規模を教えてください。（1つに○）



問 28-2 起業する場合の業種を教えてください。（あてはまるものすべてに○）



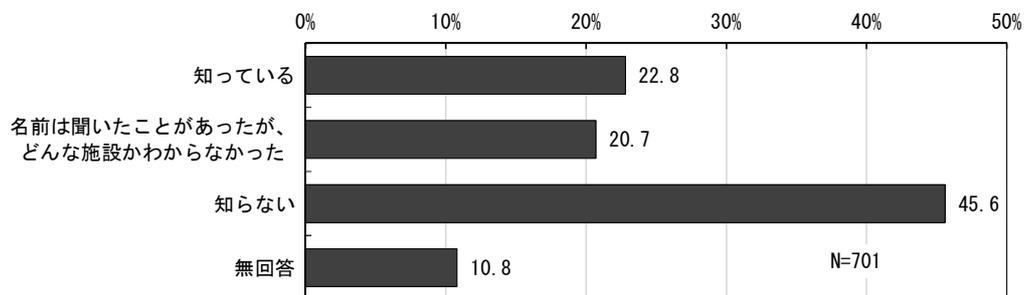
(2) 「アシスタ lab.」について

「アシスタ lab.」を「知っている」は 22.8%で、「名前は聞いたことがあったが、どんな施設かわからなかった」が 20.7%となっている。

「アシスタ lab.」の機能のうち、特に興味がある、または希望するものとしては、「自分のやりたいことや強みを探すセミナー」が 40.6%で最も多く、次いで「働き方の違う女性たちとの交流会」33.8%、「働き方や起業に向けた個別相談」24.4%となっている。

**母親の方にお伺いします。**

問 29 三次市では、子育て中の女性の起業や就業を支援するための拠点として、みよしまちづくりセンター内に「アシスタ lab.」を設置しています。この施設についてご存じですか。(1つに○)



**問 29 で「1」に○をした方にお伺いします。**

問 29-1 次の「アシスタ lab.」の機能のうち、特に興味がある、または希望するものは何ですか。(あてはまるものすべてに○)

